

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成 2 5 年度）

平成 2 6 年 1 1 月

名古屋市市民経済局

目 次

1 . 観光統計について	1
(1) 調査の目的と全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	4
2 . 調査の集計結果	6
2 - 1 観光客の現状	6
(1) 調査の概要	6
(2) 調査結果	8
2 - 2 宿泊客の現状	29
(1) 調査の概要	29
(2) 調査結果	30
2 - 3 宿泊施設調査	49
(1) 調査の概要	49
(2) 宿泊施設の現状	50
(3) 宿泊客数	52
2 - 4 全国から見た名古屋の観光に関する評価	62
(1) 調査の概要	62
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等	63
(3) 名古屋に対する評価	74
(4) 観光振興について	86
3 . 資料編	92
(1) 主要観光施設への入込動向	92
(2) 名古屋のまちの印象	96

巻末 調査票

注1：本文中で用いたテレビ塔、ブルーボネット、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、ミッドランドスクエアスカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 25 年度）

1. 観光統計について

（1）調査の目的と全国観光統計基準の採用

調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成 25 年度については、全国観光統計基準に適合する 86 地点の観光入込客数を把握した。

（2）入込客数

観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 25 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 6,516 万人であり、平成 24 年度と比較して約 1,065 万人増加（対前年度比率 119.5%）した。

行・祭事の入込客延べ人数は減少しているが、平成 25 年 5 月の名古屋城本丸御殿第一期公開開始、アジアゾウ舎がリニューアルした東山動植物園等が好評だったこと、「世界コスプレサミット」、「あいちトリエンナーレ 2013」等イベントの開催による入込客数が増加したことなどが、主な増加の要因と思われる。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 21,187,666	(26) 20,983,337	(26) 21,478,478	(26) 22,625,801
	産業観光	(7) 1,617,800	(6) 2,509,590	(6) 2,199,456	(6) 2,155,078
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,350,923	(16) 11,573,957	(16) 11,470,269	(16) 11,502,060
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(15) 7,943,392	(15) 7,003,732	(16) 7,873,300	(17) 6,610,033
	イベント	(22) 11,555,221	(21) 12,800,144	(22) 11,492,527	(21) 22,268,244
計		(85) 53,655,002	(84) 54,870,760	(86) 54,514,030	(86) 65,161,216

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 25 年度の観光入込客実人数は 3,580 万人であり、平成 24 年度と比較して 86 万人増加（対前年度比率 102.5%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
観光入込客延べ人数（人）	53,655,002	54,870,760	54,514,030	65,161,216
平均訪問観光地点数	1.52	1.65	1.56	1.82
観光入込客実人数（万人）	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人	3,580 万人

居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	40.5%	59.5%
観光入込客実人数	3,580 万人	1,450 万人	2,130 万人

宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
延べ宿泊客数（人）	5,960,567	6,674,019	6,950,791	7,589,349
宿泊客実人数（人）	4,608,978	5,192,149	5,796,736	6,040,493
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.29	1.29	1.20	1.26

居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	6.9%	93.1%
宿泊客実人数	604 万人	42 万人	562 万人

居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 25 年度の名古屋市内客は 1,450 万人であり、平成 24 年度と比較して 300 万人増加した。また、名古屋市外客は 2,130 万人であり、平成 24 年度と比較して 214 万人減少した。

また、平成 25 年度の宿泊客実人数は 604 万人であり、前年度と比較して 24 万人増加した。平成 25 年度の日帰り客実人数は 2,976 万人であり、前年度と比較して 62 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
観光入込客実人数	計	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人	3,580 万人
	名古屋市内客	1,405 万人	1,201 万人	1,150 万人	1,450 万人
	名古屋市外客	2,125 万人	2,125 万人	2,344 万人	2,130 万人
宿泊客実人数	計	461 万人	519 万人	580 万人	604 万人
	名古屋市内客	33 万人	25 万人	48 万人	42 万人
	名古屋市外客	428 万人	494 万人	532 万人	562 万人
日帰り客実人数	計	3,069 万人	2,807 万人	2,914 万人	2,976 万人
	名古屋市内客	1,372 万人	1,176 万人	1,102 万人	1,408 万人
	名古屋市外客	1,697 万人	1,631 万人	1,812 万人	1,568 万人

(3) 観光消費額

観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 25 年度の名古屋市内の観光総消費額は 3,159 億円であり、平成 24 年度と比較して 264 億円増加している。

宿泊客の総消費額は 1,608 億円であり、前年度と比較して 104 億円増加している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較して、名古屋市内は 185 億円増加、名古屋市外は 25 億円減少している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 24 年度	平成 25 年度
宿泊客実人数		580 万人	604 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,102 万人	1,408 万人
	名古屋市外客	1,812 万人	1,568 万人
宿泊客一人あたり消費額		25,946 円	26,620 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	2,830 円	3,534 円
	名古屋市外客	5,959 円	6,719 円
宿泊客総消費額		1,504 億円	1,608 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	312 億円	497 億円
	名古屋市外客	1,079 億円	1,054 億円
名古屋市内観光総消費額		2,895 億円	3,159 億円

観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

平成 24 年度と比べ、食事費は 31 億円、交通費は 110 億円、土産費は 70 億円、宿泊費は 140 億円、入場料は 17 億円、それぞれ増加し、その他消費額が 104 億円減少している。

総消費額は平成 24 年度と比較して、264 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度
食事費消費額	836 億円	867 億円
交通費消費額	378 億円	488 億円
土産費消費額	518 億円	588 億円
宿泊費消費額	469 億円	609 億円
入場料消費額	330 億円	347 億円
その他消費額	364 億円	260 億円
総消費額	2,895 億円	3,159 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	6,044 円	1,327 円	2,007 円
交通費	3,090 円	571 円	1,417 円
土産費	4,563 円	463 円	1,577 円
宿泊費	10,078 円		
入場料	1,210 円	725 円	1,096 円
その他	1,635 円	448 円	622 円
合 計	26,620 円	3,534 円	6,719 円

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費総消費額	365 億円	187 億円	315 億円	867 億円
交通費総消費額	186 億円	80 億円	222 億円	488 億円
土産費総消費額	276 億円	65 億円	247 億円	588 億円
宿泊費総消費額	609 億円			609 億円
入場料総消費額	73 億円	102 億円	172 億円	347 億円
その他総消費額	99 億円	63 億円	98 億円	260 億円
観光総消費額	1,608 億円	497 億円	1,054 億円	3,159 億円

2 . 調査の集計結果

2 - 1 観光客の現状

(1) 調査の概要

調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

調査日時等

- 観光施設（名古屋城、東山動植物園、熱田神宮、名古屋市科学館、名古屋港水族館、ノリタケの森）調査

- ・秋期調査：平成 25 年 11 月 6 日（水）9：30～16：30 天候：晴
11 月 9 日（土）9：30～16：30 天候：晴時々曇
11 月 10 日（日）9：30～16：30 天候：晴時々曇

- ・春期調査：平成 26 年 3 月 5 日（水）9：30～16：30 天候：雨
3 月 8 日（土）9：30～16：30 天候：晴
3 月 9 日（日）9：30～16：30 天候：晴

- 名古屋まつり調査：平成 25 年 10 月 20 日（日）10：30～16：00 天候：曇時々雨

調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10 歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

調査場所及び調査サンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合 計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	101	114	108	99	95	99	616
東山動植物園	101	102	105	174	66	60	608
熱田神宮	102	103	101	52	95	99	552
名古屋市科学館	100	102	110	82	119	105	618
名古屋港水族館	100	102	111	88	106	118	625
ノリタケの森	101	103	102	118	101	133	658
名古屋まつり	622						622
全 体							4,299

（注）大分類「学ぶ（見る・体験する）」・中分類「文化・歴史」として「名古屋城」、「東山動植物園」、「熱田神宮」、「名古屋市科学館」、「名古屋港水族館」同・中分類「産業観光」として「ノリタケの森」、大分類「触れ合う（交流する）」・中分類「行・祭事」として「名古屋まつり」に協力していただいた。

(2) 調査結果

居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

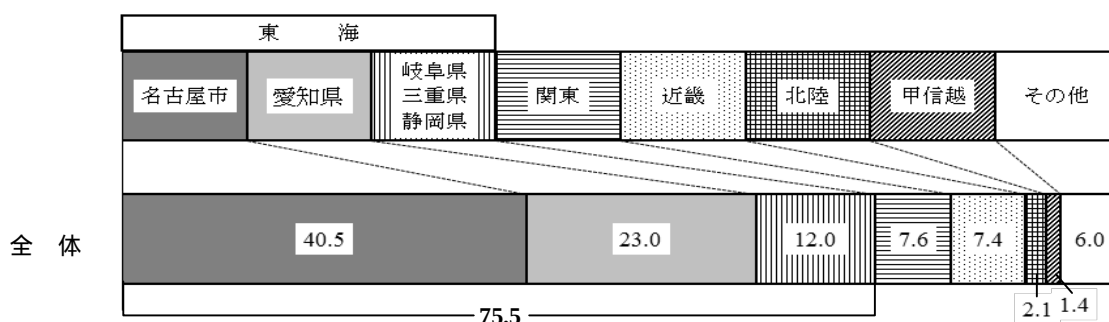
観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」が40.5%と最も多く、「愛知県（名古屋市を除く）」、「岐阜県・三重県・静岡県」を合計した「東海」が75.5%を占め、「関東」、「近畿」など「東海以外」の地域からの入込客は全体で24.5%である。

観光地点別にみると、「東山動植物園」の入込客では「名古屋市」居住者の構成比が高く、また、「東山動植物園」の入込客では大半が「東海」居住となっている。一方、「ノリタケの森」では「近畿」をはじめ「東海以外」の地域が42.4%と広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地構成（観光地点別）

（単位：％）

地 域 観光地点	東 海				関 東	近 畿	北 陸	甲 信 越	そ の 他	合 計
	東 海	名 古 屋 市	愛 知 県 (名古屋市を除く)	岐 阜 県・三 重 県・静 岡 県						
名古屋城	59.8	36.7	13.2	9.9	16.9	8.1	1.1	1.6	12.5	100.0
東山動植物園	92.9	60.0	25.2	7.7	2.8	0.3	0.5	1.2	2.3	100.0
熱田神宮	85.7	56.2	19.9	9.6	4.0	3.6	1.8	0.0	4.9	100.0
名古屋市科学館	80.8	30.3	23.3	16.7	8.1	9.7	5.8	1.6	4.5	100.0
名古屋港水族館	76.5	32.8	28.8	14.9	5.4	7.5	4.0	2.6	4.0	100.0
ノリタケの森	57.6	24.8	20.0	12.8	11.4	18.5	0.9	1.7	9.9	100.0
名古屋まつり	88.2	46.0	30.5	11.7	4.2	3.1	0.3	1.0	3.2	100.0
全 体	75.5	40.5	23.0	12.0	7.6	7.4	2.1	1.4	6.0	100.0



注：愛知県は名古屋市を除く

東 海 - 名古屋市・愛知県・岐阜県・三重県・静岡県

関 東 - 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県

近 畿 - 滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

北 陸 - 福井県・石川県・富山県

甲信越 - 新潟県・長野県・山梨県

図 2-1-1 入込客の居住地構成

b . 性・年齢構成

男性が45.5%、女性が54.5%と、女性の方が男性より若干多い。

男女共に「20～29歳」が最も多く、全体の観光地点別にみると、「20～29歳」の世代の割合は「名古屋港水族館」で最も高い。一方、「70歳以上」の割合は「熱田神宮」で最も高い。

性別の割合は、「名古屋市科学館」、「熱田神宮」で女性の割合が高くなっている。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	年 齢	10～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	合 計
	観光地点								
全 体	名古屋城	7.8	25.2	11.8	18.2	14.4	11.2	11.4	100.0
	東山動植物園	12.7	14.5	25.3	14.6	9.2	11.5	12.2	100.0
	熱田神宮	13.4	12.9	15.2	12.9	7.6	15.2	22.8	100.0
	名古屋市科学館	7.8	21.1	15.2	13.9	16.3	15.2	10.5	100.0
	名古屋港水族館	9.6	26.1	20.2	19.2	9.4	8.6	6.9	100.0
	ノリタケの森	9.3	25.2	15.7	14.1	13.5	11.4	10.8	100.0
	名古屋まつり	10.0	23.3	18.5	14.7	12.3	11.5	9.7	100.0
	合 計	10.8	23.9	17.2	14.7	11.5	11.2	10.7	100.0
男 性	名古屋城	5.4	24.8	10.2	15.0	17.7	12.6	14.3	47.7
	東山動植物園	15.7	15.6	20.4	15.0	8.5	10.9	13.9	48.4
	熱田神宮	15.9	13.1	14.0	12.1	7.0	14.0	23.8	38.8
	名古屋市科学館	9.1	20.9	13.6	14.1	15.0	14.1	13.2	35.6
	名古屋港水族館	8.7	23.7	18.5	18.5	10.7	9.2	10.7	55.4
	ノリタケの森	10.6	31.8	13.6	15.9	7.3	11.2	9.6	45.9
	名古屋まつり	17.8	38.5	18.2	10.5	8.0	5.9	1.1	46.0
	合 計	11.7	24.6	15.7	14.7	10.6	10.9	11.8	45.5
女 性	名古屋城	9.9	25.5	13.4	21.1	11.5	9.9	8.7	52.3
	東山動植物園	9.9	13.4	29.9	14.3	9.9	12.1	10.5	51.6
	熱田神宮	11.8	12.7	16.0	13.3	8.0	16.0	22.2	61.2
	名古屋市科学館	7.0	21.1	16.1	13.8	17.1	15.8	9.0	64.4
	名古屋港水族館	10.7	29.0	22.2	20.1	7.9	7.9	2.2	44.6
	ノリタケの森	8.1	19.7	17.4	12.6	18.8	11.5	11.8	54.1
	名古屋まつり	13.4	42.6	16.4	8.6	11.0	5.7	2.4	54.0
	合 計	10.0	23.3	18.5	14.6	12.3	11.5	9.7	54.5

注：男性・女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」と「イベント」が多く、これらをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて 82.0% を占めている。

時系列にみても、「観光・娯楽」の割合は 8 割台で推移している。

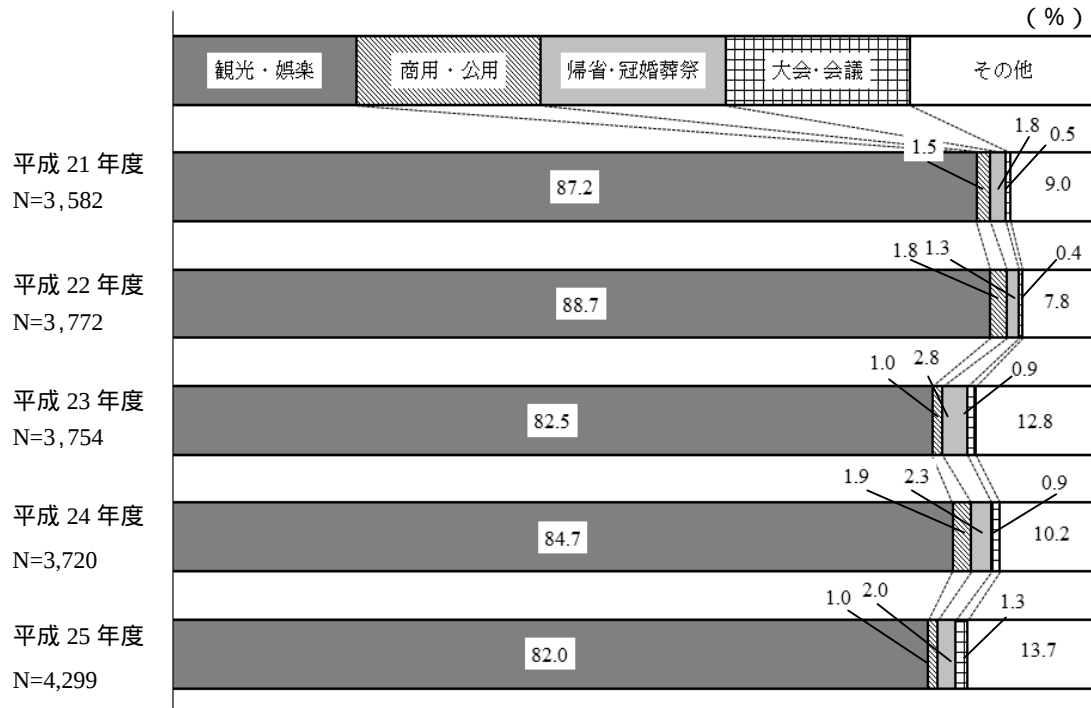


図 2-1-2 入込客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

（単位：％）

旅行目的 観光地点	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
名古屋城	50.3	2.3	8.8	15.9	2.4	0.2	1.8	1.6	3.2	13.5	100.0
東山動植物園	73.3	1.5	1.8	4.3	0.8	3.0	0.2	0.5	0.0	14.6	100.0
熱田神宮	22.4	26.3	2.0	2.9	5.8	0.9	0.2	5.8	2.2	31.5	100.0
名古屋市科学館	71.4	3.4	2.1	6.6	2.1	1.8	1.6	1.8	1.3	7.9	100.0
名古屋港水族館	81.6	2.1	2.7	4.2	1.6	1.9	0.0	1.3	0.3	4.3	100.0
ノリタケの森	40.4	13.7	3.6	13.7	4.9	2.1	1.8	2.7	1.1	16.0	100.0
名古屋まつり	5.5	21.9	0.8	48.2	4.8	4.5	1.3	0.6	0.8	11.6	100.0
全 体	49.6	10.0	3.2	13.9	3.2	2.1	1.0	2.0	1.3	13.7	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した方（全体の 82.0％）が名古屋を選んだきっかけは、「特になし」（25.0％）と「旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて」（20.5％）の割合が高い。

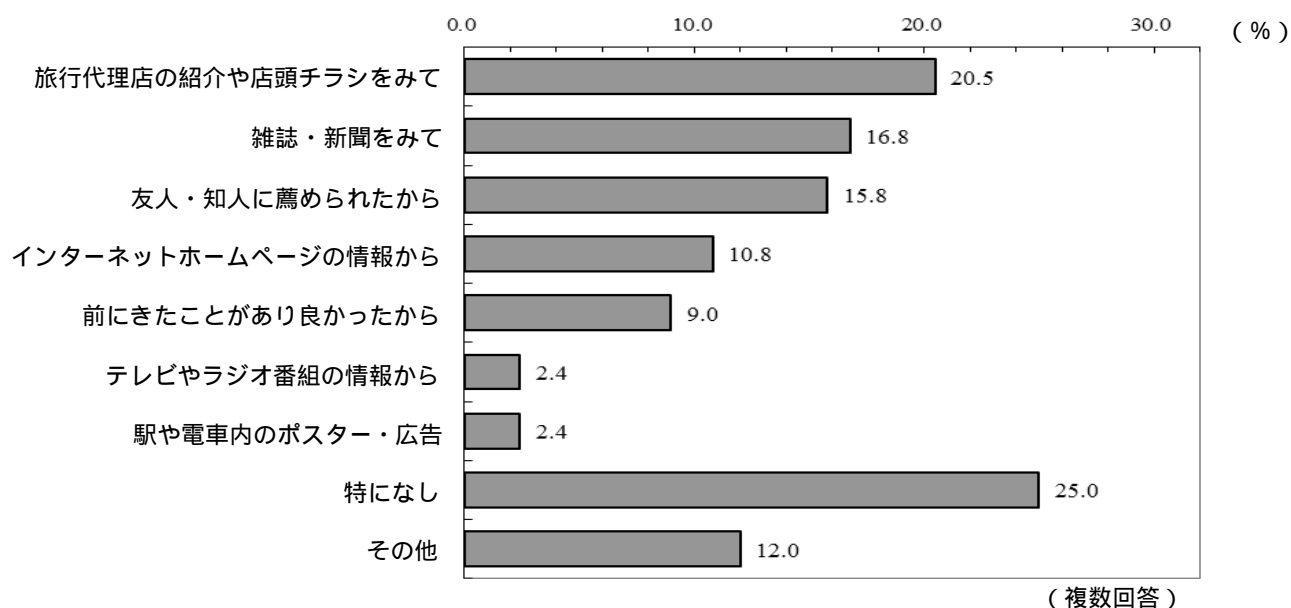


図 2-1-3 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位：％)

観光地点	きっかけ	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	雑誌・新聞をみて	友人・知人に薦められたから	ホームページの情報からインターネット	前に来たことがあったから	テレビやラジオ番組の情報から	駅や電車内のポスター・広告	特になし	その他	合計
名古屋城		15.7	11.3	8.6	8.2	11.1	3.5	2.0	22.3	22.8	105.5
東山動植物園		30.4	8.9	5.6	6.0	6.4	1.2	0.8	31.6	17.9	108.8
熱田神宮		9.3	13.0	6.3	11.9	9.7	1.1	4.5	48.0	3.7	107.5
名古屋市科学館		21.4	20.4	10.4	12.8	5.8	1.9	1.5	23.6	11.3	109.1
名古屋港水族館		36.6	11.9	10.0	10.1	8.1	2.1	0.5	17.4	9.6	106.3
ノリタケの森		12.6	26.2	51.6	10.9	13.8	6.3	0.8	22.6	10.3	155.1
名古屋まつり		9.3	23.9	15.9	15.9	9.3	0.9	7.8	21.4	6.5	110.9
全 体		20.5	16.8	15.8	10.8	9.0	2.4	2.4	25.0	12.0	114.7

(複数回答)

c. 観光施設への遊覧状況

観光地点相互の立ち寄り状況をみると、一人あたりの（以下 平均）訪問施設数は1.82施設である。

全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースが見られる。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（観光地点別）

（単位：％）

訪問施設 観光地点	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ボストン美術館
名古屋城		2.8	3.2	5.7	5.5	8.4	2.3	4.5	2.4	10.6	2.9	2.1	1.8
東山動植物園	13.3	2.5	3.8	3.5	3.9	8.1	3.5		7.7	4.1	2.6	2.0	2.0
熱田神宮	10.0	1.1	1.6	2.0	0.2		1.4	2.4	0.4	1.4	0.9	0.7	0.5
名古屋市科学館	12.0	2.8	4.0	2.4	1.3	7.3	0.8	4.7	1.8	4.2	3.6	1.6	1.6
名古屋港水族館	8.6	1.0	1.6	1.3	1.6	3.8	0.5	2.6	0.5	3.2	0.2	0.2	0.8
ノリタケの森	27.5	10.6		5.2	6.2	8.8	0.8	2.3	0.5	4.0	0.3	1.2	0.2
名古屋まつり	11.3	2.7	2.6	5.6	5.0	3.4	1.1	1.9	1.8	26.2	4.8	3.7	2.3

訪問施設 観光地点	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	リニア・鉄道館	その他	平均訪問施設数
名古屋城	5.5	0.8	1.9	1.3	6.2	3.1	0.8	0.3	1.8	1.8	14.6	1.92
東山動植物園	6.3	2.1	1.8	3.1	11.3	2.6	1.0	1.8	2.0	2.0	6.3	1.99
熱田神宮	0.5	0.5	0.7	0.4	0.7	0.5	0.2	0.2	0.7	0.7	14.1	1.44
名古屋市科学館		3.6	3.1	1.3	6.8	2.1	0.5	0.2	3.6	3.6	5.8	1.78
名古屋港水族館	4.0	1.1	1.3	0.5		5.8	1.8	0.2	2.1	2.1	8.2	1.52
ノリタケの森	0.9	0.0	0.0	1.5	2.1	0.5	0.0	0.5	4.1	4.1	17.3	1.97
名古屋まつり	4.5	1.8	0.3	1.1	0.5	0.8	0.6	0.3	0.0	0.0	14.6	2.05

（複数回答）

一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定数（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.82 = \{ 4,299 (a) + 3,509 (b) \} \div 4,299 (a)$$

d．旅行形態

全体では、「友人・知人」が36.7%で、「夫婦」や「幼児・小学生連れ」など「家族連れ」が合計で35.3%、「ひとり」が17.1%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋まつり」、「名古屋市科学館」の入込客は「友人・知人」の割合が4～5割と高い。「東山動植物園」の入込客は「家族連れ」が過半数を占める。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

（単位：％）

旅行形態 観光地点	ひとり	友人・ 知人	家 族 連 れ			団 体		その他	合 計
			幼児・ 小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生		
名古屋城	22.2	35.4	3.6	11.4	13.0	5.2	0.3	8.9	100.0
東山動植物園	14.7	28.1	25.5	8.2	19.1	2.1	0.0	2.3	100.0
熱田神宮	33.1	30.3	8.7	8.0	11.0	2.9	0.2	5.8	100.0
名古屋市科学館	12.8	45.2	6.8	15.2	16.5	1.1	0.0	2.4	100.0
名古屋港水族館	9.9	30.9	18.1	7.2	12.9	4.3	0.2	16.5	100.0
ノリタケの森	15.3	31.8	12.6	13.7	6.4	15.2	0.0	5.0	100.0
名古屋まつり	13.5	54.8	9.8	17.1	2.1	0.0	0.3	2.4	100.0
全 体	17.1	36.7	12.2	11.6	11.5	4.5	0.2	6.2	100.0

パッケージ旅行の割合は、全体では3.8%である。

地域別にみると、パッケージ旅行を利用する割合は、「関東」、「近畿」、「北陸」からの入込客では1割台が利用している。

宿泊客の「パッケージ旅行」の利用は1割未満である。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域・宿泊別）

（単位：％）

旅行形態 観光地点・地域・宿泊		パッケージ 旅行	パッケージ 旅行ではない	合 計
観 光 地 点	名古屋城	8.1	91.9	100.0
	東山動植物園	1.0	99.0	100.0
	熱田神宮	1.8	98.2	100.0
	名古屋市科学館	3.7	96.3	100.0
	名古屋港水族館	2.7	97.3	100.0
	ノリタケの森	9.0	91.0	100.0
	名古屋まつり	0.0	100.0	100.0
地 域	東 海	1.4	98.6	100.0
	名古屋市	0.5	99.5	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	1.9	98.1	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	3.9	96.1	100.0
	関 東	12.5	87.5	100.0
	近 畿	13.4	86.6	100.0
	北 陸	10.1	89.9	100.0
	甲信越 その他	5.0 8.6	95.0 91.4	100.0 100.0
宿 泊	宿泊客	7.9	92.1	100.0
	日帰り客	2.2	97.8	100.0
全 体		3.8	96.2	100.0

旅行費用

a. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000 円未満」が 42.8%と最も多く、次いで、「1,000～3,000 円未満」が 37.0%、「交通費はかからない」が 11.1%となっている。市内交通費の平均額は 1,502 円であり、昨年度(1,154 円)から 348 円増額している。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「1,000～3,000 円未満」の割合が最も多く、平均額も 3,400 円となっている。一方、「名古屋市内」では「1,000 円未満」(58.1%)の割合が多く、平均額は 592 円と低額である。

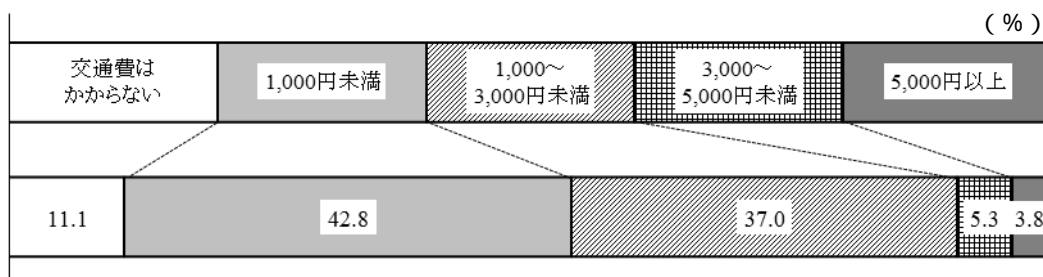


図 2-1-4 入込客の市内交通費

表 2-1-8 入込客の市内交通費（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

市内交通費		交通費は かからない	1,000円 未満	1,000～ 3,000円 未満	3,000～ 5,000円 未満	5,000円 以上	合 計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊								
観 光 地 点	名古屋城	12.1	40.4	37.4	7.1	3.0	100.0	1,966
	東山動植物園	25.8	37.8	28.9	3.3	4.2	100.0	1,332
	熱田神宮	11.5	28.3	50.4	5.6	4.2	100.0	1,633
	名古屋市科学館	8.9	42.1	39.5	5.4	4.1	100.0	1,368
	名古屋港水族館	5.8	40.9	44.0	7.8	1.5	100.0	1,157
	ノリタケの森	13.1	31.2	37.5	8.5	9.7	100.0	2,606
	名古屋まつり	2.4	71.0	24.2	1.0	1.4	100.0	875
地 域 × 宿 泊	名古屋市	20.2	58.1	20.4	0.7	0.6	100.0	592
	宿泊客	47.3	37.7	11.4	1.2	2.4	100.0	496
	日帰り客	17.0	60.5	21.4	0.7	0.4	100.0	603
	名古屋市外	4.6	31.7	49.0	8.6	6.1	100.0	2,162
	宿泊客	5.9	19.2	46.5	14.3	14.1	100.0	3,400
	日帰り客	4.0	37.9	50.3	5.8	2.0	100.0	1,541
全 体		11.1	42.8	37.0	5.3	3.8	100.0	1,502

b. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する予定なし」という回答が全体では33.9%と最も高い。支出額としては、「2,000 未満」(32.5%)が最も多い。土産代の平均額は2,127 円であり、昨年度(1,793 円)と比較すると334 円の増額となっている。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋まつり」と「ノリタケの森」の入込客では高く、「熱田神宮」や「名古屋港水族館」「名古屋城」でも過半数を占めている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「土産を購入する」割合が9割を占め、平均額は4,427 円である。

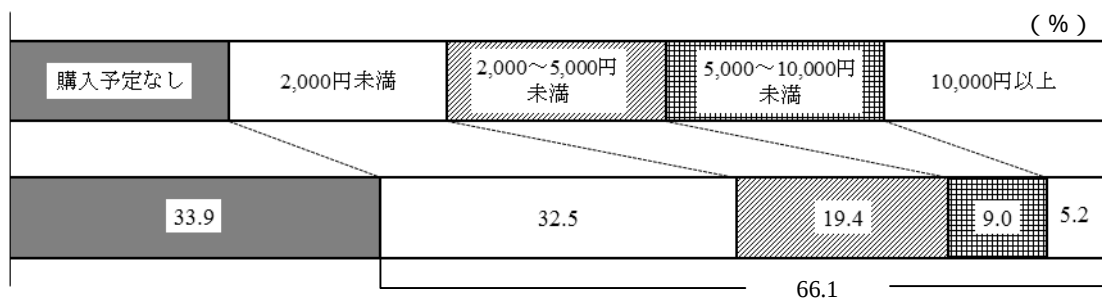


図 2-1-5 入込客の市内での土産代

表 2-1-9 入込客の市内での土産代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

地点・地域×宿泊		土産代					合 計	平均額 (円)
		購入予定なし	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上		
観光地点	名古屋城	38.3	29.5	17.6	9.9	4.7	100.0	1,732
	東山動植物園	52.6	29.8	11.2	5.4	1.0	100.0	918
	熱田神宮	28.3	26.6	27.0	9.7	8.4	100.0	2,389
	名古屋市科学館	51.1	18.5	18.7	8.0	3.7	100.0	1,613
	名古屋港水族館	28.4	41.6	19.4	8.1	2.5	100.0	1,578
	ノリタケの森	15.7	19.3	25.1	18.7	21.2	100.0	6,407
	名古屋まつり	9.9	61.6	23.4	5.1	0.0	100.0	1,424
地域×宿泊	名古屋市	52.4	36.3	9.4	1.6	0.3	100.0	691
	宿泊客	54.4	23.5	10.3	7.4	4.4	100.0	1,329
	日帰り客	52.3	37.1	9.3	1.2	0.1	100.0	650
	名古屋市外	22.7	30.2	25.5	13.4	8.2	100.0	3,000
	宿泊客	10.0	16.2	30.2	24.4	19.2	100.0	4,427
	日帰り客	30.3	38.6	22.6	6.9	1.6	100.0	2,143
全 体		33.9	32.5	19.4	9.0	5.2	100.0	2,127

c. 市内での食事代

市内での食事に係る支出をみると、全体では「500～2,000 円未満」が最も多く 4 割以上を占める。次いで「2,000～5,000 円未満」が 30.1%で、「500 円未満」は 11.6%である。食事代の平均額は 2,489 円であり、昨年度（2,581 円）と比較すると 92 円の減額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「2,000～5,000 円未満」が最も多く、「10,000～30,000 円未満」も 2 割を超える。平均額は 5,371 円と高額である。一方、「日帰り客」では「2,000 円未満」の割合が過半数を占めている。

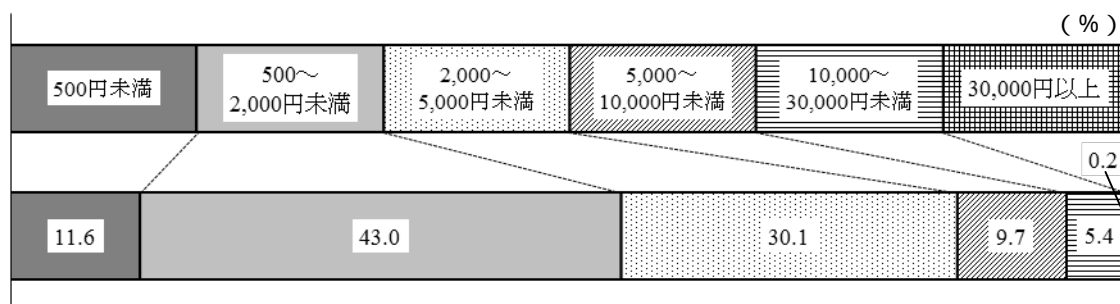


図 2-1-6 入込客の市内での食事代

表 2-1-10 入込客の市内での食事代（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

市内食事代		500 円未満	500 ～ 2,000円 未満	2,000 ～ 5,000円 未満	5,000 ～ 10,000円 未満	10,000 ～ 30,000円 未満	30,000円 以上	合 計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊									
観光 地点	名古屋城	12.4	44.3	27.3	8.2	7.2	0.6	100.0	2,684
	東山動植物園	24.5	42.8	26.9	4.3	1.5	0.0	100.0	1,559
	熱田神宮	11.8	31.5	35.5	16.3	4.9	0.0	100.0	2,999
	名古屋市科学館	10.4	43.5	28.0	10.3	7.1	0.7	100.0	2,865
	名古屋港水族館	12.0	44.3	27.3	10.4	6.0	0.0	100.0	2,409
	ノリタケの森	8.6	26.4	34.0	16.4	14.1	0.5	100.0	3,827
	名古屋まつり	0.7	60.6	33.4	5.3	0.0	0.0	100.0	1,640
地域× 宿泊	名古屋市	19.3	52.1	24.7	3.4	0.5	0.0	100.0	1,385
	宿泊客	29.2	55.6	12.4	1.7	1.1	0.0	100.0	1,028
	日帰り客	18.0	51.7	26.3	3.6	0.4	0.0	100.0	1,431
	名古屋市外	6.0	36.5	33.9	14.2	9.0	0.4	100.0	3,275
	宿泊客	4.1	19.8	27.9	25.6	21.4	1.2	100.0	5,371
	日帰り客	7.0	45.2	37.0	8.3	2.5	0.0	100.0	2,190
全 体		11.6	43.0	30.1	9.7	5.4	0.2	100.0	2,489

d．市内での宿泊

「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は13.7%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000円未満」の割合が多い。

なお、名古屋市内の宿泊施設に宿泊する方の1泊あたりの宿泊代の平均額は9,344円であり、昨年度（8,081円）と比較すると、1,263円の増額となった。

「名古屋市外からの宿泊客」では、「5,000円～15,000円未満」の割合が4割以上を占める。

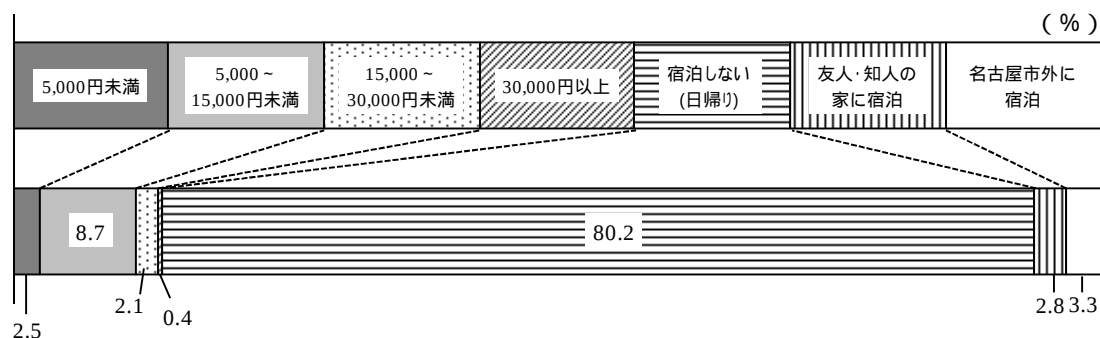


図 2-1-7 入込客の市内での宿泊代

表 2-1-11 入込客の市内での宿泊代（地点・地域×宿泊別）

（単位：%）

市内宿泊代		5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	宿泊しない (日帰り)	友人・知人の 家に宿泊	名古屋市 外に宿泊	合 計	平均額 (円)
観 光 地 点	名古屋城	3.0	13.8	2.3	0.5	68.1	2.1	10.2	100.0	8,930
	東山動植物園	2.3	3.0	0.3	0.2	89.4	4.1	0.7	100.0	6,497
	熱田神宮	0.8	6.3	0.8	0.0	87.4	1.6	3.1	100.0	8,387
	名古屋市科学館	5.1	11.6	0.3	0.8	76.8	3.3	2.1	100.0	7,467
	名古屋港水族館	0.8	6.0	2.3	0.3	86.8	1.7	2.1	100.0	11,205
	ノリタケの森	4.6	17.1	9.5	0.8	55.1	7.6	5.3	100.0	11,868
	名古屋まつり	0.6	4.3	0.0	0.0	94.9	0.0	0.2	100.0	5,610
地 域 × 宿 泊	名古屋市	1.6	0.4	0.2	0.0	97.2	0.5	0.1	100.0	77
	宿泊客	56.8	13.6	6.8	0.0	0.0	18.2	4.6	100.0	3,441
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	-
	名古屋市外	3.1	14.3	3.3	0.7	68.9	4.3	5.4	100.0	2,310
	宿泊客	9.8	46.1	10.7	2.1	0.0	13.9	17.4	100.0	9,754
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	-
全 体		2.5	8.7	2.1	0.4	80.2	2.8	3.3	100.0	9,344

注：平均額は「宿泊しない」「友人・知人の家に宿泊」「名古屋市外に宿泊」のデータを含まず算出

e . 市内での入場料

全体を見ると「1,000 円未満」と回答した割合は 41.4%と最も高い。

観光地点別に見ると入場料を支払っている「名古屋城」、「名古屋市科学館」は「1,000 円未満」、「名古屋港水族館」は「1,000～3,000 円未満」が 6 割を超えている。

地域別に見ると、名古屋市内から来ている人の方が、入場料を支払っている割合が高い。

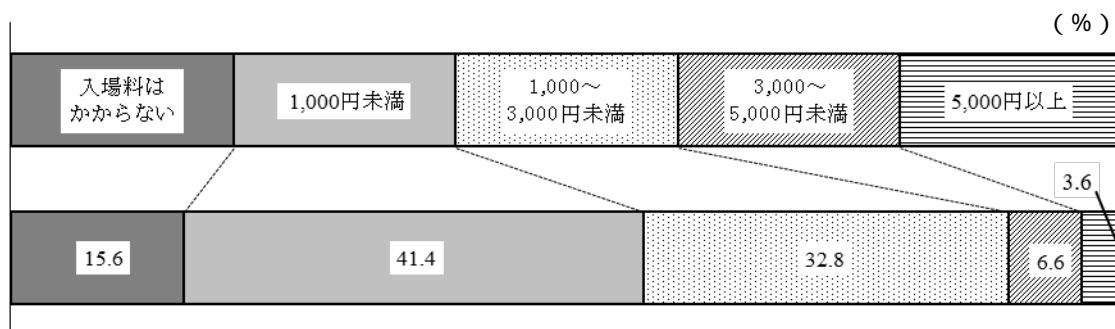


図 2-1-8 入込客の市内での入場料

表 2-1-12 入込客の市内での入場料 (地点・地域×宿泊別)

(単位 : %)

入場料 地点・地域×宿泊		入場料は かからない	1,000円 未満	1,000～ 3,000円 未満	3,000～ 5,000円 未満	5,000円 以上	合 計	平均額 (円)
観 光 地 点	名古屋城	1.9	63.5	29.1	2.9	2.6	100.0	1,064
	東山動植物園	20.7	48.5	28.7	0.7	1.4	100.0	716
	熱田神宮	16.5	53.9	24.5	2.9	2.2	100.0	786
	名古屋市科学館	10.1	66.8	19.7	2.2	1.2	100.0	851
	名古屋港水族館	3.0	0.9	61.2	24.6	10.3	100.0	3,027
	ノリタケの森	37.0	29.1	25.4	4.1	4.4	100.0	863
	名古屋まつり	63.5	5.6	29.8	0.6	0.5	100.0	553
地 域 × 宿 泊	名古屋市	19.8	42.7	31.9	4.7	0.9	100.0	994
	宿泊客	22.6	41.9	33.9	1.6	0.0	100.0	771
	日帰り客	19.7	42.7	31.8	4.9	0.9	100.0	1,007
	名古屋市外	13.0	40.6	33.4	7.7	5.3	100.0	1,439
	宿泊客	11.2	38.6	36.6	7.1	6.5	100.0	1,376
	日帰り客	14.1	41.8	31.5	8.0	4.6	100.0	1,476
全 体		15.6	41.4	32.8	6.6	3.6	100.0	1,271

f. その他費用

これまでの項目以外の費用として、平均額は1,295 円となっている。

特に、名古屋市外から来ている人が、名古屋市内の人より倍額以上その他費用がかかっている。

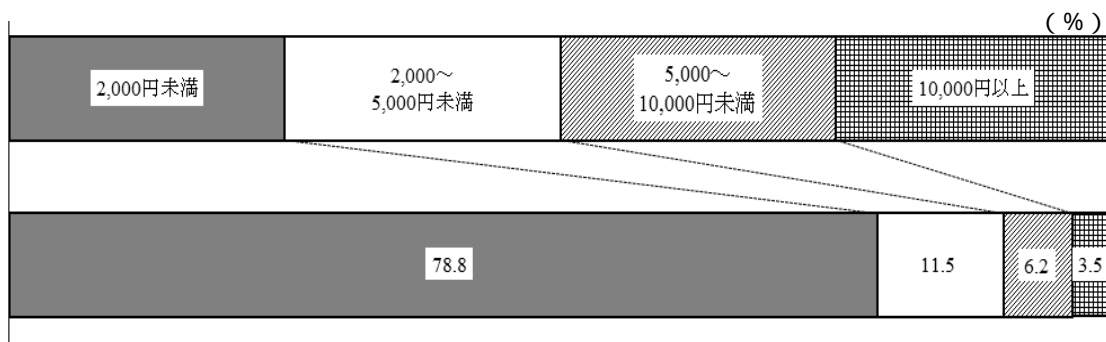


図 2-1-9 入込客のその他費用

表 2-1-13 入込客のその他費用（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

その他の費用		2,000 円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000 円以上	合 計	平均額（円）
地点・地域×宿泊							
観光地点	名古屋城	78.1	9.9	7.8	4.2	100.0	1,334
	東山動植物園	86.2	7.9	4.0	1.9	100.0	844
	熱田神宮	56.9	22.4	10.4	10.3	100.0	2,650
	名古屋市科学館	89.9	4.8	3.9	1.4	100.0	746
	名古屋港水族館	73.5	9.5	8.8	8.2	100.0	1,992
	ノリタケの森	88.7	4.4	2.5	4.4	100.0	920
	名古屋まつり	58.3	31.5	9.0	1.2	100.0	1,859
地域×宿泊	名古屋市内	83.5	11.2	4.6	0.7	100.0	810
	宿泊客	73.7	13.1	7.9	5.3	100.0	1,496
	日帰り客	83.9	11.2	4.4	0.5	100.0	779
	名古屋市外	75.4	11.7	7.3	5.6	100.0	1,637
	宿泊客	68.8	11.4	8.7	11.1	100.0	2,460
	日帰り客	79.1	11.9	6.5	2.5	100.0	1,190
全 体		78.8	11.5	6.2	3.5	100.0	1,295

来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外に居住する方（全体の59.5%）の来名回数としては、「10回以上」が41.5%と最も多く、「今回はじめて」訪れた割合は26.9%である。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数（地点・地域別）

（単位：％）

回 数		はじめて	2 回目	3 回目	4 ～ 9 回目	10回以上	合 計
観光地点・地域							
観 光 地 点	名古屋城	39.7	11.5	9.0	10.8	29.0	100.0
	東山動植物園	25.9	7.0	4.5	10.7	51.9	100.0
	熱田神宮	43.4	15.7	4.9	8.7	27.3	100.0
	名古屋市科学館	22.0	7.9	7.0	9.7	53.4	100.0
	名古屋港水族館	21.7	11.9	11.7	12.6	42.1	100.0
	ノリタケの森	26.1	12.1	12.9	11.9	37.0	100.0
	名古屋まつり	14.9	5.4	11.9	18.7	49.1	100.0
地 域	東 海	19.4	5.5	6.7	9.8	58.6	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	22.1	4.6	5.4	9.8	58.1	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	14.2	7.2	9.2	9.7	59.7	100.0
	東海以外	37.6	17.0	13.4	15.1	16.9	100.0
全 体		26.9	10.2	9.4	12.0	41.5	100.0

□ はじめて ▨ 2 回目 ▩ 3 回目 ■ 4 ～ 9 回目 ▨ 10回以上

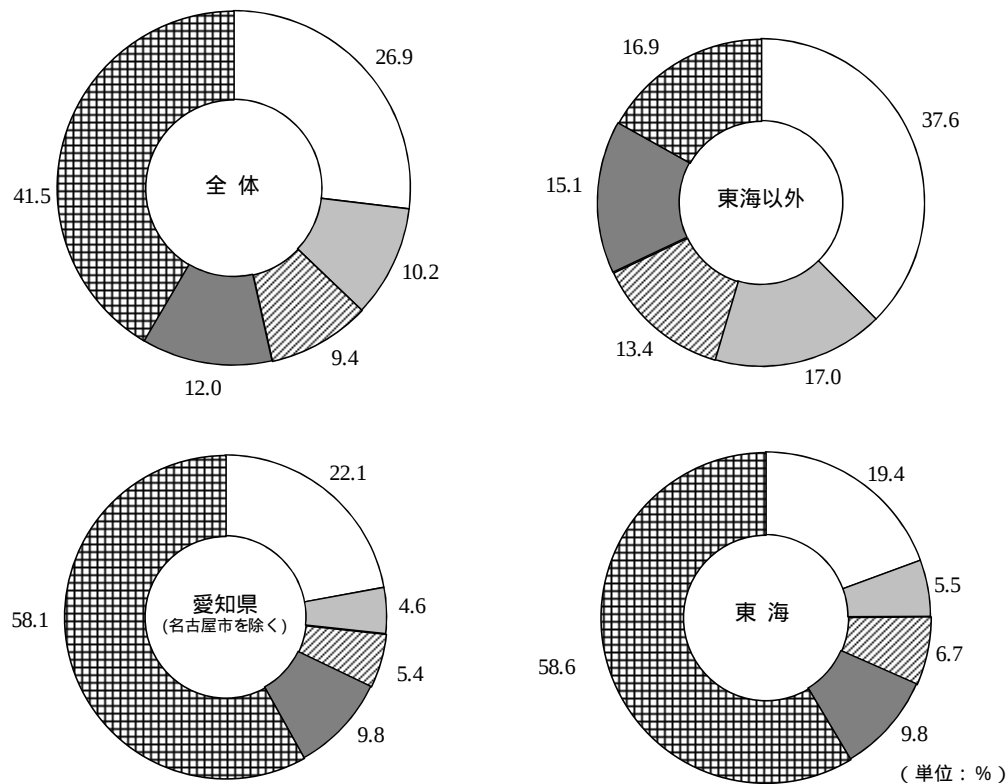


図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

交通機関

名古屋市外に居住する方の名古屋市内への主な交通手段は、全体では「ＪＲ」が32.9%「自家用車」が29.8%、「名鉄電車」が16.7%となっている。

居住地別にみると、東海では「自家用車」の割合が最も高い。「東海以外」からの入込客では「ＪＲ」が44.4%と最も多い。

旅行形態別にみると、「ひとり」や「友人・知人」などでは「ＪＲ」、「幼児・小学生連れ」など「家族連れ」では「自家用車」、「団体旅行」では「観光バス」の割合が最も多い。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関（地点・地域・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関		Ｊ	名	近	自	航	路	観	そ	合
地点・地域・旅行形態		Ｒ	鉄 電 車	鉄 電 車	家 用 車	空 機	線 バ ス	光 バ ス	の 他	計
観 光 地 点	名古屋城	44.1	12.6	3.6	21.1	9.6	1.1	7.4	10.7	110.2
	東山動植物園	31.4	24.2	1.3	41.8	1.3	5.9	2.0	5.2	113.1
	熱田神宮	41.5	40.7	3.7	14.1	5.2	7.4	5.9	3.7	122.2
	名古屋市科学館	26.6	16.6	8.7	33.5	4.0	3.0	7.7	6.0	106.1
	名古屋港水族館	27.8	11.4	3.9	51.2	2.4	0.9	4.2	3.9	105.7
	ノリタケの森	37.2	7.3	5.6	26.4	4.0	2.5	22.5	5.6	111.1
	名古屋まつり	22.5	29.6	10.5	16.9	0.7	9.0	1.5	13.5	104.2
地 域	東 海	24.0	25.5	5.3	35.6	0.2	4.2	7.3	7.2	109.3
	愛知県（名古屋市を除く）	17.8	29.9	3.7	37.0	0.0	4.6	8.5	9.6	111.1
	岐阜県	40.1	26.6	0.5	28.4	0.5	1.8	2.7	4.5	105.1
	三重県	13.0	5.6	31.5	44.4	0.9	6.5	4.6	1.9	108.4
	静岡県	44.1	12.6	0.9	31.5	0.0	3.6	10.8	0.9	104.4
	東海以外	44.4	5.5	6.3	22.6	9.3	2.6	11.5	7.0	109.2
旅 行 形 態	ひとり	37.9	19.1	7.0	24.6	3.3	4.4	3.7	10.3	110.3
	友人・知人	37.6	20.2	7.3	23.7	4.3	5.0	4.1	8.5	110.7
	家 族	29.2	12.2	4.8	52.4	1.1	0.4	2.2	4.4	106.7
	幼児・小学生連れ	33.8	16.3	6.8	35.7	7.2	1.9	4.6	4.6	110.9
	夫婦	28.6	16.5	2.8	42.7	4.8	3.2	4.0	3.2	105.8
	その他	12.3	4.5	1.9	3.2	1.9	2.6	74.8	5.2	106.4
	団体旅行	29.8	11.9	1.2	28.6	8.3	2.4	7.1	14.3	103.6
全 体		32.9	16.7	5.8	29.8	4.2	3.5	9.1	7.1	109.1

（複数回答）

名古屋市以外の訪問地

名古屋市外に居住する入込客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」方の割合は全体では 14.0% である。その訪問先としては、「伊勢・志摩」が最も多く、以下、「明治村・犬山」、「知多・常滑・セントレア」、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市以外にも訪問する」という割合は、「熱田神宮」、「東山動植物園」の入込客では 3 割台と高く、「名古屋城」の入込客でも 2 割程みられる。

宿泊客では、「名古屋市以外にも訪問する」という割合が 15.2% となり、訪問先としては「伊勢・志摩」が最も多い。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地（地点・宿泊別）

（単位：％）

訪問地		名古屋市 市内のみ	伊勢・志摩	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	長島温泉・湯の山・鈴鹿	岐阜・関ヶ原	下呂・高山	豊田・岡崎・足助	長久手・モリコロパーク	多治見・恵那・中津川	瀬戸・小原	豊橋・伊良湖	豊川・鳳来寺	蒲郡・西浦・三谷	その他	訪問地 合計
観光地点・宿泊																	
観光地点	名古屋城	80.3	8.5	4.7	2.1	0.9	1.8	1.5	0.6	1.2	0.6	0.6	1.2	0.9	1.2	3.8	29.6
	東山動植物園	68.6	6.6	11.6	1.7	8.3	4.1	0.0	3.3	1.7	1.7	0.0	0.0	1.7	0.0	5.8	46.5
	熱田神宮	67.7	6.2	1.5	13.8	1.5	7.7	3.1	4.6	1.5	1.5	1.5	3.1	1.5	0.0	1.5	49.0
	名古屋市科学館	95.3	0.3	0.8	1.0	0.5	0.0	0.5	0.8	0.8	0.5	0.8	0.3	0.3	0.8	0.8	8.2
	名古屋港水族館	84.5	4.2	3.5	2.3	5.5	2.3	4.5	1.9	1.3	0.6	0.0	0.6	0.6	0.3	3.5	31.1
	ノリタケの森	95.4	2.0	0.0	1.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	4.6
	名古屋まつり	79.0	0.3	2.9	2.3	1.9	1.3	0.6	1.0	1.9	2.6	2.9	1.6	0.6	0.6	0.3	20.8
宿泊	宿泊客	84.8	4.8	2.7	2.4	2.2	1.5	0.9	0.9	0.8	0.7	0.4	0.4	0.4	0.4	2.0	20.5
	日帰り客	86.9	2.1	2.7	2.0	2.0	1.2	1.5	1.1	1.1	1.0	1.1	1.0	0.7	0.6	1.9	20.0
全 体		86.0	3.3	2.7	2.2	2.1	1.4	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	1.9	20.5

（複数回答）

旅行日程

名古屋市外からの入込客の旅行日程としては、「日帰り」が61.8%であり、「2日以上」の割合は合わせて38.2%となっている。

観光地点別にみると、「2日以上」の割合は、「ノリタケの森」の入込客では69.7%と高く、「名古屋城」の入込客でも半数以上となっている。一方、「名古屋まつり」の入込客では「日帰り」の割合が9割を占めている。

居住地別にみると、「東海」居住者では8割以上が「日帰り」である。一方、「その他」からの入込客では「2日以上」で7割以上を占めている。また、「関東」、「近畿」、「甲信越」からの入込客では6割台となっている。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

（単位：％）

日 程		日帰り	2日	3日	4日	5日以上	合 計
観光地点・地域							
観 光 地 点	名古屋城	46.7	32.3	6.4	0.3	14.3	100.0
	東山動植物園	74.9	21.0	2.5	0.0	1.6	100.0
	熱田神宮	60.3	33.1	1.6	0.0	5.0	100.0
	名古屋市科学館	67.0	21.8	7.7	0.5	3.0	100.0
	名古屋港水族館	77.6	14.8	4.0	0.5	3.1	100.0
	ノリタケの森	30.3	57.0	6.5	1.2	5.0	100.0
	名古屋まつり	90.5	5.0	3.9	0.3	0.3	100.0
地 域	東 海	81.8	16.3	0.8	0.1	1.0	100.0
	関 東	32.3	41.8	12.5	0.6	12.8	100.0
	近 畿	36.3	44.4	8.1	0.6	10.6	100.0
	北 陸	44.9	42.7	7.9	0.0	4.5	100.0
	甲信越	36.7	46.7	10.0	0.0	6.6	100.0
	その他	25.4	47.7	14.4	2.7	9.8	100.0
全 体		61.8	27.8	5.1	0.5	4.8	100.0

市内での宿泊数

名古屋市外からの入込客の中で「日帰り」を除いた方（全体の22.7%）のうち、名古屋市内に宿泊する割合は73.0%である。その泊数としては、「1泊」する割合が54.6%と最も高く、「2泊」する割合が13.3%となっている。

宿泊する全ての階層で「1泊」の割合が最も高い。

観光地点別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「東山動植物園」や「熱田神宮」では半数前後みられる。

居住地別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「東海」で5割以上、「北陸」や「甲信越」からの入込客で2割前後と比較的多い。また、「2泊以上」する割合は「その他」からの入込客では3割以上と多い。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

（単位：％）

市内宿泊数 観光地点・地域		宿泊しない	1泊	2泊	3泊	4泊以上	合 計
観 光 地 点	名古屋城	14.4	61.1	18.7	2.9	2.9	100.0
	東山動植物園	47.5	45.9	6.6	0.0	0.0	100.0
	熱田神宮	59.4	35.4	4.2	0.0	1.0	100.0
	名古屋市科学館	9.2	60.6	23.9	1.4	4.9	100.0
	名古屋港水族館	27.7	52.1	17.0	1.1	2.1	100.0
	ノリタケの森	31.3	54.5	7.5	1.5	5.2	100.0
	名古屋まつり	3.1	68.8	21.9	3.1	3.1	100.0
地 域	東 海	55.5	39.0	4.0	0.4	1.1	100.0
	関 東	15.8	57.7	21.2	1.3	4.0	100.0
	近 畿	15.7	69.1	10.8	1.0	3.4	100.0
	北 陸	18.4	67.4	12.2	0.0	2.0	100.0
	甲信越	23.7	60.5	15.8	0.0	0.0	100.0
	その他	14.1	53.4	19.9	4.7	7.9	100.0
全 体		27.0	54.6	13.3	1.5	3.6	100.0

名古屋の観光の評価

a . 名古屋の印象・旅行の満足度

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が48.8%と最も多く、「大変満足」が31.3%で合わせた80.1%が満足と評価している。「普通」が17.8%であり、「やや不満」、「不満」は僅かである。

なお、名古屋まつりを除く観光地点での満足度は81.4%だった。

観光地点別にみると、満足と評価している割合は「名古屋城」と「熱田神宮」、「名古屋市科学館」、「名古屋港水族館」の入込客では8割以上と高い。

居住地別、性別、年齢別に見ても、「大変満足」、「ほぼ満足」と評価している割合は7割を超えていて、市外からの入込客の名古屋の印象は好印象と言える。

表 2-1-19 名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
地点・地域・性別・年齢							
観光地点	名古屋城	32.4	51.2	14.6	1.5	0.3	100.0
	東山動植物園	34.6	39.6	24.8	0.5	0.5	100.0
	熱田神宮	34.9	49.8	13.3	1.5	0.5	100.0
	名古屋市科学館	34.2	46.9	17.0	1.7	0.2	100.0
	名古屋港水族館	33.9	49.4	14.5	1.5	0.7	100.0
	ノリタケの森	26.8	53.1	19.5	0.6	0.0	100.0
	名古屋まつり	23.8	48.5	22.9	2.4	2.4	100.0
地域	東 海	30.9	47.8	19.1	1.2	1.0	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	33.1	47.1	17.6	1.1	1.1	100.0
	岐阜県	26.0	46.2	25.6	1.3	0.9	100.0
	三重県	27.9	52.3	15.3	2.7	1.8	100.0
	静岡県	27.3	51.3	20.5	0.9	0.0	100.0
	関 東	35.0	52.3	10.7	2.0	0.0	100.0
	近 畿	29.8	50.7	18.1	1.4	0.0	100.0
	北 陸	34.5	46.4	17.9	0.0	1.2	100.0
	甲信越	26.8	62.5	8.9	1.8	0.0	100.0
	その他	30.7	44.8	21.9	2.2	0.4	100.0
性別	男 性	31.7	49.8	16.4	1.6	0.5	100.0
	女 性	31.0	47.9	18.9	1.4	0.8	100.0
年齢	10～19歳	31.6	46.2	21.3	0.9	0.0	100.0
	20～29歳	32.1	46.4	19.3	1.9	0.3	100.0
	30～39歳	29.9	49.5	18.9	1.2	0.5	100.0
	40～49歳	34.2	52.2	12.6	0.5	0.5	100.0
	50～59歳	27.4	45.3	23.8	2.3	1.2	100.0
	60～69歳	31.7	50.7	14.5	1.3	1.8	100.0
	70歳以上	31.0	54.2	11.6	1.9	1.3	100.0
全 体		31.3	48.8	17.8	1.4	0.7	100.0

名古屋市以外からの入込客が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」が33.9%と最も高く、「レジャー施設（動植物園、水族館等）」が26.9%、「産業観光・ものづくりの施設（産業記念館、ノリタケの森等）」が23.9%、「グルメ・なごやめし」が15.8%「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」が10.4%で続き、「コンサートや観劇鑑賞」が4.9%となっている。

訪れた観光地点に影響しない観光資源について、居住地別にみると、「甲信越」や「関東」、「近畿」、「その他」からの入込客では「グルメ・なごやめし」の割合が比較的高く、「甲信越」や「北陸」、「その他」からの入込客では「ショッピングや街歩き」に関しても1割以上みられる。

年齢別にみると、30歳・40歳代では「レジャー施設」、「歴史的な施設」の割合が高く、60歳・70歳代では「歴史的な施設」、「産業観光・ものづくりの施設」の割合が高くなっている。

(单位:%)

満足した 観光資源		施設 歴史的な	産業観光・モ のづくり施設	施設 レジャー	シヨッピン グや街歩き	グルメ・ なごやめし	お祭り・ イベント	コンサート や観劇鑑賞	観戦 スポーツ	そ 他	特になし	合 計
地点・地域・ 性別・年齢												
観光地点	名古屋城	69.3	4.1	4.1	9.1	21.5	3.8	9.7	1.8	3.8	12.1	139.3
	東山動植物園	14.1	5.0	62.8	7.5	9.0	6.5	8.5	4.5	3.5	11.6	133.0
	熱田神宮	78.6	2.0	4.0	14.9	11.9	2.5	0.0	0.0	1.0	12.4	127.3
	名古屋市科学館	12.5	65.4	16.4	8.6	13.2	3.4	2.7	1.0	1.0	6.9	131.1
	名古屋港水族館	8.8	2.5	83.8	5.9	5.4	2.5	3.2	1.2	0.2	4.4	117.9
	ノリタケの森	43.5	54.2	3.2	10.7	22.2	2.3	8.4	3.2	2.0	7.2	156.9
	名古屋まつり	29.4	11.9	9.8	18.3	26.0	13.8	2.1	1.2	0.0	8.6	121.1
地域	東 海	26.5	21.3	30.2	10.7	11.5	6.4	3.0	1.5	1.3	9.7	122.1
	愛知県	24.3	18.9	33.6	11.1	12.1	5.1	2.3	1.4	1.1	9.6	119.5
	岐阜県	34.3	28.9	22.6	10.5	10.5	8.4	2.9	0.8	2.1	10.0	131.0
	三重県	22.2	22.2	29.1	9.4	12.8	12.8	0.0	5.1	1.7	7.7	123.0
	静岡県	30.6	22.3	23.1	9.9	7.4	5.0	11.6	0.0	0.8	11.6	122.3
	関 東	47.3	25.0	18.2	7.8	24.0	4.4	9.1	2.7	2.4	7.1	148.0
	近 畿	45.7	33.7	21.7	9.0	22.1	1.1	4.9	1.1	0.4	3.4	143.1
	北 陸	31.3	27.5	33.8	13.8	12.5	2.5	7.5	0.0	0.0	8.8	137.7
	甲信越	32.7	12.7	36.4	18.2	30.9	5.5	18.2	3.6	3.6	3.6	165.4
その他	47.2	27.1	19.6	10.7	21.0	1.4	6.5	2.8	3.3	9.8	149.4	
性別	男 性	34.5	25.0	27.2	8.1	14.7	4.7	3.6	2.4	1.5	9.2	130.9
	女 性	33.4	23.0	26.6	12.2	16.7	4.9	6.0	1.3	1.5	7.9	133.5
年 齢	10～19歳	33.3	23.3	25.1	7.8	12.8	5.0	6.8	0.5	2.3	6.8	123.7
	20～29歳	29.0	25.9	24.0	14.8	19.2	6.5	3.9	0.7	1.3	8.2	133.5
	30～39歳	28.4	24.3	36.1	10.5	16.6	2.8	6.1	0.8	1.8	7.2	134.6
	40～49歳	34.3	17.1	35.1	9.7	14.3	6.6	9.1	5.4	0.9	7.7	140.2
	50～59歳	29.5	24.8	24.0	9.1	20.1	2.4	2.8	3.1	2.0	11.0	128.8
	60～69歳	46.6	26.7	20.3	6.8	11.0	5.1	2.5	0.8	1.3	10.6	131.7
	70歳以上	53.0	24.7	14.5	6.0	9.0	3.0	1.2	1.2	1.8	9.0	123.4
全 体		33.9	23.9	26.9	10.4	15.8	4.8	4.9	1.7	1.5	8.4	132.2

26

名古屋市外からの入込客が不満を感じた名古屋の観光資源については、「特になし」が 89.7%と大半を占めている。個別の観光資源としては、「グルメ・なごやめし」が 1.9%で最も多い。

居住地別にみると、不満を感じた割合はすべての階層で1割前後となっている。

年齢別では 50 歳・60 歳代の一部観光資源で不満を感じる割合が若干、高くなっているところがある。

(單位：%)

不満を感じた 観光資源 地点・地域・ 性別・年齢		施設 歴史的な	産業観光・も のづくり施設	施設 レジャー	グ や街歩 ピン	な ごやめし	グル メ・	お祭 り・ イベ ント	や 観劇鑑 賞	コン サート	観 戦	スポ ーツ	そ の 他	特 になし	合 計
観光 地点	名古屋城	3.2	0.0	0.3	0.0	1.0	0.6	0.3	0.0	1.0	93.6	100.0			
	東山動植物園	0.0	0.5	3.2	0.5	0.0	0.0	0.0	1.1	3.2	92.1	100.6			
	熱田神宮	0.5	0.0	0.5	0.5	2.0	0.0	0.0	0.5	1.5	95.0	100.5			
	名古屋市科学館	0.8	1.0	0.5	0.5	2.0	1.3	0.0	0.5	1.8	92.8	101.2			
	名古屋港水族館	0.5	0.2	2.7	1.5	1.2	0.5	0.2	1.0	2.0	90.7	100.5			
	ノリタケの森	0.4	1.9	0.4	4.2	3.8	1.5	0.0	1.1	1.1	85.9	100.3			
	名古屋まつり	2.4	2.7	1.8	0.9	2.7	6.3	2.1	0.9	2.7	79.2	101.7			
地 域	東 海	1.0	1.1	1.3	1.0	1.7	2.0	0.6	0.8	1.6	89.6	100.7			
	愛知県	0.5	0.6	0.9	1.2	1.7	2.1	0.4	1.0	1.7	90.8	100.9			
	岐阜県	2.3	2.3	1.8	0.5	0.5	3.7	1.4	0.9	0.9	86.7	101.0			
	三重県	0.0	2.9	2.9	0.0	4.8	0.0	1.0	0.0	1.9	86.5	100.0			
	静岡県	2.7	0.9	1.8	1.8	0.9	0.0	0.9	0.0	1.8	90.2	101.0			
	関 東	2.1	1.1	1.4	0.7	1.4	0.7	0.0	0.4	2.5	90.2	100.5			
	近 畿	1.7	0.4	1.2	1.7	2.9	0.8	0.0	0.4	2.1	89.2	100.4			
	北 陸	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	97.5	100.0			
	甲信越	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0	2.0	89.8	103.8			
	その他	1.5	0.5	2.1	1.5	2.6	2.1	0.0	1.5	3.1	86.2	101.1			
性 別	男 性	1.4	1.2	1.2	1.6	2.0	1.7	0.5	1.0	1.7	88.8	101.1			
	女 性	1.0	0.8	1.4	0.8	1.8	1.5	0.3	0.5	2.0	90.3	100.4			
年 齢	10～19歳	0.0	0.5	0.5	1.9	1.4	1.4	0.5	0.5	0.9	92.9	100.5			
	20～29歳	1.3	1.5	0.9	1.8	2.7	2.4	0.7	0.7	1.8	87.6	101.4			
	30～39歳	0.3	0.8	2.1	2.1	1.8	0.5	0.0	1.0	3.1	89.0	100.7			
	40～49歳	0.6	0.9	1.8	0.3	0.6	1.2	0.9	0.6	2.1	91.4	100.4			
	50～59歳	3.4	0.9	2.1	0.0	2.6	2.1	0.0	0.4	2.1	86.3	100.0			
	60～69歳	2.3	0.9	1.4	0.0	2.7	2.7	0.5	0.9	1.4	88.7	101.5			
	70歳以上	1.2	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	96.3	100.0			
	全 体	1.2	1.0	1.3	1.1	1.9	1.6	0.4	0.7	1.9	89.7	100.8			

27

d . 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」と回答した割合は78.3%であり、「歴史的な施設」の割合が24.9%と最も多く、「グルメ・なごやめし」、「レジャー施設」、「ショッピングや街歩き」、「産業観光・ものづくり施設」、「お祭り・イベント」の順となっている。

観光地点別、居住地別に割合をみると、「歴史的な施設」が高くなっている。

性別には大きな差異はみられない。

年齢別にみると、「20～29 歳」以外の階層では「歴史的な施設」の割合が最も高く、「20～29 歳」では「グルメ・なごやめし」の割合が最も高くなっている。

表 2-1-22 名古屋市外からの入込客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

訪れてみたい 観光資源		歴史的な 施設	産業観光・も のづくり施設	レジャー 施設	ショッピン グや街歩き	グルメ・ なごやめし	お祭り・ イベント	コンサート や観劇鑑賞	観戦 スポーツ	その他	特になし	合 計
観光地点	名古屋城	13.8	10.8	15.9	8.7	17.1	9.6	7.5	6.0	3.9	27.8	121.1
	東山動植物園	24.3	18.9	16.2	16.2	15.7	9.7	4.9	2.2	0.5	26.5	135.1
	熱田神宮	13.0	16.1	12.4	10.4	6.2	3.6	6.2	1.6	0.5	39.4	109.4
	名古屋市科学館	29.8	18.5	24.4	23.4	22.7	13.3	13.5	8.4	2.2	12.3	168.5
	名古屋港水族館	23.3	7.8	20.1	15.0	13.2	9.6	10.3	9.6	0.7	20.1	129.7
	ノリタケの森	41.5	12.6	18.1	18.8	22.0	10.8	9.0	6.9	1.1	18.1	158.9
	名古屋まつり	25.8	8.6	8.3	13.2	24.5	26.1	1.5	4.0	0.6	19.0	131.6
地域	東 海	21.4	12.1	15.8	16.1	16.4	13.5	9.6	6.2	1.4	23.5	136.0
	愛知県	21.4	13.0	16.2	17.1	16.1	12.7	9.4	5.9	1.4	23.0	136.2
	岐阜県	21.1	9.0	13.5	13.9	15.7	16.1	10.3	6.7	2.2	25.1	133.6
	三重県	22.0	13.8	18.3	16.5	25.7	17.4	9.2	9.2	0.0	18.3	150.4
	静岡県	21.6	10.3	15.5	12.9	11.2	9.5	9.5	4.3	1.7	28.4	124.9
	関 東	26.8	12.5	14.3	12.9	19.3	14.6	6.1	6.1	3.2	19.3	135.1
	近 畿	35.8	15.2	17.9	18.3	18.3	8.2	5.8	6.6	1.2	19.5	146.8
	北 陸	31.7	8.5	26.8	14.6	31.7	9.8	6.1	4.9	0.0	28.0	162.1
	甲信越	23.5	15.7	39.2	15.7	25.5	7.8	3.9	5.9	0.0	7.8	145.0
	その他	28.1	15.3	18.7	12.3	19.2	10.8	6.9	6.4	1.0	17.7	136.4
性別	男 性	23.7	12.8	16.4	15.1	18.1	12.2	7.2	7.2	1.7	21.7	136.1
	女 性	25.9	12.7	17.8	15.8	18.1	12.6	8.9	5.4	1.3	21.7	140.2
年 齢	10～19歳	28.2	12.1	17.8	16.7	27.0	23.6	14.4	6.9	1.1	25.9	173.7
	20～29歳	26.2	12.1	19.9	21.5	26.8	21.9	8.7	8.3	1.1	26.4	172.9
	30～39歳	34.4	18.4	25.8	19.7	21.7	10.4	8.0	6.7	2.3	28.4	175.8
	40～49歳	30.2	19.8	23.0	25.2	22.3	11.9	10.8	7.6	2.5	22.3	175.6
	50～59歳	33.9	19.4	20.4	14.0	17.2	19.4	11.3	9.1	1.6	31.7	178.0
	60～69歳	37.9	16.6	23.7	18.3	23.1	10.1	15.4	8.3	1.8	32.0	187.2
	70歳以上	42.9	19.3	21.8	16.0	16.8	7.6	6.7	9.2	4.2	32.8	177.3
全 体		24.9	12.8	17.1	15.5	18.1	12.4	8.1	6.2	1.5	21.7	138.3

（複数回答）

2 - 2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

調査日時等

- 秋期調査：平成 25 年 11 月 16 日 ~ 12 月 27 日
- 春期調査：平成 26 年 3 月 1 日 ~ 3 月 31 日

調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の 20 施設に協力していただいた。

・登録ホテル 13 施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、名古屋マリオットアソシアホテル、キャッスルプラザ、サイプレスガーデンホテル、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋、名古屋観光ホテル、名古屋東急ホテル、名古屋クラウンホテル、ヒルトン名古屋、東京第一ホテル錦、ホテルサンルートプラザ名古屋、名鉄ニューグランドホテル

・ホテル 3 施設

メルパルク名古屋、名古屋ガーデンパレス、KKRホテル名古屋

・登録旅館 1 施設

つちやホテル

・旅館 3 施設

旅館浅野屋、ホテル大名古屋温泉、松竹旅館

調査件数

- 秋 期：363 サンプル
- 春 期：285 サンプル
- 合 計：648 サンプル

(2) 調査結果

居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が7.0%、「愛知県（名古屋市を除く）」が10.3%、「岐阜県、三重県、静岡県」が15.6%であり、合わせて「東海」地域が32.9%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が33.2%と多く、「近畿」地域は10.0%、「北陸」地域は2.6%、「甲信越」地域は3.4%、その他の地域が17.9%である。

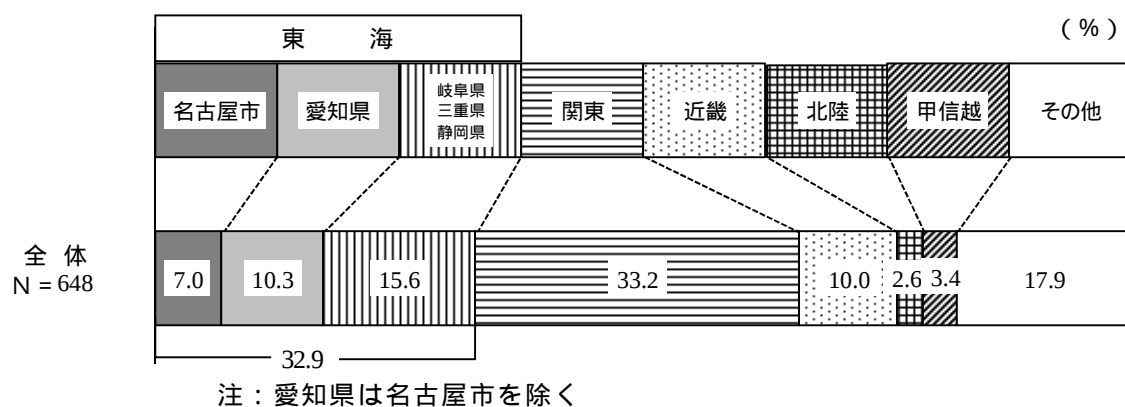


図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b. 性・年齢構成

年齢は、全体では「30～39歳」(19.5%)を中心に、「20～29歳」(23.5%)から「40～49歳」(19.0%)で62.0%と6割以上を占め、「50～59歳」(17.4%)、「60～69歳」(10.3%)、「70歳以上」(5.2%)、「10～19歳」(5.1%)の順となっている。

性別は、男性が48.4%、女性が51.6%と、男女半々である。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性では「40～49歳」、女性では「20～29歳」が多くなっている。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位：%)

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
全 体	5.1	23.5	19.5	19.0	17.4	10.3	5.2	100.0
男 性	6.1	17.6	18.7	20.9	19.1	11.1	6.5	48.4
女 性	4.0	29.1	20.3	17.2	15.9	9.5	4.0	51.6

注：男性、女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」をはじめ「観劇・コンサート」、「ショッピング」、「飲食」、「イベント」などの「観光・娯楽」の割合が合わせて64.4%と6割以上を占め、「商用・公用」が11.1%、「帰省・冠婚葬祭」が7.8%、「大会・会議に参加」が5.3%となっている。

時系列にみると、「観光・娯楽」の割合は、増加傾向を呈しており、「商用・公用」、など仕事や公的な目的の割合は、減少傾向を呈している。一方、「帰省・冠婚葬祭」は1割前後で推移している。

性別にみると、男性では「商用・公用」の割合も16.6%と比較的多い。一方、女性では「観光施設の見学」、「観劇・コンサート」などの観光・娯楽の割合が73.0%と高い。

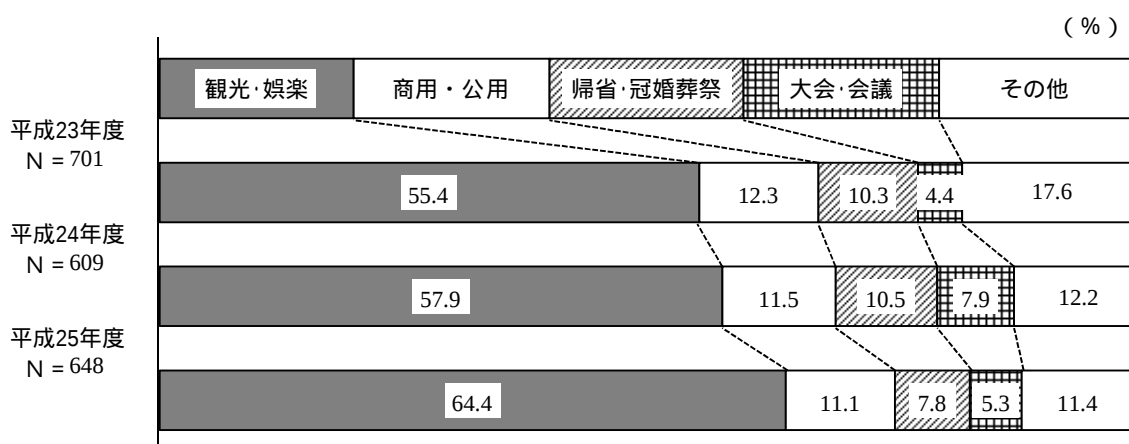


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-2-2 宿泊客の旅行目的（性別）

(単位 : %)

旅行目的 性別	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
男性	27.8	6.2	5.4	7.2	8.0	2.5	16.6	9.0	5.4	11.9	100.0
女性	33.6	8.2	12.0	8.9	6.2	4.1	4.5	6.5	4.4	11.6	100.0
全体	30.6	7.8	9.2	7.5	6.4	2.9	11.1	7.8	5.3	11.4	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（473人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「インターネットホームページの情報から」が最も高く、以下「前に来たことがあり良かったから」、「雑誌・新聞をみて」、「友人・知人に薦められたから」と続いている。

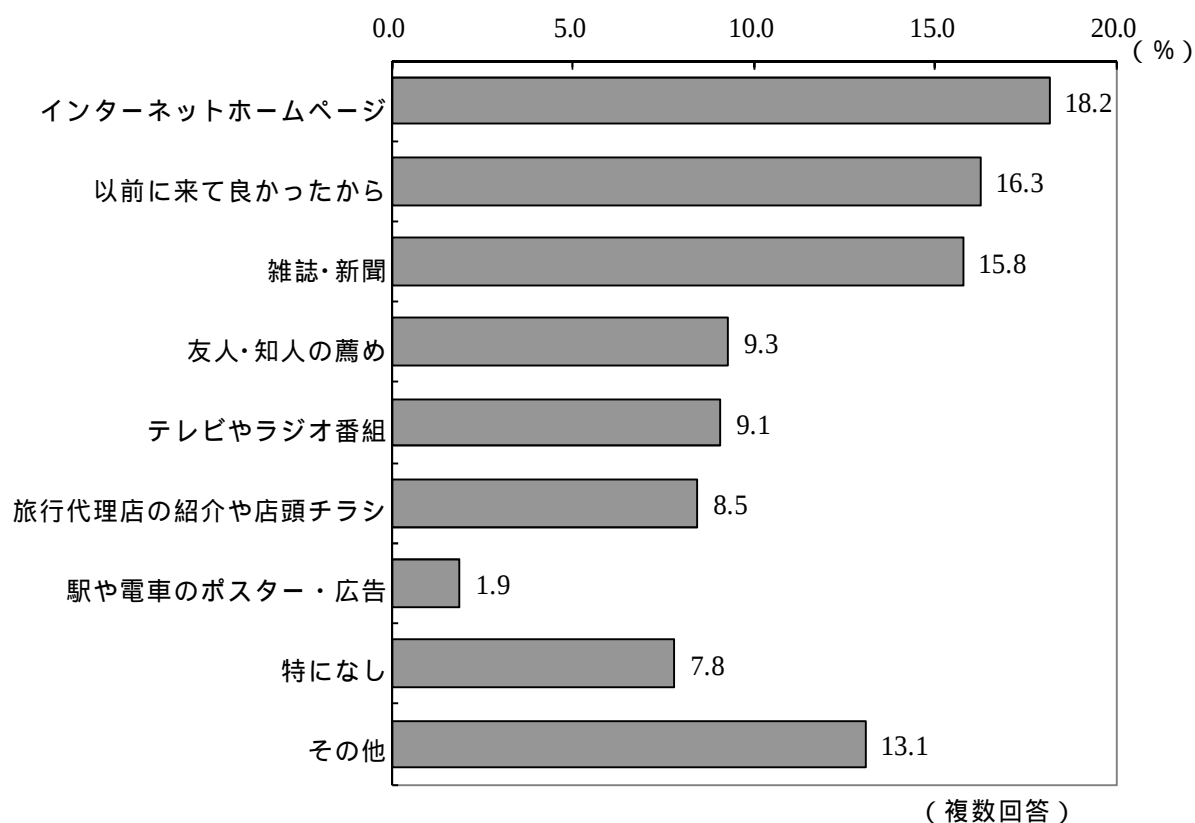


図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問すると回答した宿泊客の訪問先施設としては、全体では「名古屋城」が40.3%と最も多く、次いで「その他」22.8%、「熱田神宮」が20.3%である。以下、「ミッドランドスクエア」などの高層建築物、「徳川園」、「徳川美術館」、「東山動植物園」と続いており、宿泊客1人あたりの平均訪問施設数は1.85施設である。

居住地別にみると、「名古屋城」では東海以外の宿泊客が多く、「ミッドランドスクエア」などの高層建築物は東海の宿泊客が多い。訪問施設としては、「名古屋城」のほか「熱田神宮」と歴史的な施設を訪れる割合が高い。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

(単位：%)

訪問施設 地 域	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ボストン美術館
東 海	22.7	0.6	4.5	4.0	6.3	14.2	2.3	5.1	1.1	6.3	1.1	1.7	0.6
東海以外	48.7	4.0	6.2	9.7	8.9	23.1	0.3	8.9	7.8	5.1	1.3	0.5	4.8
全 体	40.3	2.9	5.7	7.8	8.0	20.3	0.9	7.7	5.7	5.5	1.3	0.9	3.5

訪問施設 地 域	名古屋科学館	でんきの科学館	名古屋博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	リニア・鉄道館	その他	一つもなし	平均訪問施設数
東 海	10.2	3.4	1.7	0.0	7.4	3.4	0.0	0.0	23.3	6.8	31.8	2.3	1.62
東海以外	3.2	0.3	0.3	4.8	7.3	1.1	0.5	3.2	5.6	7.0	18.5	8.1	1.98
全 体	5.5	1.3	0.7	3.3	7.3	1.8	0.4	2.2	11.3	6.9	22.8	6.2	1.85

(複数回答)

注：平均訪問施設数の計算式：{訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数(「なし」の回答は除く)の合計数} / (全回答者数)

d．旅行形態

全体では「友人・知人」が最も多く、「ひとり」は19.1%であり、「家族連れ」の割合は「家族（幼児や小学生連れ）」、「家族（夫婦）」など合わせて43.6%と全体の4割を占めている。

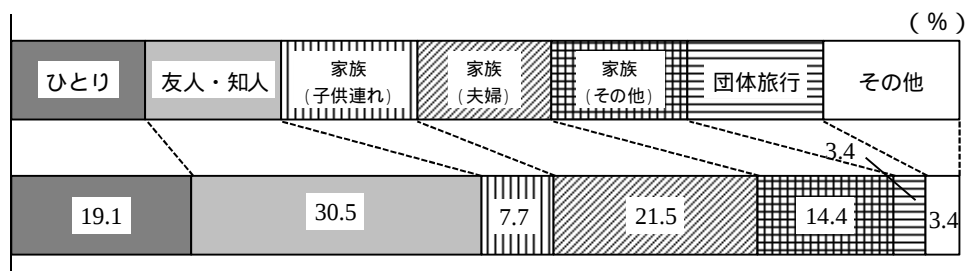


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は、全体では18.1%となっている。

居住地別にみると、「関東」からの宿泊客では3割以上が、「その他」の地域からの宿泊客でも2割以上が、パッケージ旅行を利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無（居住地別）

（単位：％）

地 域	旅行形態			
		パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合 計
東 海		5.9	94.1	100.0
名古屋市		2.4	97.6	100.0
愛知県(名古屋市を除く)		4.5	95.5	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		8.4	91.6	100.0
関 東		31.3	68.8	100.0
近 畿		14.5	85.5	100.0
北 陸		5.9	94.1	100.0
甲信越		9.5	90.5	100.0
その他		23.4	76.6	100.0
全 体		18.1	81.9	100.0

旅行費用

a. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「5,000 円以上」が 42.9%と最も多く、次いで「1,000～3,000 円未満」、「3,000～5,000 円未満」、「交通費はかからない」、「1,000 円未満」となっている。

居住地別にみると、名古屋市では「1,000～3,000 円未満」、「5,000 円以上」の割合が高く、平均額は 2,515 円である。また、「北陸」では「5,000 円以上」が 6 割以上みられ、平均額は 5,988 円と高額である。

なお、市内交通費の平均額は 3,971 円であり、昨年度（4,548 円）と比較して 577 円の減額となっている。

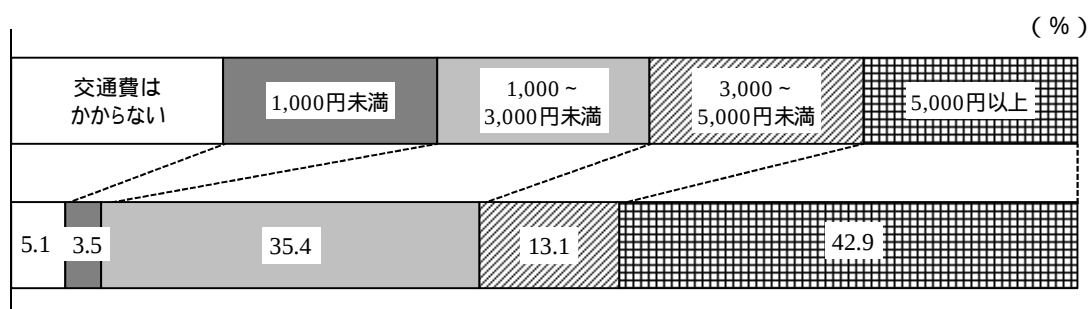


図 2-2-5 宿泊客の市内交通費

表 2-2-5 宿泊客の市内交通費（居住地別）

（単位：％）

地 域	市内交通費					合 計	平均額 （ 円 ）
	交通費は かからない	1,000円 未満	1,000～ 3,000円 未満	3,000～ 5,000円 未満	5,000円 以上		
東 海	1.1	6.5	41.9	17.2	33.3	100.0	3,619
名古屋市	0.0	20.0	32.5	15.0	32.5	100.0	2,515
愛知県(名古屋市を除く)	0.0	1.6	53.9	15.9	28.6	100.0	2,423
岐阜県・三重県・静岡県	2.4	3.6	37.4	19.3	37.3	100.0	5,058
関 東	5.2	1.2	42.5	11.0	40.1	100.0	3,329
近 畿	12.7	3.6	27.3	7.3	49.1	100.0	2,947
北 陸	6.3	0.0	18.7	12.5	62.5	100.0	5,988
甲信越	13.3	0.0	20.0	13.3	53.4	100.0	4,687
その他	6.5	3.3	19.6	11.9	58.7	100.0	6,026
全 体	5.1	3.5	35.4	13.1	42.9	100.0	3,971

b．市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は86.5%であり、購入額は「2,000～5,000円未満」が31.6%と最も多く、以下「5,000～10,000円未満」、「10,000円以上」、「2,000円未満」となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、「名古屋市」居住の宿泊客で最も多く、「愛知県（名古屋市を除く）」、「岐阜県・三重県・静岡県」からの宿泊客でも比較的多い。「関東」からの宿泊客で土産を購入する割合は96.0%と最も高くなっている。

購入額としては、平均額は、「その他」からの宿泊客が最も高額で、「岐阜県・三重県・静岡県」、「北陸」と続いており、遠方からの宿泊客の購入金額が高い傾向がみられる。

なお、土産代の平均額は4,022円である。昨年度と比較して購入する割合（昨年度84.9%）は1.6ポイント増加しているが、平均額（昨年度4,436円）は414円の減額となっている。

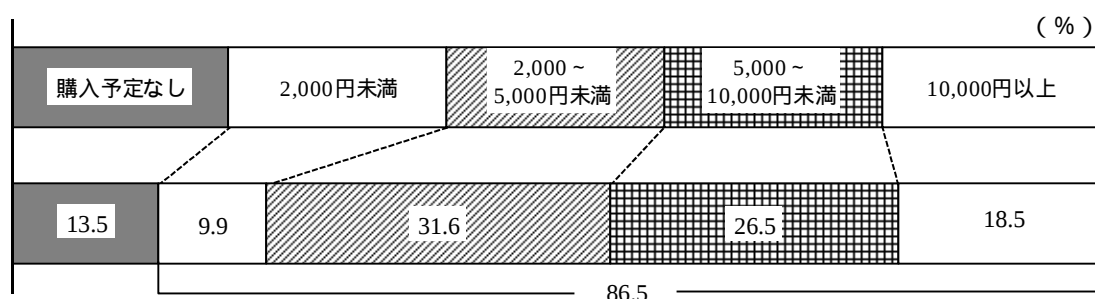


図 2-2-6 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-6 宿泊客の市内での土産代（居住地別）

（単位：％）

地 域	市内土産代	購入予定なし	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上	合 計	平均額（円）
東 海		21.9	7.5	30.6	27.5	12.5	100.0	4,756
	名古屋市	41.4	6.9	3.4	34.5	13.8	100.0	3,793
	愛知県（名古屋市を除く）	14.0	12.0	38.0	24.0	12.0	100.0	4,060
	岐阜県・三重県・静岡県	19.8	4.9	35.8	27.2	12.3	100.0	5,531
関 東		4.0	13.7	36.6	25.7	20.0	100.0	2,786
近 畿		13.3	8.3	33.4	31.7	13.3	100.0	2,478
北 陸		6.3	0.0	43.7	6.3	43.7	100.0	5,156
甲信越		21.1	5.3	42.1	10.5	21.0	100.0	4,474
その他		16.9	10.5	18.9	29.5	24.2	100.0	5,758
全 体		13.5	9.9	31.6	26.5	18.5	100.0	4,022

c. 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「5,000～10,000円未満」と「10,000～30,000円未満」が多く、以下「2,000～5,000円未満」、「500～2,000円未満」、「30,000円以上」となっている。

居住地別にみると、「北陸」および「甲信越」からの宿泊客では「10,000～30,000円未満」の割合が5割前後と多い。食事代の平均額としては、「北陸」からの宿泊客が最も高額で、「岐阜県・三重県・静岡県」、「その他」となっている。

なお、食事代の平均額は6,611円であり、昨年度(7,399円)と比較して788円の減額となっている。

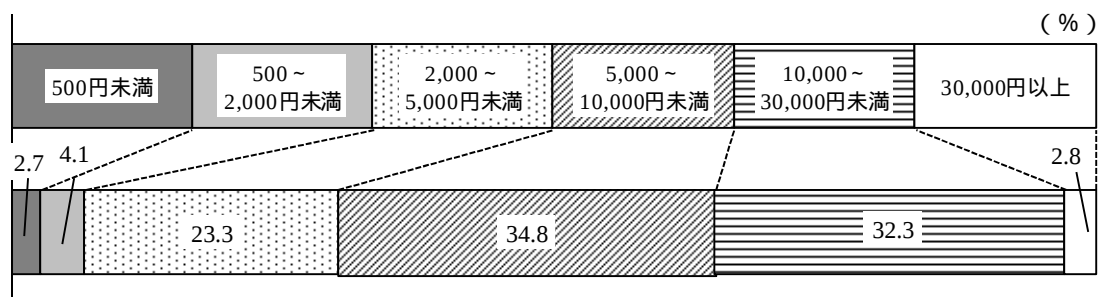


図 2-2-7 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-7 宿泊客の市内での食事代（居住地別）

（単位：%）

地 域	市内食事代	500円未満	500～2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合 計	平均額（円）
東 海		2.2	4.3	21.2	36.4	33.2	2.7	100.0	7,660
	名古屋市	0.0	13.2	15.8	28.9	39.5	2.6	100.0	7,132
	愛知県（名古屋市を除く）	0.0	5.5	30.9	30.9	27.3	5.4	100.0	7,445
	岐阜県・三重県・静岡県	4.4	0.0	17.6	42.9	34.0	1.1	100.0	8,011
関 東		1.6	2.1	24.5	36.7	31.4	3.7	100.0	5,386
近 畿		3.3	6.7	33.3	31.7	23.3	1.7	100.0	5,258
北 陸		0.0	12.5	6.3	25.0	56.2	0.0	100.0	8,750
甲信越		0.0	17.6	23.5	5.9	47.1	5.9	100.0	6,147
その他		6.1	2.1	21.4	36.7	31.6	2.1	100.0	7,547
全 体		2.7	4.1	23.3	34.8	32.3	2.8	100.0	6,611

d . 宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000 円未満」が 72.0%を占めていて、次いで「15,000～30,000 円未満」となっている。

どの地域からの宿泊客においても「5,000～15,000 円未満」が圧倒的に多い。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は 10,962 円であり、昨年度（11,535 円）と比較して 573 円の減額となっている。

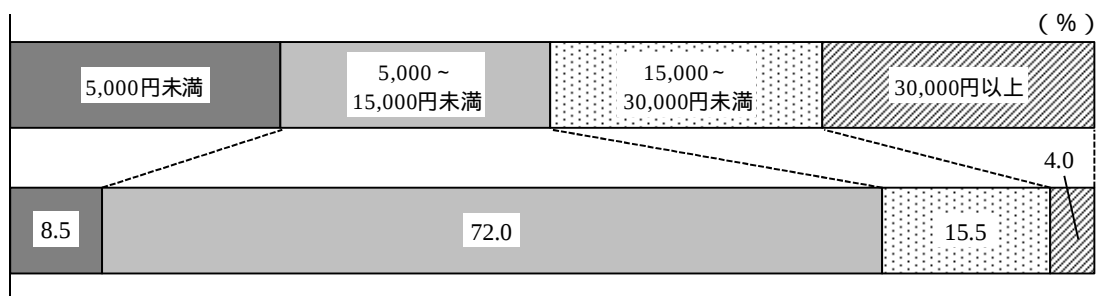


図 2-2-8 宿泊客の宿泊代

表 2-2-8 宿泊客の宿泊代（居住地別）

（単位：％）

地 域	市内宿泊代				合 計	平均額 (円)
	5,000円 未満	5,000～ 15,000円 未満	15,000～ 30,000円 未満	30,000円 以上		
東 海	4.1	73.0	18.8	4.1	100.0	14,528
名古屋市	8.6	65.7	22.8	2.9	100.0	16,809
愛知県（名古屋市を除く）	0.0	77.8	14.8	7.4	100.0	12,422
岐阜県・三重県・静岡県	4.9	72.8	19.8	2.5	100.0	14,947
関 東	12.4	70.0	15.0	2.6	100.0	8,256
近 畿	12.1	77.6	6.9	3.4	100.0	8,686
北 陸	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	9,656
甲信越	18.8	56.2	25.0	0.0	100.0	11,063
その他	7.8	67.8	16.6	7.8	100.0	10,505
全 体	8.5	72.0	15.5	4.0	100.0	10,962

e . 入場料

市内での入場料に係る支出は、「2,000～5,000 円未満」が 4 割程度を占めていて、次いで「入場料はかからない」となっているが、5,000 円以上と答えた人も 3 割程度を占めている。

なお、全体の平均額は 1,974 円となっている。

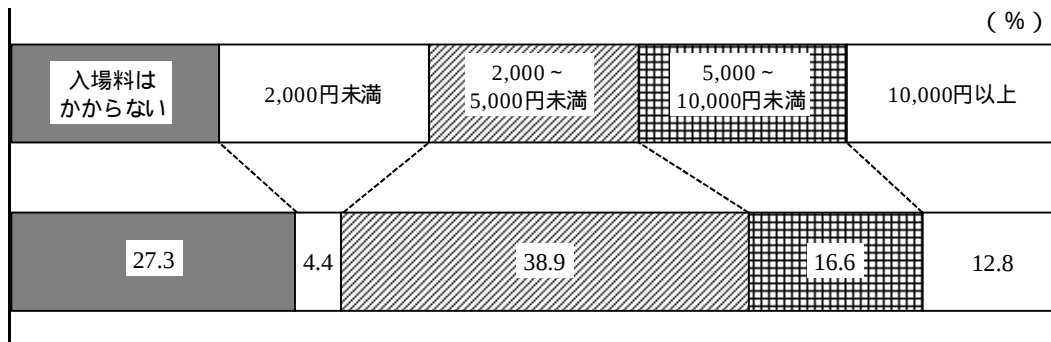


図 2-2-9 宿泊客の入場料

表 2-2-9 宿泊客の入場料（居住地別）

（単位：％）

地 域	市内入場料	入場料は かからない	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上	合 計	平均額 (円)
東 海		33.1	0.7	33.8	18.7	13.7	100.0	2,490
名古屋市		45.2	3.2	32.3	6.4	12.9	100.0	1,403
愛知県（名古屋市を除く）		35.9	0.0	15.4	35.9	12.8	100.0	3,054
岐阜県・三重県・静岡県		26.1	0.0	44.9	14.5	14.5	100.0	2,659
関 東		23.7	10.4	36.3	17.0	12.6	100.0	1,565
近 畿		26.0	0.0	48.0	14.0	12.0	100.0	1,296
北 陸		10.0	0.0	70.0	10.0	10.0	100.0	2,650
甲信越		23.1	0.0	38.4	15.4	23.1	100.0	2,692
その他		26.8	4.9	42.7	14.6	11.0	100.0	1,982
全 体		27.3	4.4	38.9	16.6	12.8	100.0	1,974

f. その他費用

これまでの項目以外の費用としての平均額は5,339円となっている。

居住地別に平均額をみると、「岐阜県・三重県・静岡県」が7,715円と一番高く、「近畿」が1,990円と一番少ない。

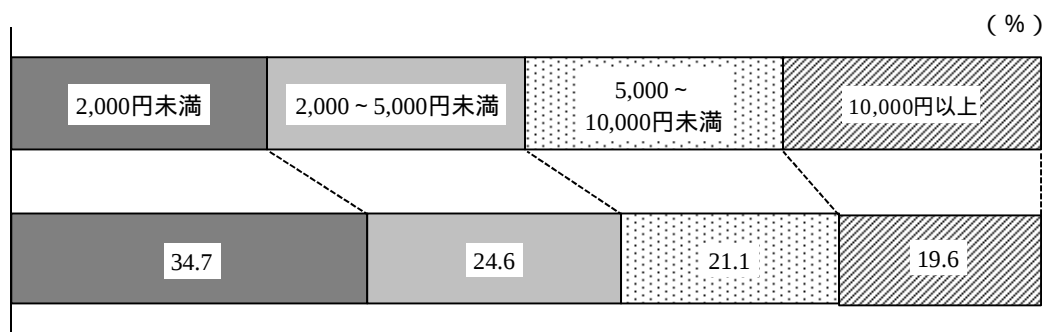


図 2-2-10 宿泊客のその他費用

表 2-2-10 宿泊客のその他費用（居住地別）

（単位：％）

地 域	その他費用				合 計	平均額 (円)
	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上		
東 海	33.1	23.8	19.2	23.9	100.0	7,080
名古屋市	30.8	23.1	19.2	26.9	100.0	6,846
愛知県（名古屋市を除く）	23.8	23.8	26.2	26.2	100.0	6,286
岐阜県・三重県・静岡県	40.3	24.2	14.5	21.0	100.0	7,715
関 東	37.4	24.3	24.3	14.0	100.0	5,068
近 畿	35.3	21.6	31.4	11.7	100.0	1,990
北 陸	14.3	28.6	14.3	42.8	100.0	5,143
甲信越	40.0	30.0	20.0	10.0	100.0	5,700
その他	34.3	27.1	12.9	25.7	100.0	4,957
全 体	34.7	24.6	21.1	19.6	100.0	5,339

来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

居住地が名古屋市の宿泊客 603 人の来名回数としては、「10 回以上」の割合が 26.4%と最も高く、「4～9 回目」と合わせて 5 割近くを占めている。

居住地別にみると、「東海」では「10 回以上」が 5 割以上を占め、「はじめて」の割合は僅かであるが、「東海以外」からの宿泊客では 25.1%が今回「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

（単位：％）

地 域	回 数	はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10回以上	合 計
東 海		5.6	6.3	11.9	20.6	55.6	100.0
愛知県（名古屋を除く）		0.0	0.0	7.7	16.9	75.4	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		9.5	10.5	14.7	23.2	42.1	100.0
東海以外		25.1	20.5	16.7	23.3	14.4	100.0
全 体		19.4	16.3	15.4	22.5	26.4	100.0

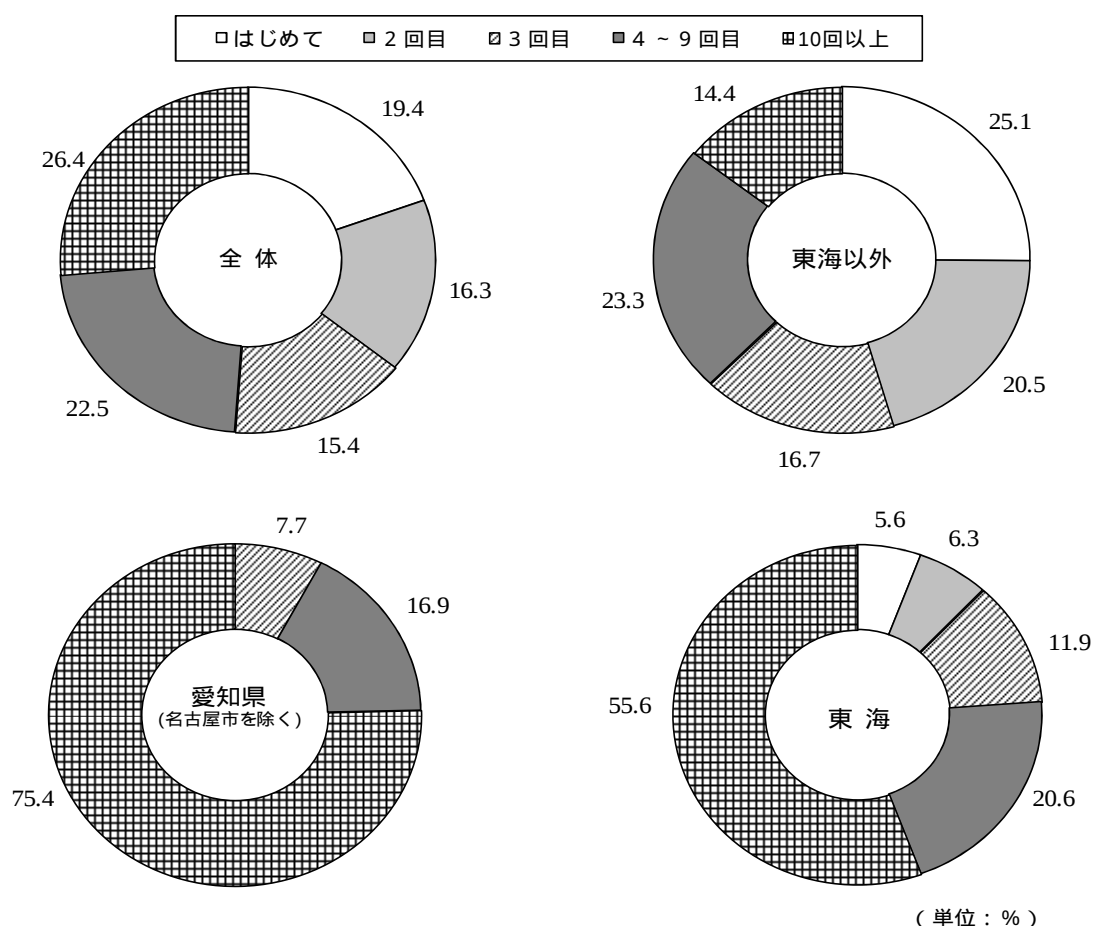


図 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

交通機関

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「ＪＲ」が 53.6%と最も多く過半数を占めている。次いで「自家用車」であり、「名鉄電車」、「近鉄電車」、「航空機」の順となっている。

居住地別にみると、「愛知県」、「北陸」、「甲信越」からの宿泊客では「自家用車」が、「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」が、そのほかの地域では「ＪＲ」が最も多い。また、「その他」の地域からの宿泊客では「航空機」も比較的多い。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れの家族」では「自家用車」が最も多い。

表 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関		Ｊ Ｒ	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	そ の 他	合 計
地域・旅行形態										
地 域	東 海	37.7	15.4	12.3	32.1	0.6	1.9	1.9	1.2	103.1
	愛知県（名古屋市を除く）	32.3	32.3	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	104.6
	岐阜県	51.9	7.4	0.0	37.0	0.0	3.7	0.0	3.7	103.7
	三重県	7.4	3.7	59.3	25.9	0.0	0.0	0.0	3.7	100.0
	静岡県	55.8	2.3	9.3	20.9	2.3	4.7	7.0	0.0	102.3
	関 東	70.2	4.0	1.0	21.2	0.5	1.5	6.6	3.5	108.5
	近 畿	47.6	0.0	25.4	27.0	0.0	1.6	1.6	1.6	104.8
	北 陸	37.5	6.3	0.0	43.8	0.0	12.5	0.0	6.3	106.4
	甲信越	19.0	4.8	0.0	42.9	14.3	9.5	4.8	14.3	109.6
	その他	60.2	11.7	2.9	17.5	31.1	7.8	2.9	1.9	136.0
旅 行 形 態	ひとり	61.4	10.9	7.9	10.9	6.9	3.0	0.0	1.0	102.0
	友人・知人	55.3	12.0	12.7	19.3	2.0	7.3	2.0	2.0	112.6
	家族									
	幼児・小学生連れ	34.1	2.3	0.0	61.4	4.5	0.0	2.3	0.0	104.6
	夫婦	55.6	6.5	1.6	35.5	10.5	0.0	4.0	0.8	114.5
	その他	53.8	6.4	10.3	17.9	10.3	1.3	6.4	5.1	111.5
	団体旅行	40.0	0.0	5.0	15.0	0.0	0.0	25.0	20.0	105.0
	その他	55.0	10.0	10.0	15.0	15.0	5.0	0.0	15.0	125.0
全 体		53.6	8.5	7.3	25.7	6.5	3.4	3.7	2.8	111.5

（複数回答）

名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答の割合は 25.4%であった。その方（130 人）の訪問地としては、「伊勢・志摩」が最も多く、「知多・常滑・セントレア」、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」、「明治村・犬山」、「下呂・高山」と続いている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

（単位：％）

訪 問 地	伊勢・志摩	知多・常滑・セントレア	長島温泉・湯の山・鈴鹿	明治村・犬山	下呂・高山	豊田・岡崎・足助	岐阜・関ヶ原	豊橋・伊良湖	豊川・鳳来寺	蒲郡・西浦・三谷	長久手・モリコロパーク	多治見・恵那・中津川	瀬戸・小原	その他
	74.6	30.0	28.5	27.7	23.1	20.0	20.0	19.2	16.2	16.2	16.2	12.3	10.0	22.3

（複数回答）

旅行日程

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、旅行日程は、「2 日」である割合が 77.5%と最も多く、次いで「3 日」が 15.7%となっている。

居住地別にみると、「東海」、「近畿」、「甲信越」からの宿泊客では「2 日」の割合は 8 割以上を占めている。また、「3 日」以上の割合は、「その他」からの宿泊客では 5 割以上、「関東」、「北陸」からの宿泊客でも 2 割程度みられる。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

（単位：％）

日 程 地 域	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
東 海	94.2	3.6	0.7	1.5	100.0
関 東	78.9	17.5	1.5	2.1	100.0
近 畿	83.9	16.1	0.0	0.0	100.0
北 陸	78.6	21.4	0.0	0.0	100.0
甲信越	80.9	4.8	14.3	0.0	100.0
その他	47.5	29.7	11.9	10.9	100.0
全 体	77.5	15.7	3.6	3.2	100.0

市内での宿泊日数

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市内での宿泊日数は、「1泊」が81.9%と多く、「2泊」が14.4%となっている。

居住地別にみると、「東海」で9割以上が名古屋市内で「1泊」となっている。一方、「その他」からの宿泊客では、名古屋市内で「2泊以上」する割合が、4割程度みられる。

表 2-2-15 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

(単位：%)

地 域	市内宿泊数	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	合 計
東 海		94.2	5.0	0.8	0.0	100.0
関 東		84.9	14.0	1.1	0.0	100.0
近 畿		85.2	14.8	0.0	0.0	100.0
北 陸		78.6	21.4	0.0	0.0	100.0
甲信越		84.2	5.3	10.5	0.0	100.0
その他		58.1	28.0	6.4	7.5	100.0
全 体		81.9	14.4	2.3	1.4	100.0

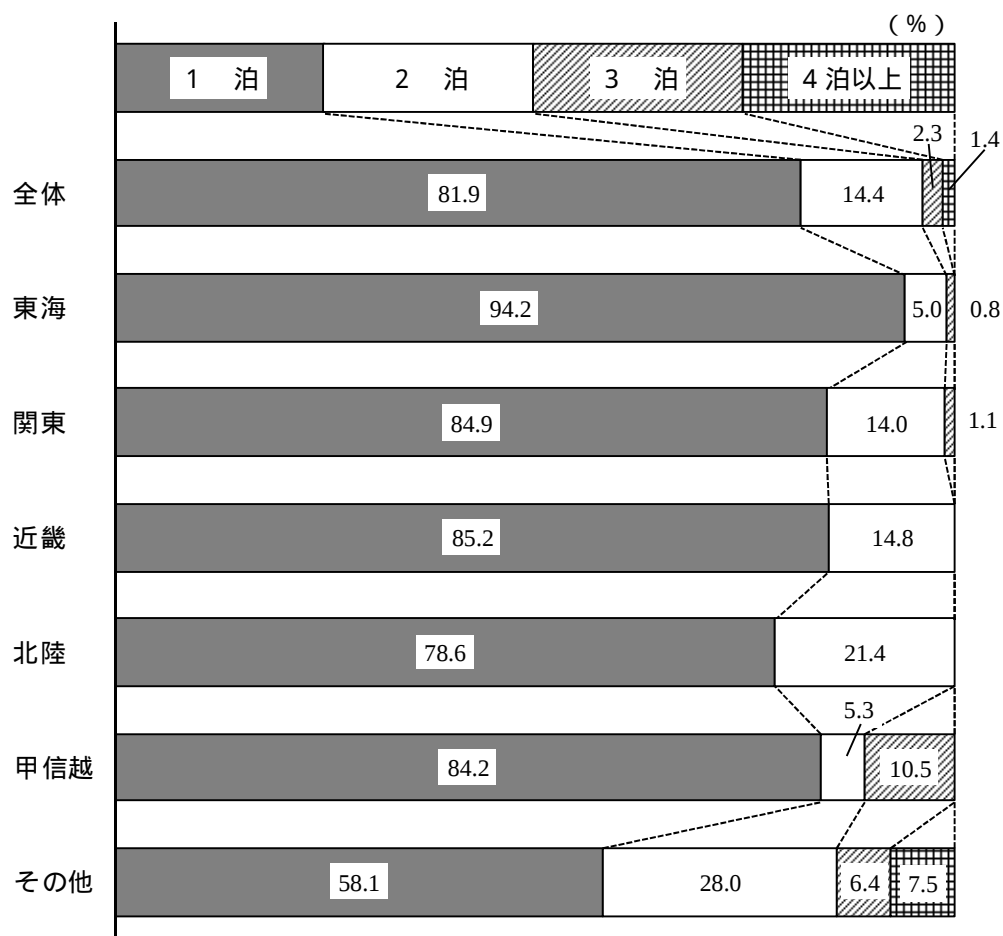


図 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」と「大変満足」を合わせた 66.3%が満足と評価している。「普通」が 32.3%であり、「やや不満」、「不満」は僅かである。

居住地別にみると、満足と評価する割合は「岐阜県」、「静岡県」、「関東」からの宿泊客で高い。一方、「北陸」からの宿泊客では相対的に低く、「普通」が 5 割程度みられる。

性別にみると、男性より女性で満足度は高い。

年齢別にみると、20 歳代の満足度が高くなっている。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れの家族」で満足度が高くなっている。

表 2-2-16 名古屋市外からの宿泊客の名古屋の印象・旅行の満足度（地域・性別・年齢・旅行形態別）

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
地域・性別・年齢・旅行形態							
地域	東 海	17.0	44.7	35.8	0.6	1.9	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	10.8	41.5	44.6	0.0	3.1	100.0
	岐阜県	20.7	51.7	24.1	0.0	3.5	100.0
	三重県	0.0	56.0	44.0	0.0	0.0	100.0
	静岡県	35.0	37.5	25.0	2.5	0.0	100.0
	関 東	25.0	48.0	26.0	0.5	0.5	100.0
	近 畿	23.2	44.6	28.6	3.6	0.0	100.0
	北 陸	11.8	35.3	52.9	0.0	0.0	100.0
	甲信越	14.3	52.4	33.3	0.0	0.0	100.0
	その他	15.1	48.1	36.8	0.0	0.0	100.0
性別	男 性	15.0	44.7	38.3	0.8	1.2	100.0
	女 性	26.6	45.7	26.5	0.8	0.4	100.0
年齢	10～19歳	46.2	26.9	26.9	0.0	0.0	100.0
	20～29歳	30.9	48.0	20.3	0.8	0.0	100.0
	30～39歳	18.2	40.4	39.4	1.0	1.0	100.0
	40～49歳	15.5	44.6	37.9	1.0	1.0	100.0
	50～59歳	8.7	52.2	39.1	0.0	0.0	100.0
	60～69歳	15.5	53.5	31.0	0.0	0.0	100.0
	70歳以上	17.4	39.1	39.1	4.4	0.0	100.0
旅行形態	ひとり	15.7	37.3	43.1	0.0	3.9	100.0
	友人・知人	28.4	47.3	22.9	0.7	0.7	100.0
	家 族	24.5	60.0	13.3	0.0	2.2	100.0
	幼児・小学生連れ	11.1	50.9	38.0	0.0	0.0	100.0
	夫婦	17.1	46.1	32.9	1.3	2.6	100.0
	その他	43.7	25.0	18.8	12.5	0.0	100.0
	団体旅行	5.0	50.0	45.0	0.0	0.0	100.0
全 体		19.8	46.5	32.3	0.7	0.7	100.0

b. 満足した名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「グルメ・なごやめし」と「歴史的な施設(名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等)」が多く、次いで「都心部でのショッピングや街歩き(名古屋駅、栄、大須)」となっている。

満足度別にみると、満足度が高いほど多くの観光資源をあげている。

表 2-2-17 宿泊客の満足した名古屋の観光資源(地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別)

(単位: %)

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		満足した観光資源	施設 歴史的な	産業観光・ものづくり施設	施設 レジャー	ショッピング グア街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	コンサート や観劇鑑賞	観戦 スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東海	18.2	3.6	22.6	35.8	40.9	8.0	12.4	3.6	4.4	19.0	168.5	
	愛知県	11.8	0.0	29.4	37.3	49.0	3.9	17.6	9.8	3.9	17.6	180.3	
	岐阜県	19.2	3.8	23.1	46.2	38.5	19.2	19.2	0.0	0.0	15.4	184.6	
	三重県	4.2	4.2	20.8	25.0	33.3	12.5	4.2	0.0	0.0	33.3	137.5	
	静岡県	36.1	8.3	13.9	33.3	36.1	2.8	5.6	0.0	11.1	13.9	161.1	
	関東	47.7	6.3	8.5	26.1	51.1	5.1	7.4	2.8	13.1	9.7	177.8	
	近畿	36.2	10.6	21.3	21.3	46.8	4.3	8.5	2.1	4.3	6.4	161.8	
	北陸	12.5	6.3	6.3	37.5	37.5	0.0	18.8	6.3	0.0	12.5	137.7	
	甲信越	33.3	5.6	5.6	22.2	44.4	0.0	16.7	0.0	16.7	11.1	155.6	
	その他	41.0	4.8	13.3	20.5	31.3	4.8	3.6	1.2	10.8	25.3	156.6	
性別	男性	35.5	6.0	9.2	21.7	34.6	3.2	4.6	3.2	6.9	20.3	145.2	
	女性	34.5	5.2	18.9	33.7	52.6	7.6	12.0	2.0	10.4	10.0	186.9	
年齢	10～19歳	34.8	4.3	8.7	26.1	34.8	13.0	4.3	0.0	4.3	30.4	160.7	
	20～29歳	29.1	6.4	27.3	28.2	55.5	3.6	14.5	5.5	7.3	4.5	181.9	
	30～39歳	22.7	4.1	16.5	30.9	42.3	7.2	11.3	2.1	10.3	17.5	164.9	
	40～49歳	30.4	4.3	14.1	25.0	43.5	8.7	4.3	0.0	7.6	23.9	161.8	
	50～59歳	48.1	9.1	5.2	24.7	36.4	5.2	7.8	3.9	11.7	14.3	166.4	
	60～69歳	58.2	7.3	7.3	27.3	40.0	0.0	3.6	3.6	10.9	5.5	163.7	
	70歳以上	45.0	0.0	0.0	35.0	20.0	0.0	5.0	0.0	5.0	30.0	140.0	
旅行形態	ひとり	21.4	2.4	1.2	23.8	32.1	3.6	2.4	6.0	3.6	33.3	129.8	
	友人・知人	25.4	7.2	26.1	26.8	47.8	8.7	14.5	3.6	5.8	7.2	173.1	
	家族	子ども連れ	38.5	2.6	30.8	23.1	48.7	15.4	0.0	0.0	12.8	5.1	177.0
		夫婦	50.9	6.5	8.3	29.6	40.7	0.9	5.6	1.9	13.0	13.0	170.4
		その他	42.9	5.7	15.7	38.6	55.7	4.3	15.7	1.4	12.9	7.1	200.0
	団体旅行	29.4	11.8	0.0	11.8	23.5	0.0	5.9	0.0	11.8	35.3	129.5	
	その他	37.5	0.0	0.0	25.0	31.3	0.0	6.3	0.0	6.3	37.5	143.9	
満足度	大変満足	8.7	23.3	35.9	48.5	8.7	6.8	5.8	11.7	11.7	7.8	168.9	
	ほぼ満足	6.8	16.2	29.7	49.5	6.8	9.9	1.8	7.2	7.2	5.4	140.5	
	普通	2.2	6.0	15.7	28.4	1.5	9.0	1.5	7.5	7.5	32.8	112.1	
	やや不満＋不満	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	62.5	137.5	
全体		35.2	5.7	14.5	27.7	43.6	5.5	9.0	2.7	9.0	14.9	167.8	

(複数回答)

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客が不満を感じた名古屋の観光資源としては、「特になし」が 79.2%を占めている。不満を感じた個別の観光資源としては、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」の割合が一番高く 6.8%である。

年齢別では、60 歳代で「都心部でのショッピングや街歩き」、「その他」が、1 割以上みられるものの、その他に「その他」以外で 1 割に達するものはみられない。

満足度別にみると、不満とした方で「レジャー施設」に意見が集中している。

表 2-2-18 宿泊客の不満を感じた名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		不満を感じた観光資源	施設歴史的な	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	や観劇鑑賞	コンサート	観戦スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東海	1.6	0.8	3.3	5.7	2.5	0.8	0.0	0.0	0.0	2.5	84.4	100.0	
	愛知県	0.0	2.2	4.4	8.9	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	84.4	104.3	
	岐阜県	0.0	0.0	4.4	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.6	100.0	
	三重県	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.5	100.0	
	静岡県	3.1	0.0	3.1	0.0	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	6.3	78.1	100.0	
	関東	0.0	0.7	2.0	8.2	2.7	0.7	0.7	0.0	12.9	73.5	101.4		
	近畿	0.0	2.2	4.3	6.5	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	78.3	104.3		
	北陸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	100.0		
	甲信越	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	80.0	100.1		
	その他	2.8	0.0	1.4	8.5	4.2	1.4	0.0	0.0	5.6	81.7	105.6		
性別	男性	1.0	0.0	2.6	3.7	2.6	1.6	0.5	0.5	8.9	80.6	102.0		
	女性	1.0	1.4	2.9	9.5	3.3	0.0	0.0	0.0	7.6	76.2	101.9		
年齢	10～19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	95.7	100.0		
	20～29歳	0.0	1.0	5.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	82.7	100.0		
	30～39歳	3.8	1.3	2.5	1.3	5.0	1.3	0.0	1.3	3.8	81.3	101.6		
	40～49歳	1.2	0.0	3.5	9.4	3.5	0.0	0.0	0.0	11.8	76.5	105.9		
	50～59歳	0.0	0.0	0.0	9.0	4.5	0.0	1.5	0.0	10.4	74.6	100.0		
	60～69歳	0.0	0.0	2.4	14.3	4.8	2.4	0.0	0.0	14.3	66.7	104.9		
	70歳以上	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	12.5	75.0	100.1		
旅行形態	ひとり	1.4	0.0	2.7	4.1	4.1	1.4	0.0	1.4	8.2	76.7	100.0		
	友人・知人		0.8	0.8	4.1	8.3	1.7	0.8	0.0	0.0	2.5	82.6	101.6	
	家族	子ども連れ	3.1	0.0	0.0	9.4	3.1	3.1	0.0	0.0	9.4	78.1	106.2	
		夫婦	0.0	1.1	1.1	8.8	4.4	0.0	1.1	0.0	9.9	76.9	103.3	
		その他	1.7	1.7	3.4	6.8	3.4	0.0	0.0	0.0	15.3	69.5	101.8	
	団体旅行		0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	81.3	100.1	
	その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	
満足度	大変満足	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	3.5	90.7	100.1		
	ほぼ満足	0.5	0.5	1.1	9.3	2.7	1.6	0.0	0.0	8.7	77.0	101.4		
	普通	1.6	0.8	3.1	8.6	4.7	0.0	0.8	0.0	7.0	76.6	103.2		
	やや不満＋不満	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	100.1		
全体		1.0	0.7	2.7	6.8	2.9	0.7	0.2	0.2	8.0	79.2	102.4		

（複数回答）

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客で次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」とした割合は81.6%であり、具体的には「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」の割合が最も高く、「レジャー施設（動植物園・水族館等）」、「グルメ・なごやめし」の順になっている。

表 2-2-19 宿泊客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

訪れてみたい 観光資源		施 設	歴 史的 な	産 業 観 光 ・ の づ く り 施 設	施 設	レ ジャ ー	グ ヤ 街 歩 き	シ ョ ッ ピ ン	な ご や め し	グ ル メ ・ イ ベ ン ト	お 祭 り ・ お 祭 り ・ イ ベ ン ト	観 戦 ス ポ ー ツ	コ ン サ ー ト や 観 劇 鑑 賞	そ の 他	特 に な し	合 計
地 域	東 海	29.3	10.5	15.8	15.8	16.5	18.8	17.3	12.0	2.3	18.0	156.3				
	愛知県	34.0	10.0	12.0	12.0	16.0	14.0	10.0	6.0	2.0	16.0	132.0				
	岐阜県	26.1	13.0	17.4	17.4	39.1	17.4	30.4	17.4	0.0	13.0	191.2				
	三重県	24.0	12.0	8.0	16.0	4.0	20.0	16.0	16.0	4.0	32.0	152.0				
	静岡県	28.6	8.6	25.7	20.0	11.4	25.7	20.0	14.3	2.9	14.3	171.5				
	関 東	26.3	18.0	24.0	12.0	20.4	13.2	8.4	15.6	8.4	19.8	166.1				
	近 畿	35.4	12.5	33.3	31.3	37.5	22.9	14.6	10.4	8.3	4.2	210.4				
	北 陸	25.0	0.0	18.8	31.3	0.0	6.3	43.8	43.8	6.3	18.8	194.1				
	甲信越	12.5	12.5	25.0	18.8	31.3	37.5	6.3	12.5	6.3	25.0	187.7				
	その他	37.3	14.5	27.7	16.9	20.5	12.0	12.0	16.9	7.2	22.9	187.9				
性 別	男 性	23.6	11.5	24.0	12.0	21.2	11.5	8.7	16.3	6.3	24.5	159.6				
	女 性	34.0	16.0	23.0	20.5	20.9	20.5	18.0	13.5	6.6	12.7	185.7				
年 齢	10～19歳	21.7	21.7	39.1	17.4	4.3	43.5	21.7	30.4	21.7	39.1	260.6				
	20～29歳	26.4	6.6	21.7	19.8	17.0	27.4	17.0	20.8	1.9	7.5	166.1				
	30～39歳	33.3	6.5	22.6	16.1	19.4	9.7	9.7	9.7	4.3	21.5	152.8				
	40～49歳	35.5	17.2	25.8	12.9	22.6	6.5	8.6	5.4	10.8	18.3	163.6				
	50～59歳	21.5	12.7	21.5	17.7	27.8	15.2	16.5	17.7	3.8	19.0	173.4				
	60～69歳	28.3	28.3	19.6	13.0	28.3	13.0	15.2	19.6	4.3	23.9	193.5				
	70歳以上	36.8	31.6	21.1	10.5	15.8	15.8	10.5	5.3	15.8	26.3	189.5				
旅 行 形 態	ひとり	29.8	10.7	22.6	14.3	25.0	4.8	13.1	13.1	4.8	19.0	157.2				
	友人・知人	28.6	9.0	16.5	18.0	18.8	26.3	12.8	17.3	4.5	12.0	163.8				
	家 族	子ども連れ	43.6	25.6	35.9	30.8	30.8	12.8	10.3	12.8	10.3	215.5				
	夫婦	24.8	19.8	20.8	13.9	19.8	14.9	10.9	11.9	8.9	26.7	172.4				
	その他	32.4	10.3	36.8	13.2	20.6	13.2	19.1	13.2	4.4	13.2	176.4				
	団体旅行	23.5	17.6	5.9	11.8	5.9	11.8	5.9	11.8	0.0	52.9	147.1				
	その他	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	199.8				
満 足 度	大変満足	30.7	19.8	26.7	19.8	19.8	24.8	21.8	17.8	10.9	8.9	201.0				
	ほぼ満足	33.6	16.6	27.5	19.4	22.7	17.1	14.7	17.5	3.8	10.9	183.8				
	普通	22.0	5.3	15.2	11.4	17.4	9.1	4.5	9.8	6.8	34.1	135.6				
	やや不満・不満	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	150.0				
全 体		29.6	13.8	23.1	16.8	20.7	16.2	13.4	15.1	6.3	18.4	173.4				

（複数回答）

2 - 3 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 25 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

調査対象・方法

平成 24 年度調査により把握した市内宿泊施設から廃止した施設を除き、169 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成 25 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成 26 年 7 月～8 月
- 回答状況：調査対象数 169 施設
有効回答数 166 施設
(全問回答 52 施設、準全問回答 48 施設、部分回答 66 施設)
廃休業数 3 施設
新規開業数 0 施設

(2) 宿泊施設の現状

回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした 169 施設のうち、調査で廃休業などが判明した 3 施設を除く 166 施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは 52 施設(対有効回答数比 31.3%)、準全問回答(宿泊者数の回答有り) が得られたのは 48 施設(対有効回答数比 28.9%)、部分回答が得られたのは 66 施設(対有効回答数比 39.8%) であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数(規模) をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：200 室以上、100 室以上 200 室未満、50 室以上 100 室未満、50 室未満の 4 区分

表 2-3-1 回答状況(タイプ、規模別)

回答状況 施設規模		有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		16	9	4	3	0	(0)	16
ホテル (登録 ホテル を除く)	200 室以上	32	7	15	10	0	(0)	32
	100 室以上 200 室未満	37	10	10	17	0	(0)	37
	50 室以上 100 室未満	28	11	9	8	0	(0)	28
	50 室未満	15	3	4	8	0	(0)	15
計		112	31	38	43	0	(0)	112
旅館		38	12	6	20	3	(0)	41
全 体		166	52	48	66	3	(0)	169
回収率 : (%)		98.2	-	-	-	1.8	-	100.0
回答状況 : (%)		100.0	31.3	28.9	39.8	-	0.0	100.0

注：新規開業は内数値のため、() となっている。

施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが 16 施設、登録ホテルを除くホテルは 112 施設、旅館は 38 施設となっている。また、室数の合計は 21,549 室、収容人数の合計は 30,460 人で、昨年度調査時点より合計施設数では 3 施設、部屋数では 77 室、収容人数では 269 人の減少となった。

表 2-3-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模		回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		16	17	57	4,881	7,632	4,898	7,689
ホテル (登録ホテルを除く)	200 室以上	32	13	51	8,257	10,280	8,270	10,331
	100 室以上 200 室未満	37	9	26	5,182	7,039	5,191	7,065
	50 室以上 100 室未満	28	27	91	2,095	2,900	2,122	2,991
	50 室未満	15	47	133	390	510	437	643
計		112	96	301	15,924	20,729	16,020	21,030
旅 館		38	540	1,595	91	146	631	1,741
全 体		166	653	1,953	20,896	28,507	21,549	30,460

表 2-3-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
施設区分	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
登録ホテル	5,952	9,064	4,918	7,688	4,902	7,615	4,896	7,769	4,898	7,689
ホ テ ル	15,006	18,678	15,501	19,948	16,037	20,833	16,020	20,959	16,020	21,030
旅 館	759	2,120	683	1,956	711	1,997	710	2,001	631	1,741
全 体	21,717	29,862	21,102	29,592	21,650	30,445	21,626	30,729	21,549	30,460
施 設 数	178		167		170		169		166	

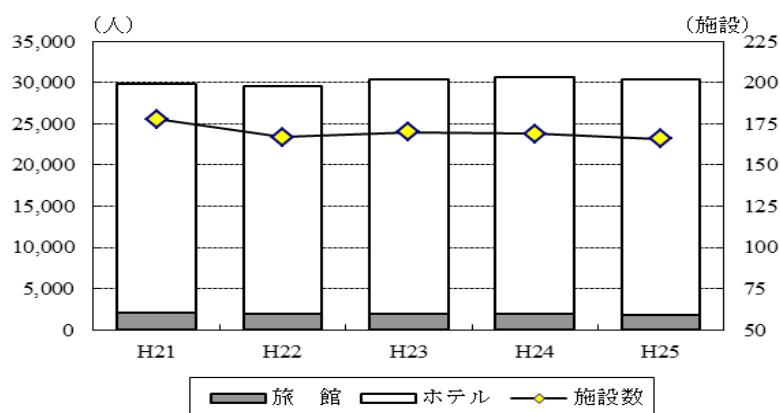


図 2-3-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移

(3) 宿泊客数

年間宿泊者数

a . 宿泊者数

平成 25 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 759 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 197 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 545 万人泊、旅館が約 17 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 604 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 86 万人泊、実人数は約 58 万人である。実人数を参照すると宿泊者の約 9.6%が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 1.5 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、旅館が宿泊者一人あたりの宿泊数 2.7 泊と最も多く、登録ホテルは 1.8 泊、ホテル（登録ホテルを除く）は 1.2 泊となっている。

表 2-3-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数 (人泊)	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数 (人泊)	全施設の 年間総実人数 (人)	うち全施設の 年間外国人 総実人数 (人)
登録ホテル		1,968,707	417,366	1,486,374	226,630
ホテル (登録ホテルを 除く)	200 室以上	2,842,963	321,255	2,530,237	265,357
	100 室以上 200 室未満	1,828,714	82,292	1,292,901	64,023
	50 室以上 100 室未満	689,090	27,564	571,945	20,563
	50 室未満	93,198	5,499	61,697	1,826
計		5,453,965	436,610	4,456,780	351,769
旅 館		166,677	3,167	97,339	1,194
全 体		7,589,349	857,143	6,040,493	579,593

b. 宿泊者数の推移

宿泊者数の過去 5 年間の推移をみると、年間総実人数、年間総延べ宿泊者数ともに平成 21 年度から増加傾向にあり、昨年度より年間総実人数は約 24 万人、年間総延べ宿泊者数は約 64 万人それぞれ増加している。

年間定員稼働率についても、平成 21 年度以降増加傾向にあり、昨年度より 7.6 ポイント増加している。

外国人宿泊者数については、昨年度に比べ総実人数は約 10 万人増加、総延べ宿泊者数は約 25 万人増加している。

表 2-3-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

年 度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
区 分	年間総実人数（人）	4,604,248	4,608,978	5,192,149	5,796,736	6,040,493
	うち外国人	344,847	396,508	271,884	482,571	579,593
年間総延べ宿泊者数（人泊）	年間総延べ宿泊者数（人泊）	5,786,316	5,960,567	6,674,019	6,950,791	7,589,349
	うち外国人	494,002	609,400	441,255	606,148	857,143
年間定員稼働率（％）		54.3	57.3	62.1	63.2	70.8

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率 = 年間延べ宿泊者数 ÷ 年間収容可能人数（表 2-3-6 参照）

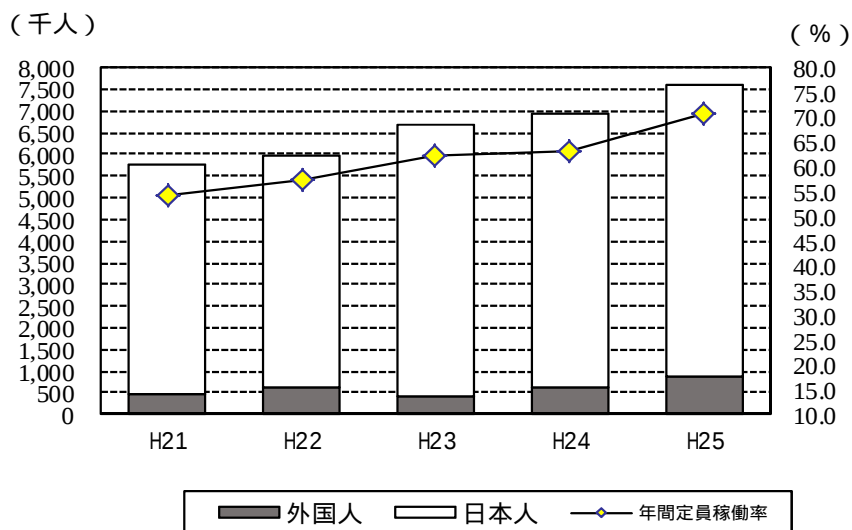


図 2-3-2 市内延べ宿泊者数の推移

推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 25 年度の営業日数（通年営業施設は 365 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a . 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 70.8% の値を得た。区分別にみると、登録ホテルが最も高く、旅館が最も低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-3-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		12	1,320,327	4,691	1,712,215	77.1
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	18	1,546,449	5,620	2,051,300	75.4
	100 室以上 200 室未満	18	819,711	3,166	1,155,590	70.9
	50 室以上 100 室未満	15	348,454	1,512	551,880	63.1
	50 室未満	5	32,338	223	81,395	39.7
	計	56	2,746,952	10,521	3,840,165	71.5
旅館		16	83,645	858	313,170	26.7
全 体		84	4,150,924	16,070	5,865,550	70.8

注： $\text{稼働率} = \frac{\text{年間延べ宿泊者数}}{\text{年間収容可能人数}} \times 365 \text{ 日}$ （年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

$\text{稼働率} = \frac{\text{稼働率}}{100} \times 100$

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（3,438,425人泊）を算出した。

表 2-3-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	回答なし施設の1日収容 可能人数 (人)	回答なし施設の年間収容 可能人数 (人)	回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	回答なし施設の年間延べ 宿泊者数の推計値 (人泊)
登録ホテル		4	2,304	840,960	77.1	648,380
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	14	4,711	1,719,515	75.4	1,296,514
	100室以上 200室未満	19	3,899	1,423,135	70.9	1,009,003
	50室以上 100室未満	13	1,479	539,835	63.1	340,636
	50室未満	10	420	153,300	39.7	60,860
	計	56	10,509	3,835,785		2,707,013
旅館		22	852	310,980	26.7	83,032
全 体		82	13,665	4,987,725		3,438,425

注： $\text{回答なし施設の年間延べ宿泊者数} = \text{回答なし施設の1日収容可能人数} \times 365 \text{ 日}$ （年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

$\text{推計値} = \text{回答あり施設の年間延べ宿泊者数} \times \text{稼働率}$

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（7,589,349人泊）。

表 2-3-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		回答あり施設		回答なし施設		全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		12	1,320,327	4	648,380	16	1,968,707
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	18	1,546,449	14	1,296,514	32	2,842,963
	100室以上 200室未満	18	819,711	19	1,009,003	37	1,828,714
	50室以上 100室未満	15	348,454	13	340,636	28	689,090
	50室未満	5	32,338	10	60,860	15	93,198
	計	56	2,746,952	56	2,707,013	112	5,453,965
旅館		16	83,645	22	83,032	38	166,677
全 体		84	4,150,924	82	3,438,425	166	7,589,349

注： $\text{全施設の年間総延べ宿泊者数} = \text{回答あり施設の年間延べ宿泊者数} + \text{回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値}$

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（6,040,493 人）

表 2-3-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	回答あり 施設の年間 実人数 (人)	回答あり 施設の年間 延べ宿泊者 数 (人泊)	回答あり 施設の 実人数比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の年 間総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		10	846,706	1,122,071	75.5	1,968,707	1,486,374
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	8	641,312	720,853	89.0	2,842,963	2,530,237
	100 室以上 200 室未満	10	320,153	453,024	70.7	1,828,714	1,292,901
	50 室以上 100 室未満	12	229,444	276,375	83.0	689,090	571,945
	50 室未満	5	21,400	32,338	66.2	93,198	61,697
計		35	1,212,309	1,482,590		5,453,965	4,456,780
旅 館		13	31,006	53,070	58.4	166,677	97,339
全 体		58	2,090,021	2,657,731		7,589,349	6,040,493

注： $\div$
 $\times$

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の年間 延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)
登録ホテル		11	270,125	1,276,255	21.2	1,968,707	417,366
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	14	133,109	1,174,560	11.3	2,842,963	321,255
	100 室以上 200 室未満	14	28,879	643,581	4.5	1,828,714	82,292
	50 室以上 100 室未満	13	12,208	304,322	4.0	689,090	27,564
	50 室未満	4	1,805	30,809	5.9	93,198	5,499
	計	45	176,001	2,153,272		5,453,965	436,610
旅 館		9	1,094	57,076	1.9	166,677	3,167
全 体		65	447,220	3,486,603		7,589,349	857,143

注： $\div$
 $\times$

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、外国人延べ宿泊者数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表 2-3-10）に乗じて算出した。

表 2-3-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数 (施設)	回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (人)	回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 外国人 実人数比 (%)	全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)	全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		9	131,552	242,455	54.3	417,366	226,630
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	6	29,517	35,747	82.6	321,255	265,357
	100 室以上 200 室未満	10	19,578	25,180	77.8	82,292	64,023
	50 室以上 100 室未満	11	6,715	8,996	74.6	27,564	20,563
	50 室未満	4	600	1,805	33.2	5,499	1,826
	計	31	56,410	71,728		436,610	351,769
旅 館		8	348	923	37.7	3,167	1,194
全 体		48	188,310	315,106		857,143	579,593

注： $\div$
 $\times$

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 100 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 73 施設であり、その割合は 73.0%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館が 9 施設、ホテル（登録ホテルを除く）が 17 施設、登録ホテルが 1 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、台湾が全体の 21.2%（75,088 人）と最も多く、次いで米国 19.5%（68,972 人）であり、中国 13.7%（48,382 人）タイ 12.9%（45,818 人）韓国 8.5%（30,036 人）香港 7.5%（26,442 人）の順となっており、その他の国の割合は 3%未満である。

施設分類別にみると、登録ホテルでは米国が 27.3%（60,218 人）と最も多く、次いで台湾 14.8%（32,574 人）タイ 14.8%（32,529 人）の順となっている。ホテル（登録ホテルを除く）では台湾が 3 割程度を占めている。

表 2-3-12 国別、外国人宿泊者数

	登録 ホテル	ホテル（登録ホテルを除く）					旅館	全 体	
		200室 以上	100室以上 200室未満	50室以上 100室未満	50室未満	計		人数 （人）	割合 （％）
回答数（施設）	13	22	20	20	7	69	18	100	
台湾	32,574	32,865	8,723	700	186	42,474	40	75,088	21.2
米国	60,218	7,421	717	500	58	8,696	58	68,972	19.5
中国	27,498	16,336	2,344	1,844	208	20,732	152	48,382	13.7
タイ	32,529	11,764	1,242	240	20	13,266	23	45,818	12.9
韓国	12,821	14,174	1,751	978	246	17,149	66	30,036	8.5
香港	13,601	10,836	1,300	499	151	12,786	55	26,442	7.5
シンガポール	5,265	3,891	678	193	21	4,783	15	10,063	2.8
ベトナム	6,215	1,099	446	93	11	1,649	5	7,869	2.2
ドイツ	6,086	509	121	251	15	896	3	6,985	2.0
インドネシア	2,799	910	928	160	3	2,001	3	4,803	1.4
オーストラリア	2,862	1,229	176	288	25	1,718	31	4,611	1.3
フランス	3,194	539	123	214	3	879	19	4,092	1.2
英国	2,206	629	164	257	11	1,061	19	3,286	0.9
カナダ	1,622	521	152	157	7	837	4	2,463	0.7
マレーシア		1,560	107	36		1,703		1,703	0.5
フィリピン			200			200		200	0.1
イタリア		39	2	14	1	56		56	0.0
スイス		15		3	2	20		20	0.0
ブラジル		17	50	8		75	2	77	0.0
インド		140	19	14	1	174		174	0.0
スペイン			3			3		3	0.0
フィンランド				6		6		6	0.0
ミャンマー				5		5		5	0.0
ノルウェー					1	1		1	0.0
メキシコ			9	5		14		14	0.0
ロシア		13	100	16		129	7	136	0.0
モンゴル						0	7	7	0.0
カンボジア				4		4	6	10	0.0
バンコク				1		1		1	0.0
ネパール				2		2		2	0.0
ハンガリー					1	1		1	0.0
コロンビア					1	1		1	0.0
ペルー						0	2	2	0.0
オランダ			11			11		11	0.0
ナイジェリア			4			4		4	0.0
その他ヨーロッパ				26		26		26	0.0
その他アジア				30		30		30	0.0
その他	10,744	272	1,318	569		2,159	17	12,920	3.6
合 計	220,234	104,779	20,688	7,113	972	133,552	534	354,320	100

修学旅行団体の受入状況

a. 修学旅行学校数及び宿泊者数

平成 25 年度の修学旅行団体の受入実績について回答が得られた宿泊施設は 12 施設（対有効回答 166 施設比 7.2%）である。学校数は 55 校、宿泊者数は 2,787 人である。昨年度（77 校、4,602 人）に比べ、学校数は 22 校、宿泊者数は 1,815 人と減少している。

学校分類別では、高校（6 校減、779 人減）が大幅に減少している。

表 2-3-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	学校数 (校)	宿泊者数 (人)	1 校あたり修 学旅行宿泊者 数 (人)
登録ホテル		3	17	1,112	65
ホテル (登録ホテルを除く)	200 室以上	4	7	369	53
	100 室以上 200 室未満	0	0	0	0
	50 室以上 100 室未満	1	1	27	27
	50 室未満	0	0	0	0
	計	5	8	396	50
旅館		4	30	1,279	43
全 体		12	55	2,787	51

注： = ÷

表 2-3-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数
小学校	22	1,814	8	267	48	3,002	18	1,073	15	980
中学校	5	149	10	778	11	1,101	15	984	12	469
高 校	6	549	6	672	16	1,204	17	1,526	11	747
その他	7	185	15	1,252	20	1,338	27	1,019	17	591
全 体	40	2,697	39	2,969	95	6,645	77	4,602	55	2,787

b. 地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

全体では55校中17校(30.9%)が近畿地域から、14校(25.5%)が関東・甲信越地域、12校(21.8%)が東海・北陸地域からの修学旅行団体である。

表 2-3-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	2		1	1	
		関東・甲信越	2		1	1	
		東海・北陸	8	1	4	1	2
		近畿	3	3			
		中国・四国	1		1		
		九州・沖縄	1				1
		海外					
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	2			1	1
		関東・甲信越	3		1	1	1
		東海・北陸	1		1		
		近畿					
		中国・四国					
		九州・沖縄					
		海外	2		1		1
旅館		北海道・東北	1			1	
		関東・甲信越	9		2	2	5
		東海・北陸	3				3
		近畿	14	11			3
		中国・四国	3			3	
		九州・沖縄					
		海外					
全 体		北海道・東北	5		1	3	1
		関東・甲信越	14		4	4	6
		東海・北陸	12	1	5	1	5
		近畿	17	14			3
		中国・四国	4		1	3	
		九州・沖縄	1				1
		海外	2		1		1
計			55	15	12	11	17

注：各地域に含まれる都道府県は以下の通り

北海道・東北 - 北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県

関東・甲信越 - 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県・新潟県・長野県・山梨県

東海・北陸 - 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・福井県・石川県・富山県

近畿 - 滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

中国・四国 - 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県

九州・沖縄 - 福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県・沖縄県

表 2-3-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道			1	84	2	124			3	208
青森県									0	0
秋田県									0	0
岩手県									0	0
山形県									0	0
宮城県					1	43	1	42	2	85
福島県									0	0
東京都			2	76	3	398			5	474
神奈川県			1	33	1	15	4	81	6	129
千葉県									0	0
埼玉県							1	150	1	150
群馬県									0	0
栃木県									0	0
茨城県									0	0
新潟県			1	19					1	19
長野県							1	24	1	24
山梨県									0	0
愛知県									0	0
岐阜県			4	132	1	56	2	82	7	270
三重県									0	0
静岡県	1	63					2	18	3	81
福井県							1	28	1	28
石川県			1	27					1	27
富山県									0	0
滋賀県									0	0
京都府	14	917					2	43	16	960
大阪府									0	0
奈良県									0	0
和歌山県									0	0
兵庫県							1	34	1	34
鳥取県									0	0
島根県									0	0
岡山県									0	0
広島県			1	48					1	48
山口県									0	0
香川県									0	0
徳島県									0	0
愛媛県									0	0
高知県					3	111			3	111
福岡県							1	53	1	53
大分県									0	0
宮崎県									0	0
熊本県									0	0
佐賀県									0	0
長崎県									0	0
鹿児島県									0	0
沖縄県									0	0
海外			1	50			1	36	2	86
合 計	15	980	12	469	11	747	17	591	55	2,787

2 - 4 全国から見た名古屋の観光に関する評価

(名古屋の観光に関する全国インターネット調査結果)

(1) 調査の概要

調査目的

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、インターネットを用いてアンケートを実施した。

調査対象

東海、関東、近畿、北陸・甲信越、東北・北海道、中国・四国、九州・沖縄に住む 18～79 歳の男女 1,145 名とした(名古屋市を除く)。

調査日時等

平成 26 年 1 月 31 日(金)～2 月 3 日(月)

サンプリング方法

国勢調査における都道府県人口割合と性・年齢別人口割合をもとに、各カテゴリーのサンプル数を求めた。(下表参照)

インターネット調査の対象者

性・年齢 地域	男 性								女 性								合 計
	男性 計	19歳 以下	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 以上	女性 計	19歳 以下	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 以上	
東海	68	3	9	12	10	10	15	9	65	2	9	12	13	9	10	10	133
関東	192	5	28	40	38	27	31	23	187	6	25	34	35	28	34	25	379
近畿	93	4	11	16	18	13	17	14	94	3	12	16	17	14	18	14	187
北陸・甲信越	43	2	4	7	10	6	7	7	39	3	4	6	7	6	7	6	82
東北・北海道	63	2	9	9	11	11	13	8	66	2	8	11	10	11	13	11	129
中国・四国	52	1	6	10	8	10	9	8	54	2	6	8	12	7	10	9	106
九州・沖縄	62	2	9	10	10	13	10	8	67	1	9	10	13	11	14	9	129
合 計	573	19	76	104	105	90	102	77	572	19	73	97	107	86	106	84	1,145

注：東 海 - 愛知県(名古屋市を除く)・岐阜県・三重県・静岡県
 関 東 - 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県
 近 畿 - 滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
 北 陸 - 福井県・石川県・富山県
 甲信越 - 新潟県・長野県・山梨県
 東 北 - 青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県
 中 国 - 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四 国 - 香川県・徳島県・愛媛県・高知県
 九 州 - 福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県

(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等

名古屋への訪問状況

a. 過去5年間の名古屋への訪問回数

過去5年以内に名古屋に訪れたことがある割合は41.5%である。訪問回数としては、「1回」が17.7%と多く、以下「11回以上」、「2回」、「3～5回」となっている。

性別にみると、男性では訪れた割合は43.3%で、女性より3.6%高い。

年齢別にみると、訪れた割合は50代が47.1%で最も高い。

地域別にみると、「東海」では9割以上が訪れており、うち「11回以上」が5割を占めている。訪問回数としては、「東海」地域を除き、「1回」の割合が最も高くなっている。

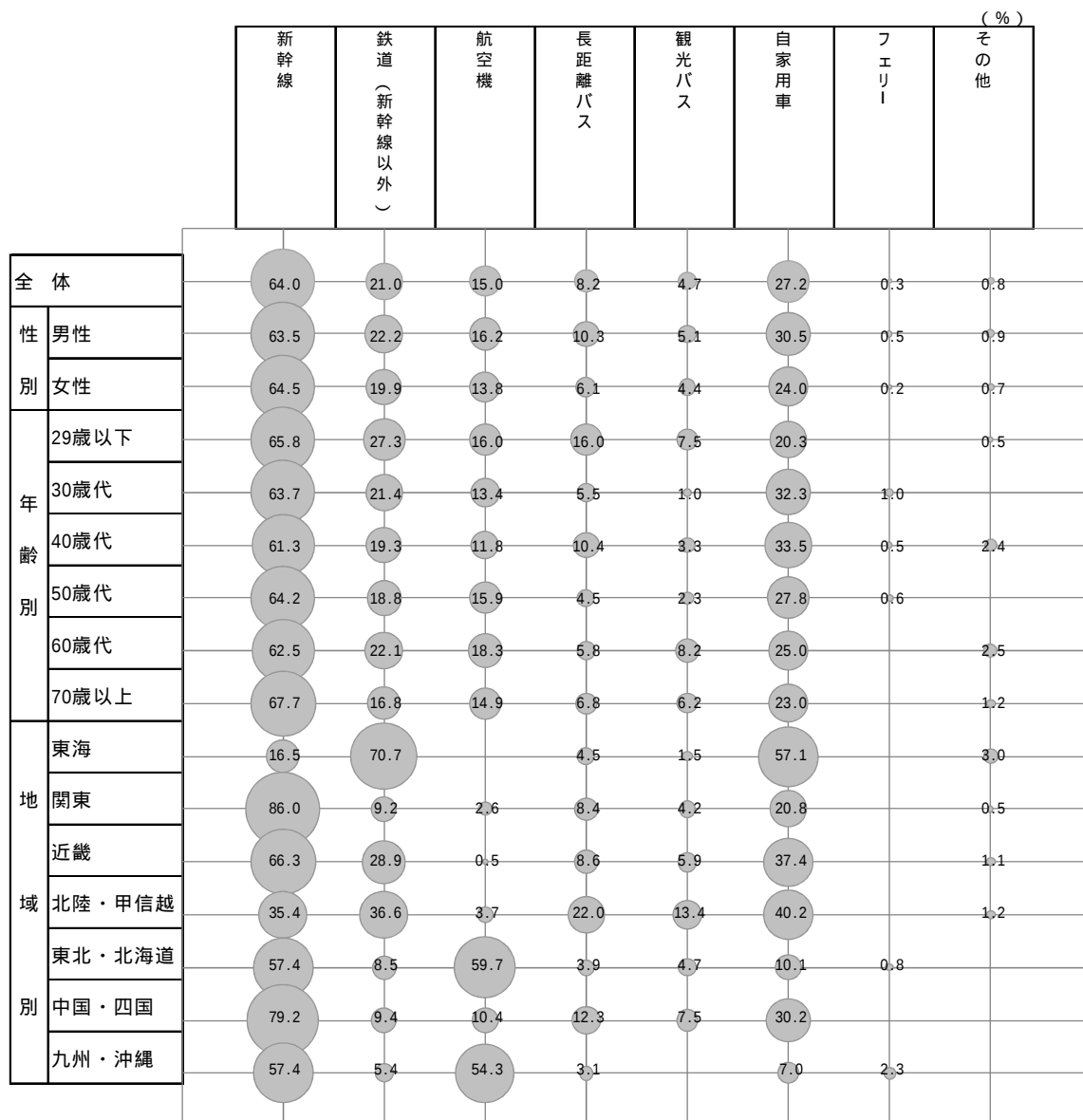
図 2-4-1 過去5年間の名古屋への訪問回数



ｂ．名古屋への交通機関

名古屋を訪れる場合の交通機関としては、「新幹線」が64.0%と最も多く、次いで「自家用車」が27.2%で、以下、「鉄道（新幹線以外）」、「航空機」、「長距離バス」となっている。

図 2-4-2 名古屋への交通機関（複数回答）

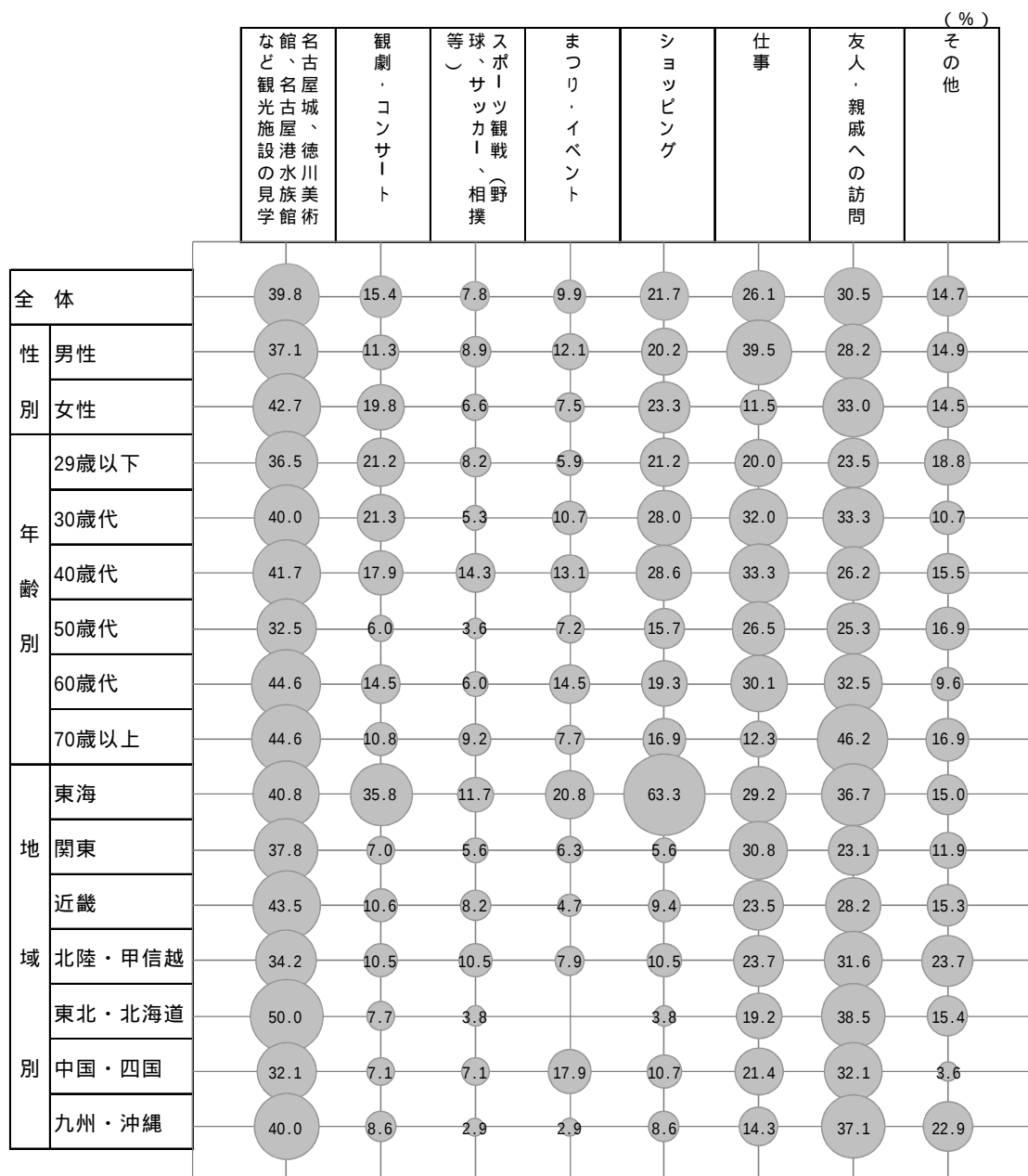


c. 名古屋への訪問目的

過去5年以内に名古屋を訪れた方（475人）の訪問目的としては、「観光施設の見学」、「仕事」、「友人・親戚への訪問」の割合が多くなっている。

性別にみると、男性は「仕事」、女性は「観光施設の見学」の割合が高い。

図 2-4-3 名古屋への訪問目的（複数回答）



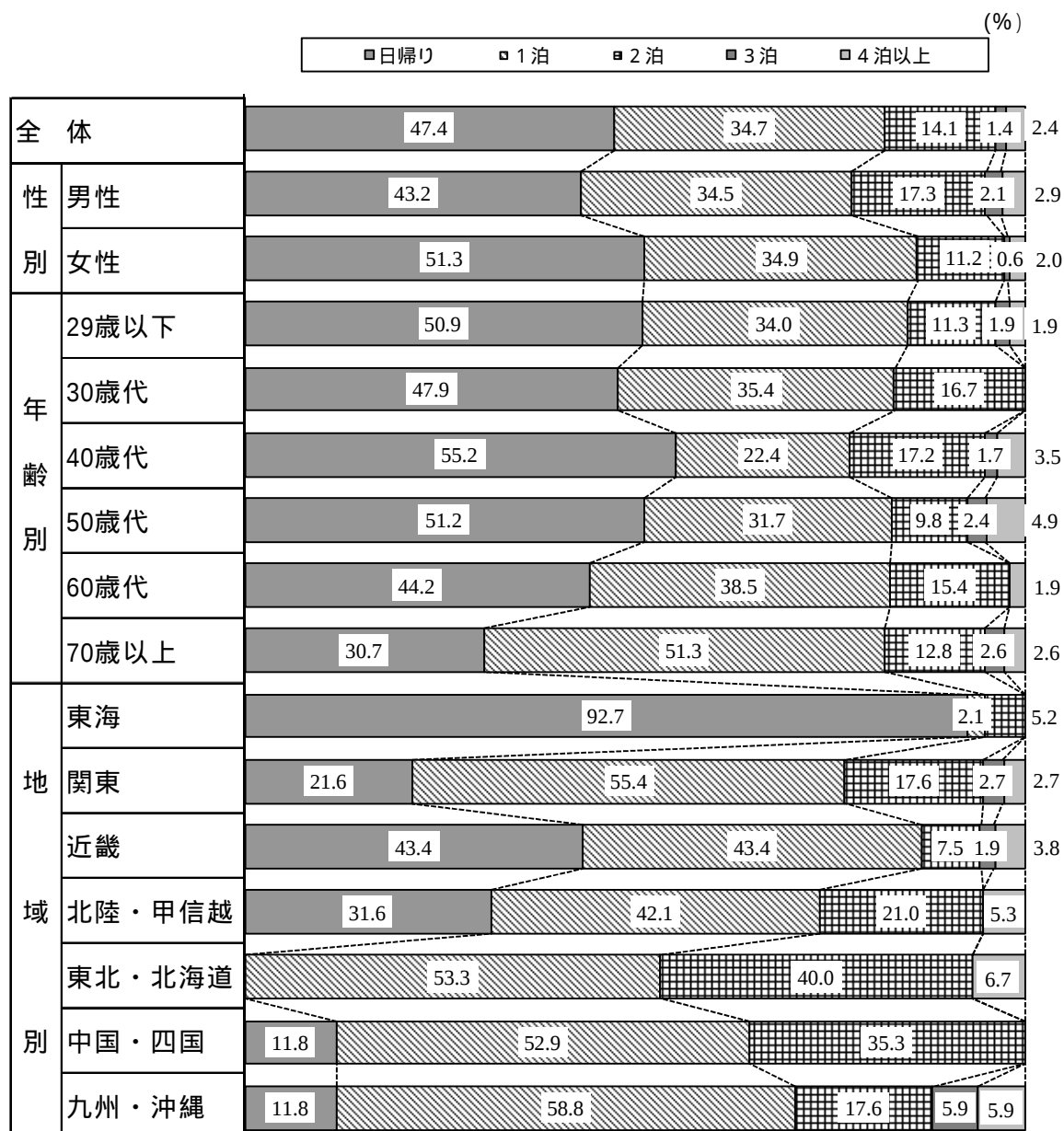
d．名古屋への訪問日程

観光等が目的で名古屋を訪れた方（前ページ 図 2-4-3 で「観光施設の見学」「観劇・コンサート」「スポーツ観戦」「まつり・イベント」「ショッピング」と回答した方 291 人）の直近の訪問日程としては、「日帰り」が 47.4%と 5 割ほどで、「1 泊」が 34.7%、「2 泊」が 14.1%となっている。

「日帰り」の割合は、女性や 40 歳代で高い。

地域別にみると、「東海」では大半が「日帰り」である。

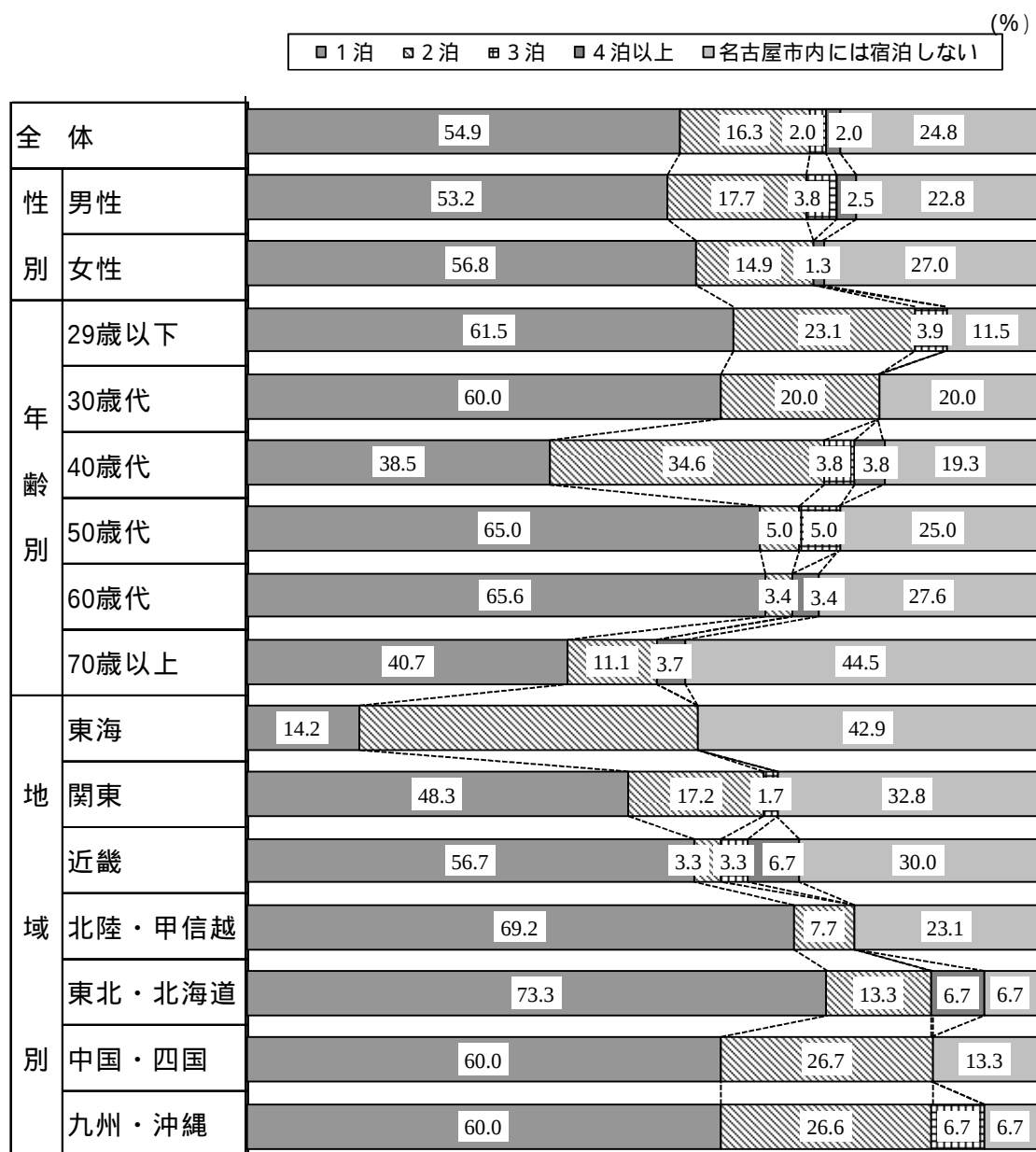
図 2-4-4 名古屋への訪問日程



e . 名古屋市内での宿泊数

観光等が目的で名古屋に訪れた方（291人）のうち、1泊以上の日程で名古屋に訪れた方の名古屋市内での宿泊数は、「1泊」が54.9%と最も多い。また、「名古屋市内には宿泊しない」は24.8%となっている。

図 2-4-5 名古屋市内での宿泊数



f．名古屋への旅行形態

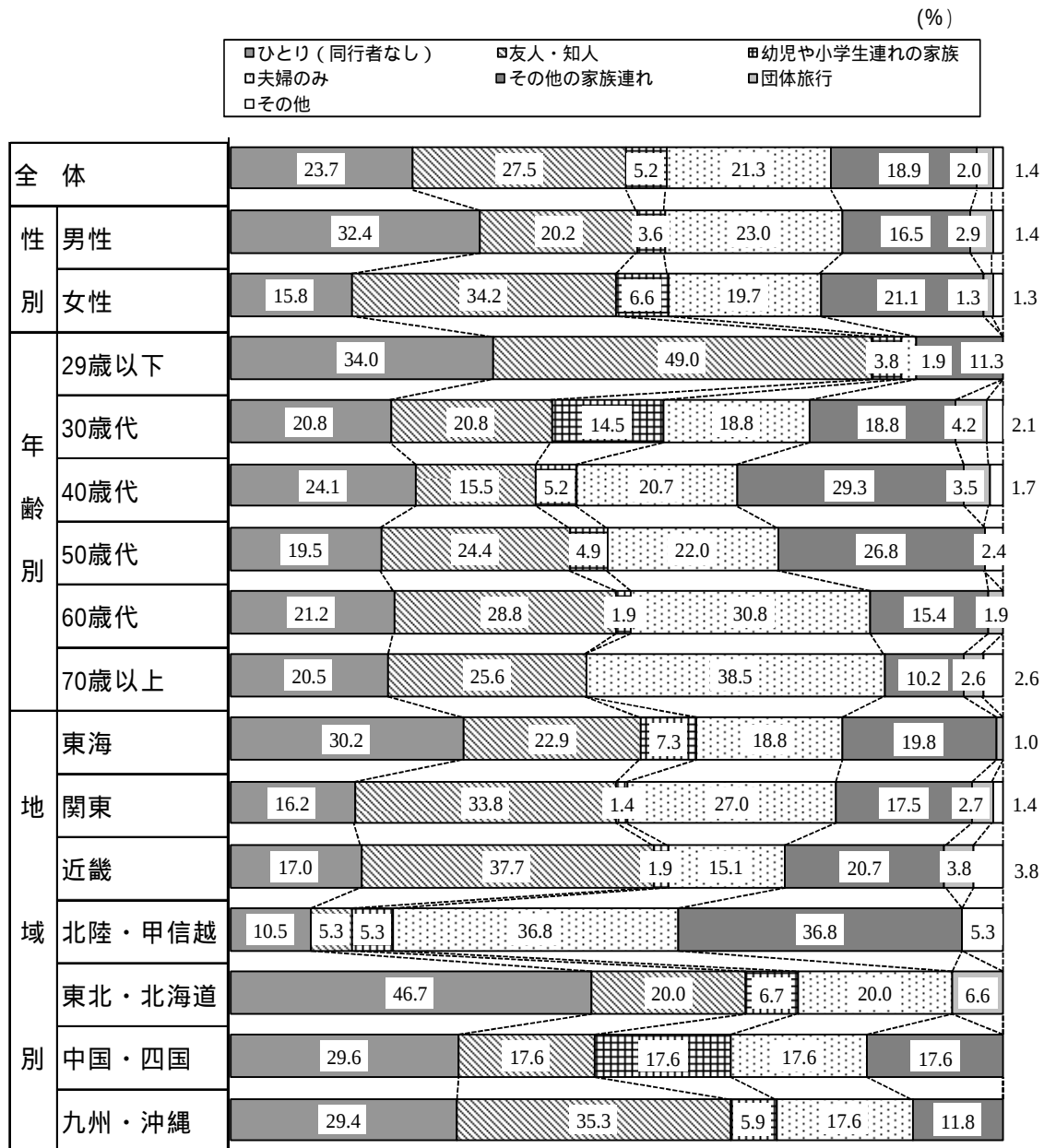
観光等が目的で名古屋に訪れた方（291 人）の直近の訪問は、「友人・知人」と「ひとり（同行者なし）」、「夫婦のみ」が多く、以下「その他の家族連れ」となっている。また、「幼児や小学生連れの家族」、「夫婦のみ」、「その他の家族連れ」を合わせた家族連れの割合は 45.4%である。

性別にみると、「ひとり（同行者なし）」の割合は、男性が女性より多くなっている。

年齢別にみると、「友人・知人」の割合は 29 歳以下で高く、「夫婦のみ」の割合は年齢が上がるほど高くなっている。

地域別にみると、「北陸・甲信越」では「夫婦のみ」と「その他の家族連れ」、「近畿」では「友人・知人」が最も多くなっている。

図 2-4-6 名古屋への旅行形態



g . 名古屋市以外の訪問地

観光等が目的で名古屋に訪れた方（291人）が、名古屋市以外にも訪問した割合は45.7%であった。訪問地としては、「伊勢・志摩方面」が最も多く、次いで、「明治村・犬山方面」、「下呂・高山方面」、「豊田・岡崎・足助方面」と続いている。

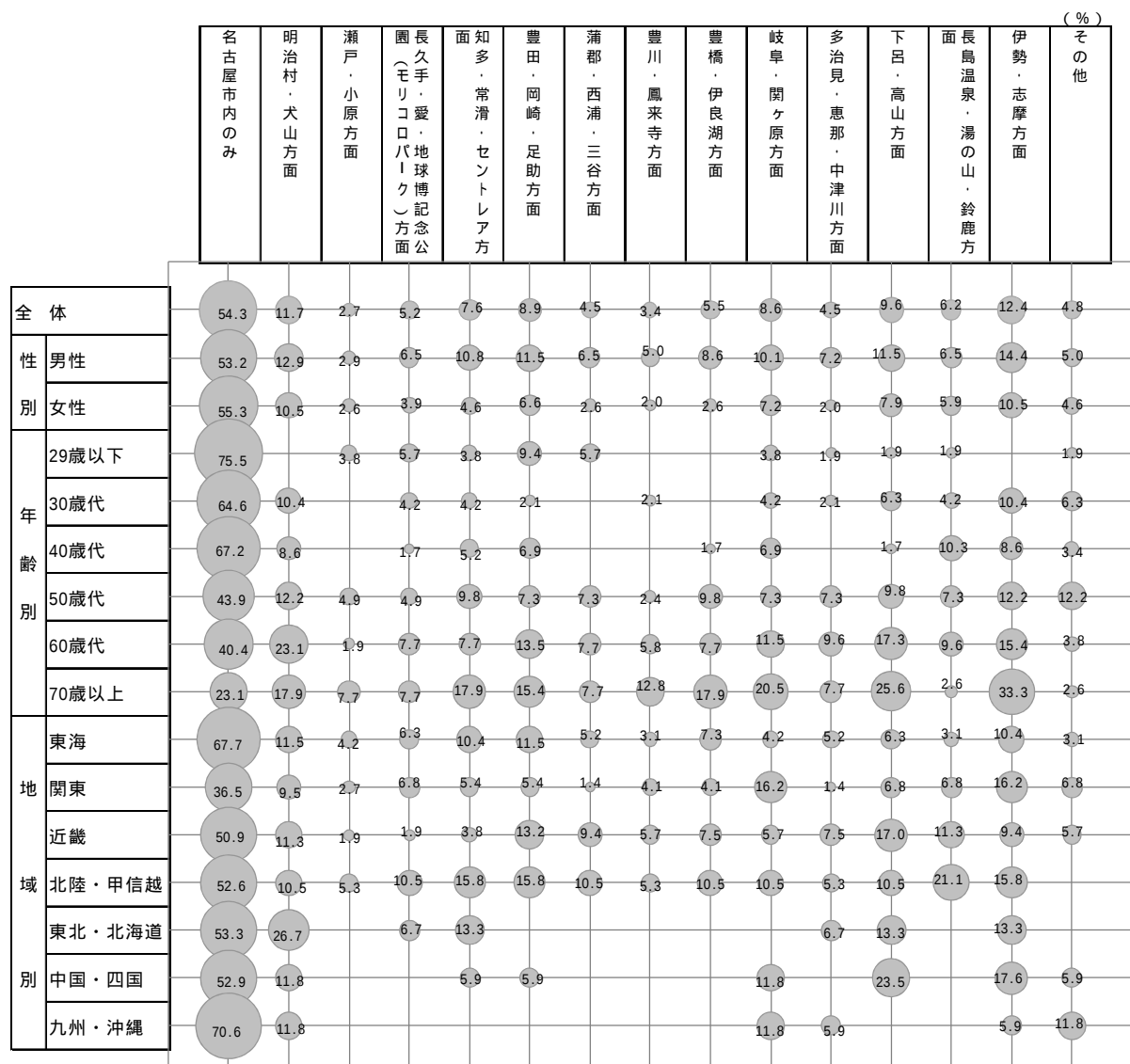
名古屋市以外にも訪問した割合は、男性女性共に5割ほどで高くなっている。

年齢別にみると、70歳以上では、名古屋市以外にも訪問した割合が7割以上を占めている。

一方、29歳以下では「名古屋市内のみ」が7割以上を占めている。

地域別にみると、「関東」からの訪問者では、名古屋市以外にも訪問した割合が6割以上であり、訪問地としては、「伊勢・志摩方面」と「岐阜・関ヶ原方面」が高くなっている。

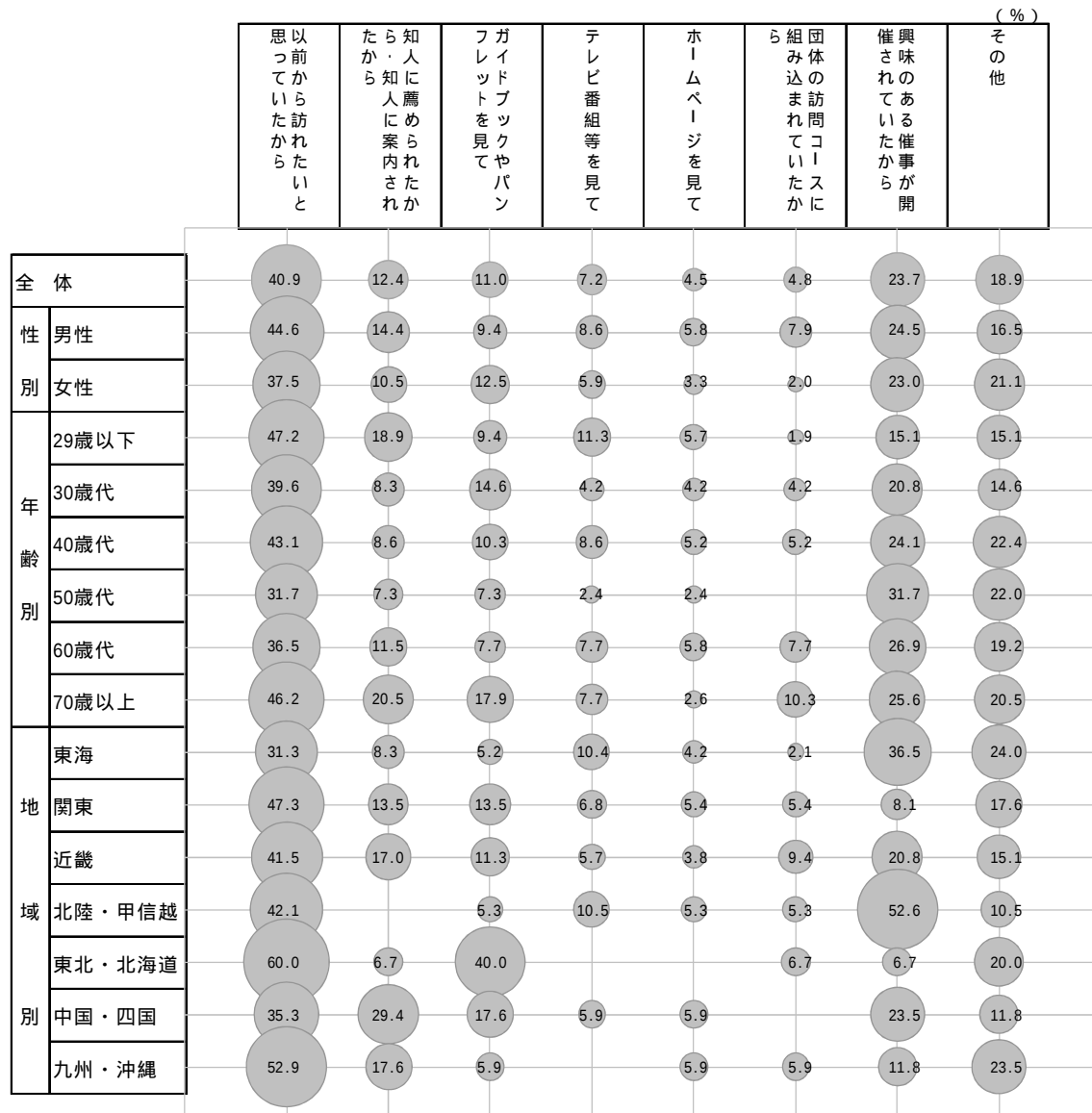
図 2-4-7 名古屋市以外の訪問地（複数回答）



h. 名古屋への訪問のきっかけ

観光等が目的で名古屋を訪れた方（291 人）のきっかけは、「以前から訪れたいと思っていたから」が 40.9%で最も多く、次いで「興味のある催事が開催されていたから」、「その他」、「知人に薦められたから・知人に案内されたから」となっている。

図 2-4-8 名古屋への訪問のきっかけ（複数回答）



名古屋の観光資源の認知度と訪問・体験状況

a. 名古屋の観光資源の認知度

名古屋の観光資源の中で知っているものとしては、「なごやめし」と「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」の割合が高く、以下、「熱田神宮」、「東山動植物園」と続いている。

地域別にみると、上位5項目は「東海」以外の地域で同じである。

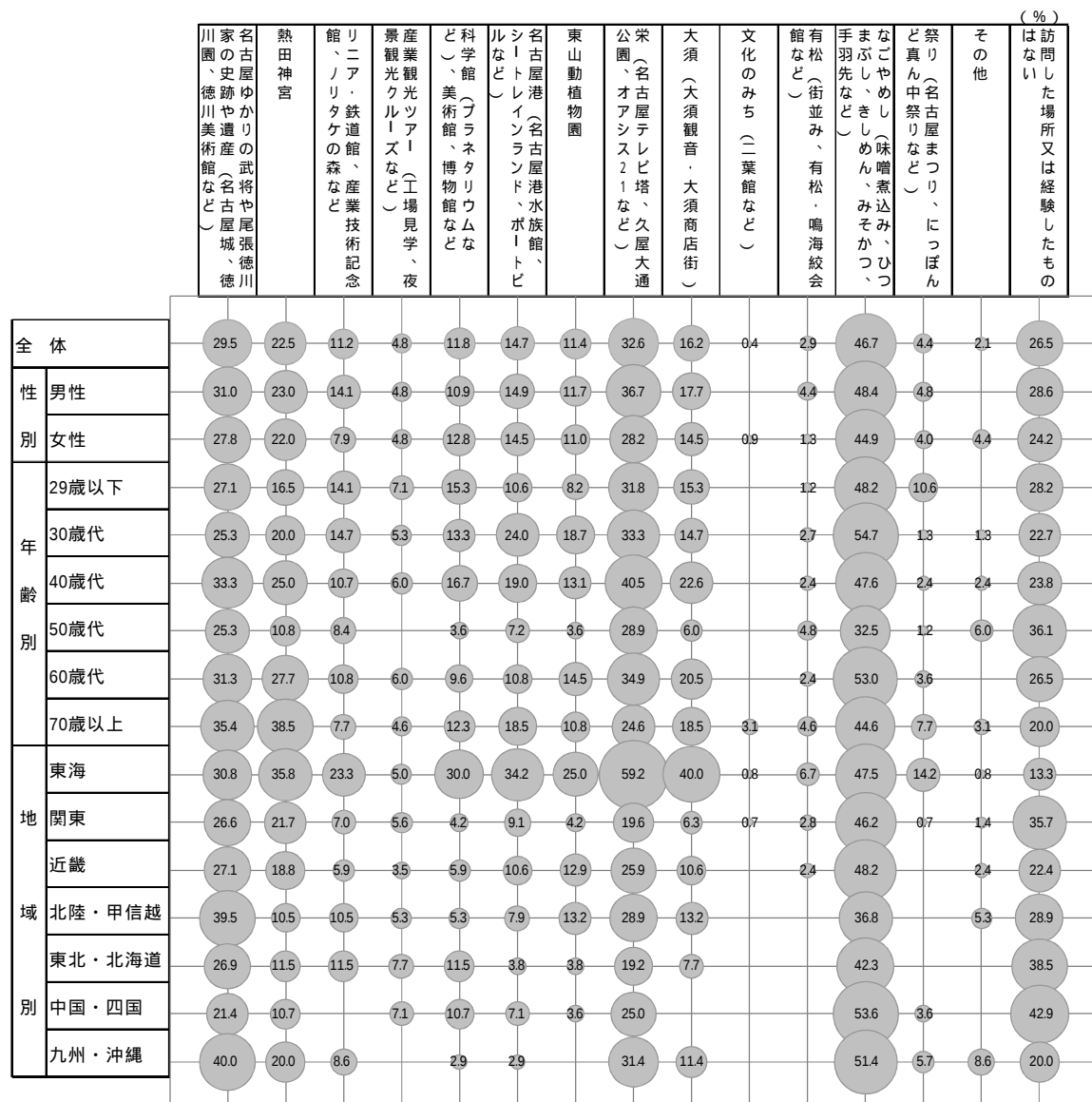
図 2-4-9 名古屋の観光資源の認知度（複数回答）

		(%)														
		川園、徳川美術館など	家の史跡や遺産（名古屋城、徳川家ゆかりの武将や尾張徳川	熱田神宮	リニア・鉄道館、産業技術記念館、ノリタケの森など	科学館（プラネタリウムなど）、美術館、博物館など	名古屋港（名古屋水族館、シーレイナランド、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松・鳴海校舎館など）	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など）	祭り（名古屋まつり、にっぽん中祭りなど）	その他	知っているものはない
全	体	58.5	52.1	23.2	17.1	27.6	41.2	39.3	19.3	1.7	7.0	70.6	11.9	0.9	10.1	
	男性	59.0	57.9	29.1	18.7	30.2	41.5	46.8	22.0	2.1	7.7	68.9	12.4	1.0	9.8	
別	女性	58.0	46.3	17.3	15.6	25.0	40.9	31.8	16.6	1.4	6.3	72.2	11.4	0.7	10.5	
年 齢 別	29歳以下	48.1	23.0	24.6	20.3	22.5	22.5	34.2	16.6	2.1	4.3	64.7	10.7	0.5	16.0	
	30歳代	49.8	33.8	26.4	15.9	27.4	30.8	37.8	19.9	0.5	4.5	73.1	11.4	1.0	13.4	
	40歳代	63.7	52.4	27.4	17.9	33.0	41.5	42.9	18.9	2.8	7.5	75.5	12.3	1.4	9.9	
	50歳代	54.0	55.7	22.7	15.9	28.4	38.6	38.6	15.9	0.6	7.4	68.8	11.9	0.6	9.7	
	60歳代	66.8	74.0	20.2	15.9	24.5	58.2	40.4	21.6	1.4	9.6	71.6	12.5	0.5	7.7	
	70歳以上	68.9	76.4	16.8	16.8	29.8	56.5	41.6	23.0	3.1	8.7	68.3	12.4	1.2	3.1	
地 域 別	東海	80.5	87.2	68.4	67.7	83.5	87.2	87.2	77.4	7.5	39.1	82.7	60.2	1.5	2.3	
	関東	54.9	53.6	16.4	9.0	18.7	33.5	35.6	11.1	1.3	4.2	72.6	5.5	0.8	8.4	
	近畿	54.5	52.4	23.0	13.4	29.4	41.2	38.0	16.0	0.5	2.7	71.7	2.7	0.5	10.7	
	北陸・甲信越	65.9	52.4	25.6	19.5	41.5	53.7	47.6	22.0	1.2	6.1	73.2	11.0	1.2	11.0	
	東北・北海道	56.6	34.9	10.9	7.8	11.6	20.2	18.6	5.4		0.8	61.2	4.7	0.8	15.5	
	中国・四国	58.5	39.6	18.9	10.4	12.3	31.1	33.0	10.4	0.9	0.9	69.8	8.5	0.9	10.4	
	九州・沖縄	49.6	38.8	11.6	7.8	13.2	38.0	23.3	7.8	1.6		58.9	4.7	0.8	16.3	

b. 名古屋の観光資源の訪問・体験状況

過去5年以内に名古屋に訪れた方(475人)が訪問した場所又は経験したものとしては、「なごやめし」が46.7%と最も高く、次いで「栄」(32.6%)、「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」(29.5%)が3割程度あり、「訪問した場所又は経験したものはなし」の割合は26.5%である。

図 2-4-10 名古屋の観光資源の訪問・体験状況（複数回答）

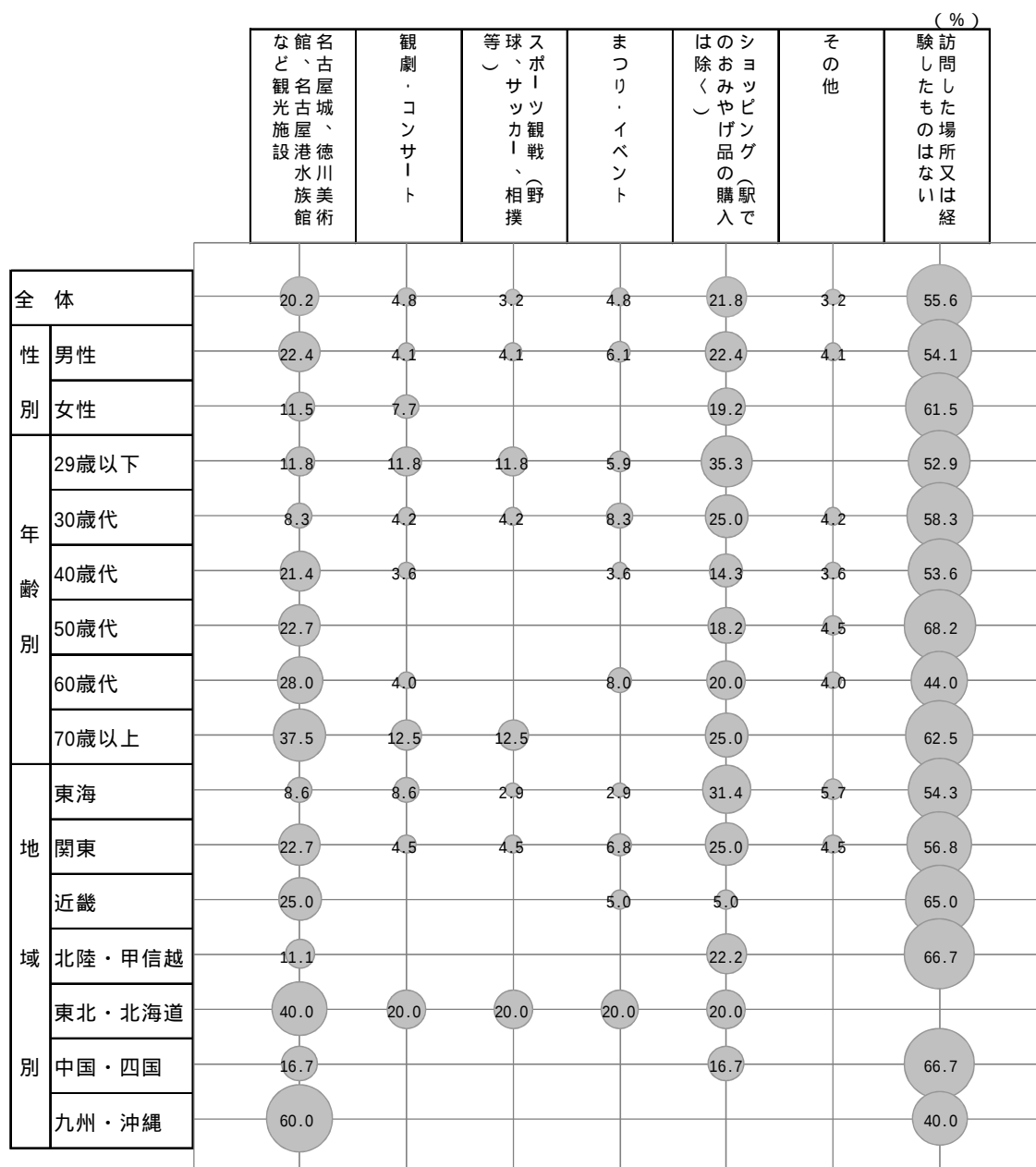


c . 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況

過去5年間以内に仕事目的で名古屋に訪れた方（124人）の直近の訪問で、そのときあわせて訪問した場所又は経験したものがあある割合は44.4%となっている。訪問した場所又は経験したものとしては、「ショッピング（駅でのおみやげ品の購入は除く）」が21.8%、「観光施設」が20.2%となっている。

訪問した場所又は経験したものがあある割合は、男性の方が45.9%と高い。

図 2-4-11 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況（複数回答）



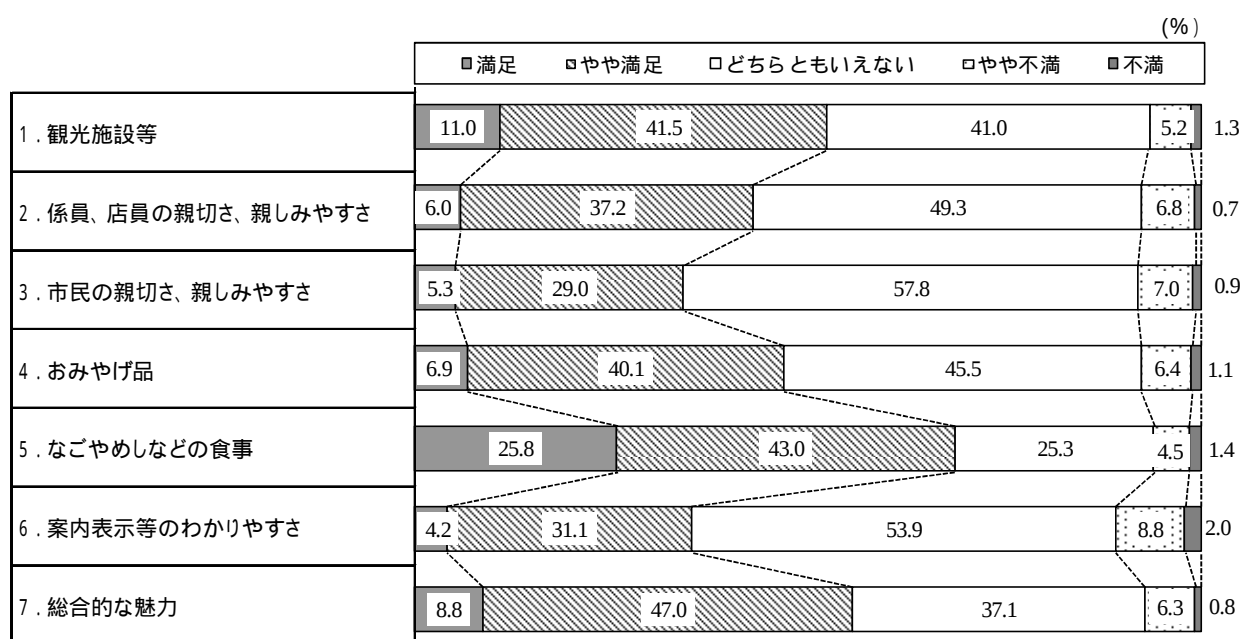
(3) 名古屋に対する評価

名古屋訪問時の印象

過去5年以内に名古屋を訪れた方(475人)では、「なごやめしなどの食事」については、「満足」と「やや満足」を合わせて68.8%と7割程が満足と感じており、下記の7項目のうち最も評価が高い。満足と感じる割合が、次いで高いのは、「総合的な魅力」と「観光施設等」で5割以上である。「おみやげ品」では5割弱が満足と感じている。「市民の親切さ、親しみやすさ」、「係員、店員の親切さ、親しみやすさ」については、満足と感じている割合は3~4割程で「どちらともいえない」が約半数を占めている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満と感じる割合は、「案内表示等のわかりやすさ」については1割程度みられるものの、そのほかの項目については5~8%となっている。

図 2-4-12 名古屋訪問時の印象



a. 観光施設等の評価

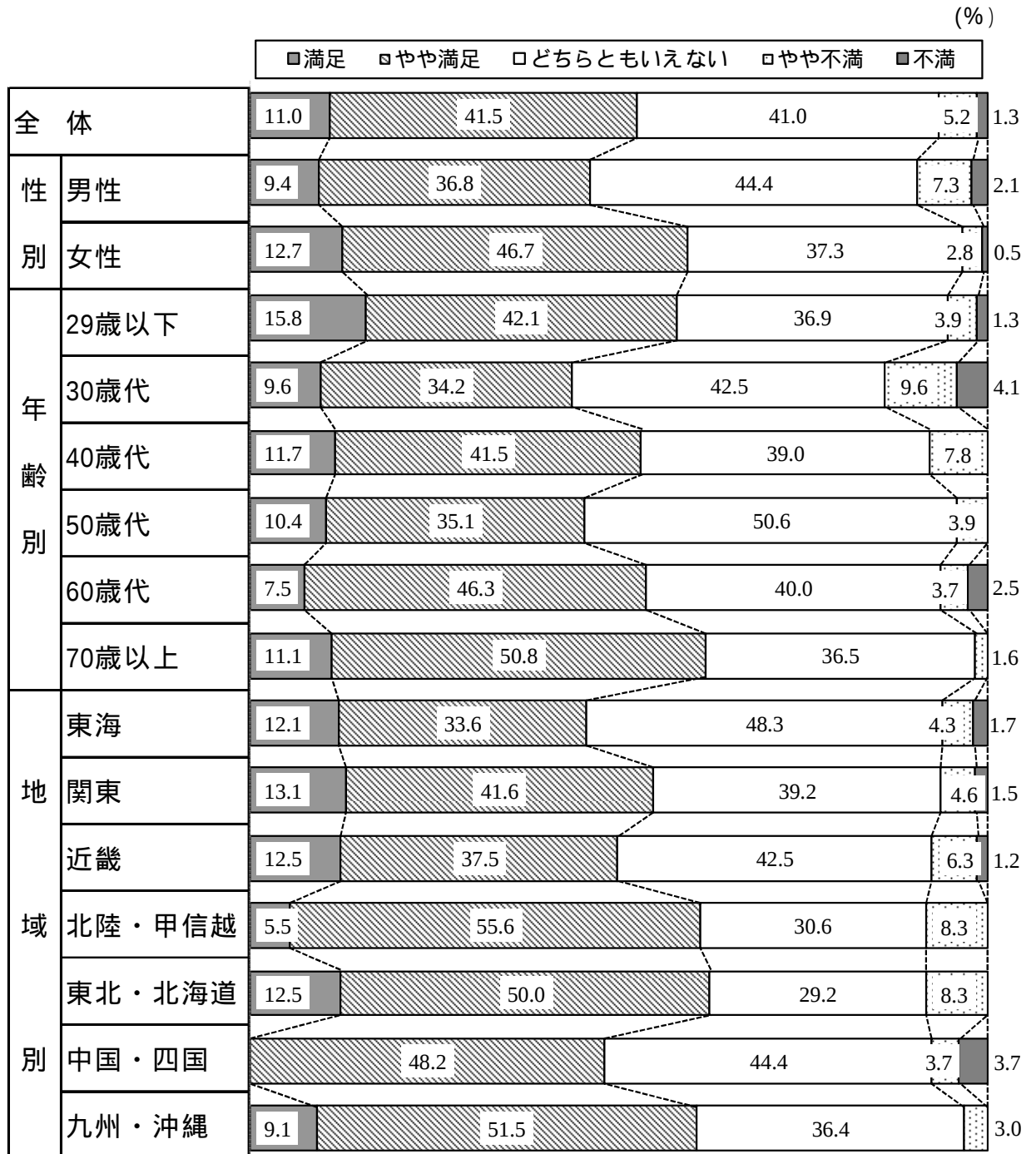
観光施設等については、「満足」と「やや満足」を合わせて52.5%と5割程度が満足と感じており、「やや不満」と「不満」を合わせ6.5%が不満と感じている。

性別にみると、満足と感じる割合は女性59.4%、男性46.2%と、女性の満足度の方が高い。

年齢別にみると、50歳代では「どちらともいえない」が半数程度みられる。一方、29歳以下と70歳以上で6割程度が満足と感じている。

地域別にみると、満足と感じる割合は、ほとんどの階層で過半数を占めている。

図 2-4-13 観光施設等の評価



b. 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価

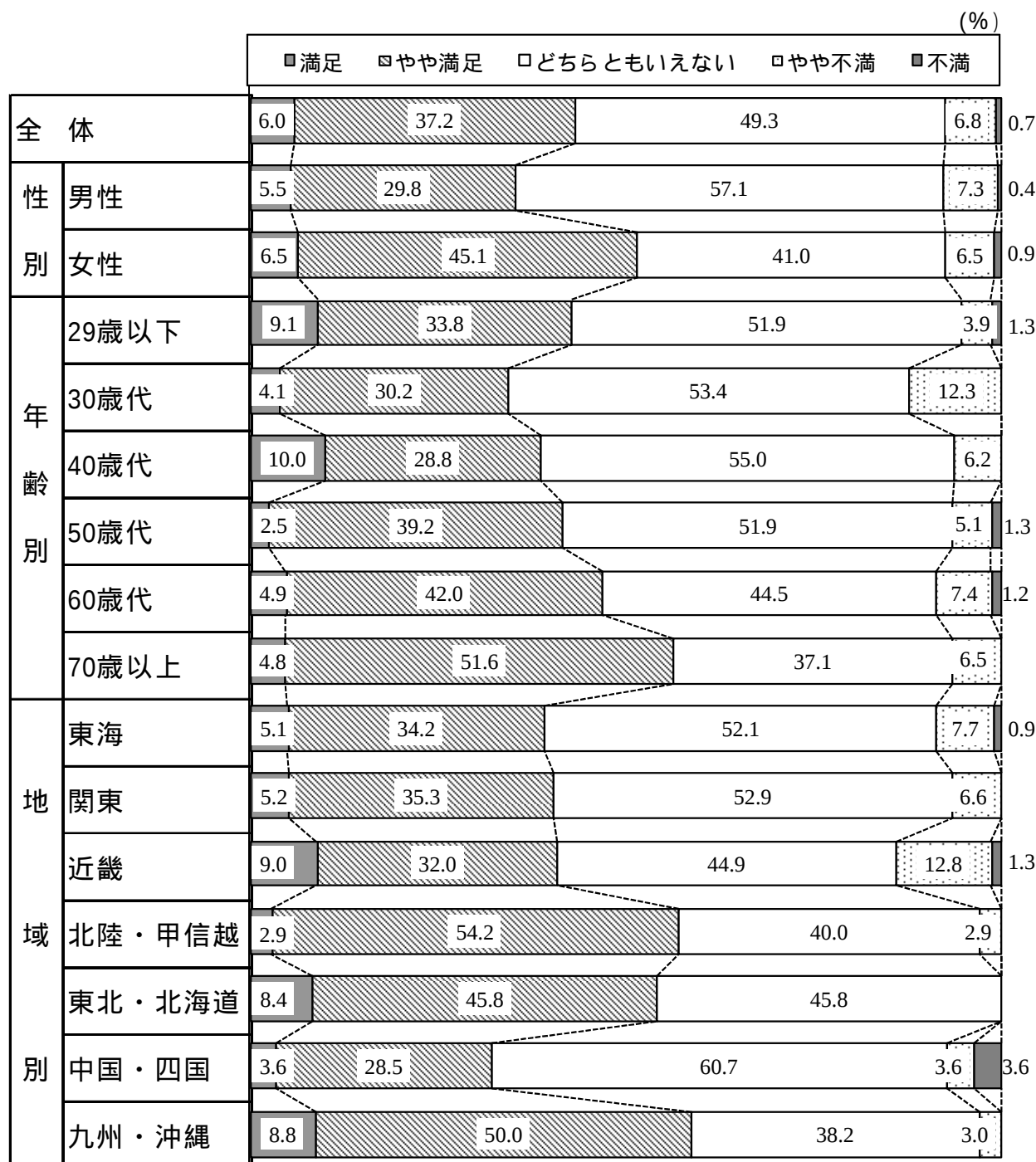
係員、店員の親切さ、親しみやすさについては、「満足」と「やや満足」を合わせ 43.2%が満足と感じており、「やや不満」と「不満」を合わせ 7.5%が不満と感じている。

性別にみると、満足と感じる割合は女性が過半数を占めている。

年齢別にみると、30 歳代以上では年齢が上がるほど満足と感じる割合は高くなっている。

地域別にみると、満足と感じる割合は「北陸・甲信越」と「九州・沖縄」で高い。

図 2-4-14 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価



c. 市民の親切さ、親しみやすさの評価

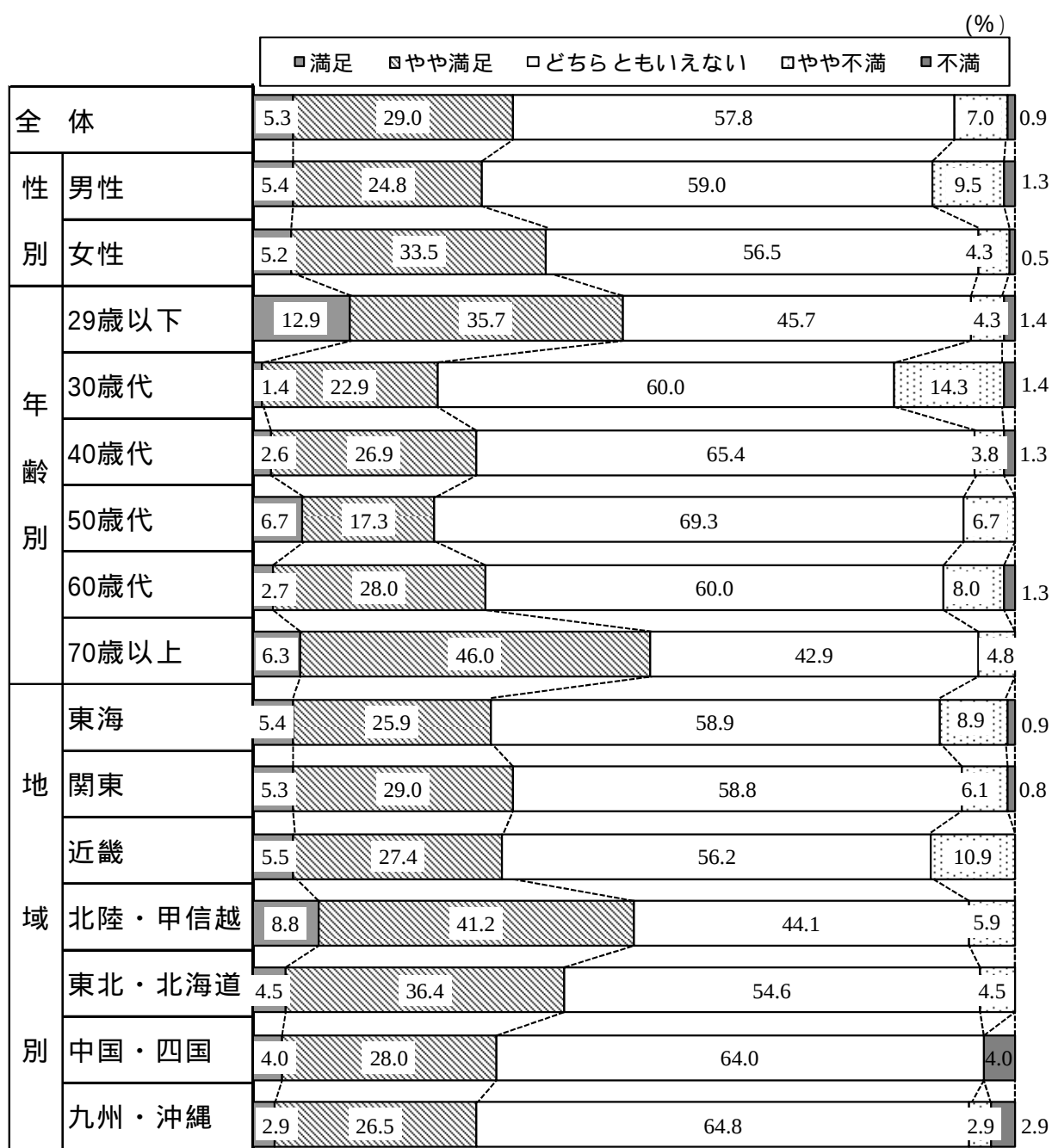
市民の親切さ、親しみやすさについては、「満足」と「やや満足」を合わせ 34.3%が満足と感じている。「どちらともいえない」が過半数を占めており、「やや不満」と「不満」を合わせ 7.9%が不満と感じている。

性別にみると、満足と感じる割合は女性の方が高く、男性では6割程度が「どちらともいえない」と回答している。

年齢別にみると、満足と感じる割合は30歳代から60歳代で3割程度と低い。また、30代では不満と感じる割合が15.7%と多い。

地域別にみると、「九州・沖縄」では満足と感じる割合が3割未満と低い。

図 2-4-15 市民の親切さ、親しみやすさの評価



d. おみやげ品の評価

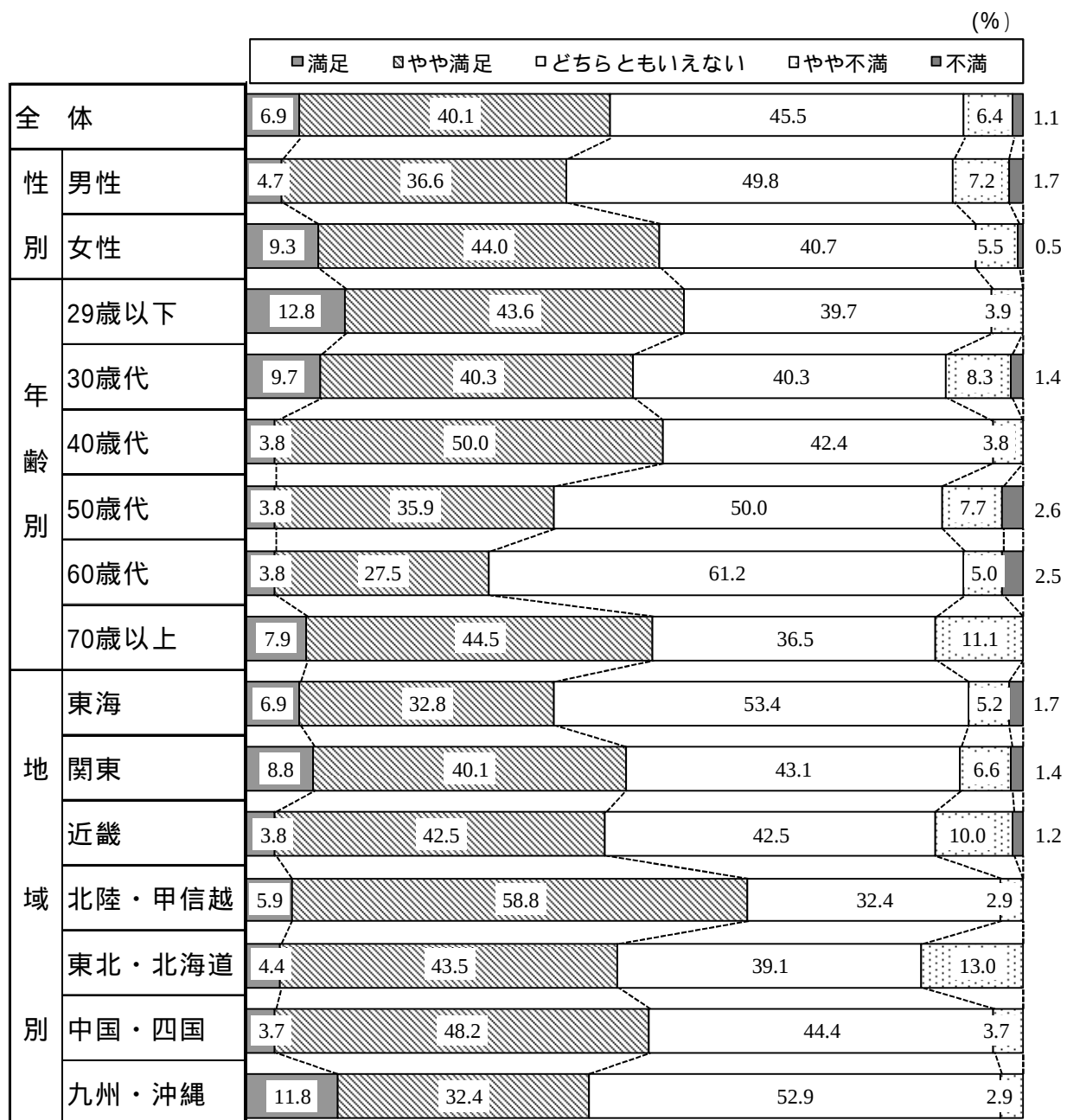
おみやげ品については、「満足」と「やや満足」を合わせ 47.0%と半数近くが満足と感じており、「やや不満」と「不満」を合わせた 7.5%が不満と感じている。

年齢別にみると、満足と感じる割合は 60 代で 3 割と低い。

性別にみると、満足と感じる割合は女性が 53.3%と高い。

地域別にみると、満足と感じる割合は、「北陸・甲信越」で高い。一方、不満と感じる割合は、「東北・北海道」で 13%みられる。

図 2-4-16 おみやげ品の評価

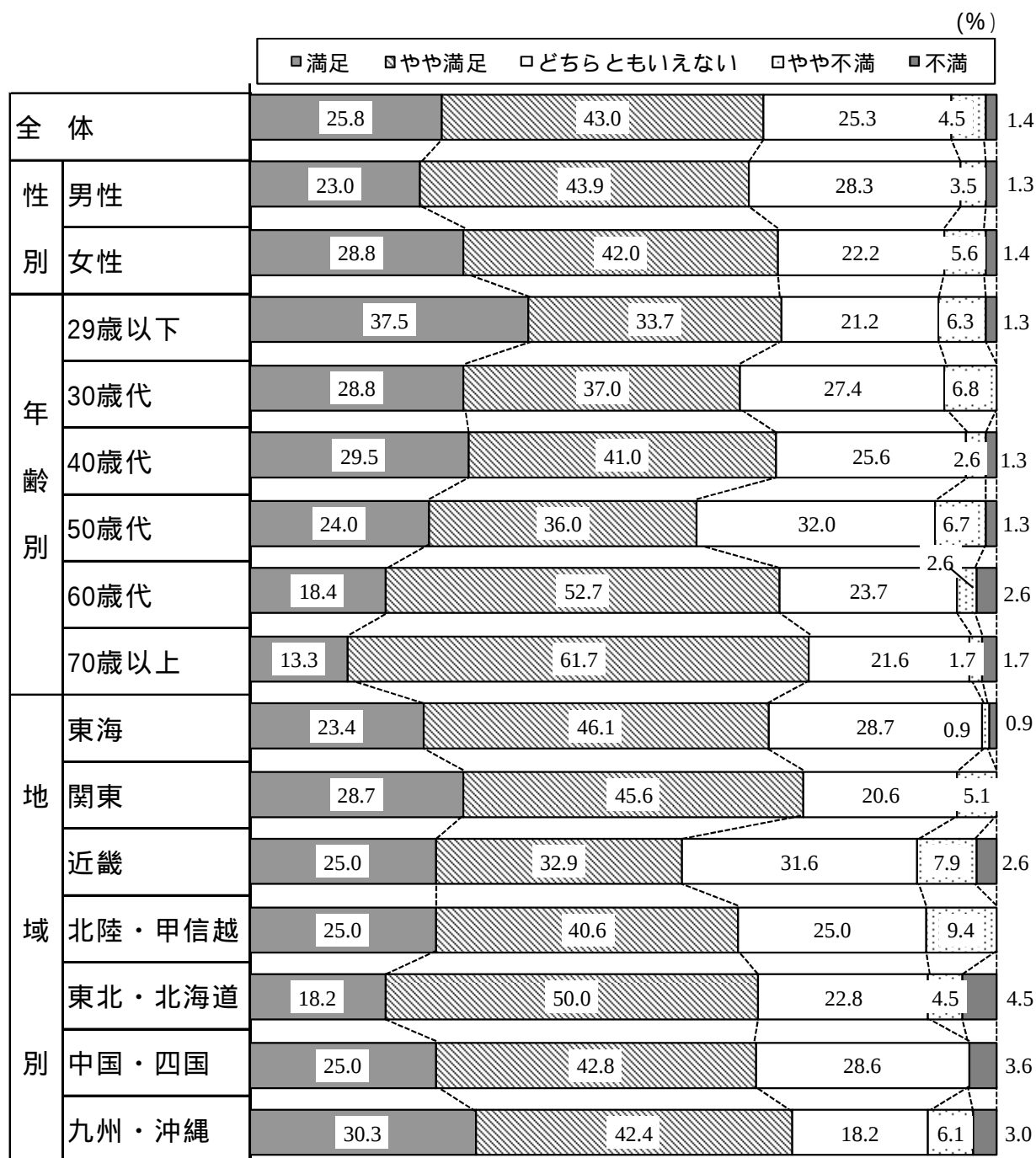


e. なごやめしなどの食事の評価

なごやめしなどの食事については、「満足」と「やや満足」を合わせ 68.8%と 7 割程が満足と感じている。一方、「やや不満」と「不満」を合わせ 5.9%が不満と感じている。

属性別にみても、総じて満足度は高い。

図 2-4-17 なごやめしなどの食事の評価



f. 案内表示等のわかりやすさの評価

案内表示等のわかりやすさについては、「満足」と「やや満足」を合わせ 35.3%が満足と感じている。「やや不満」と「不満」を合わせ 10.8%が不満と感じている。

図 2-4-18 案内表示等のわかりやすさの評価



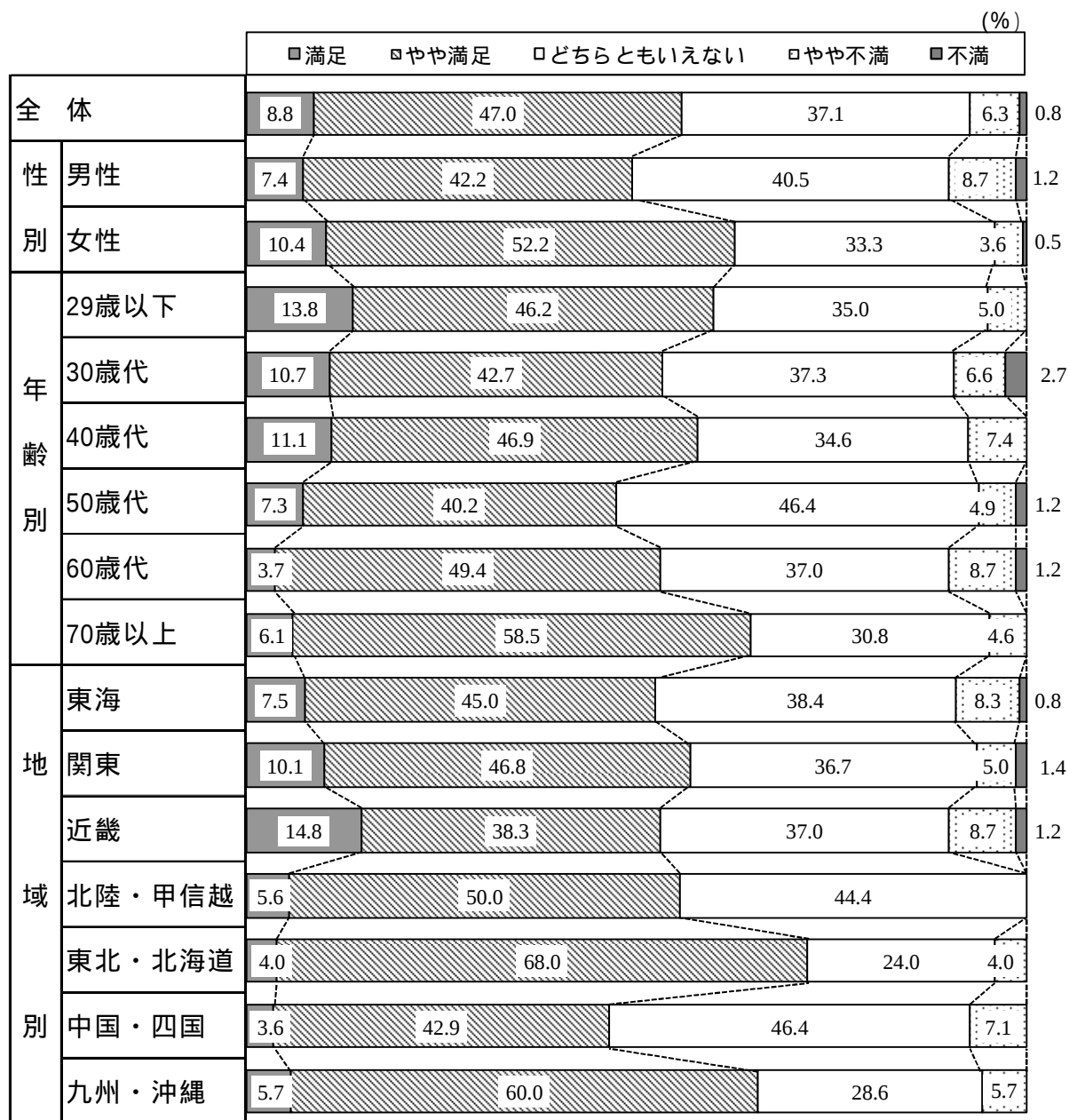
g．総合的な魅力

総合的な魅力としては、「満足」と「やや満足」を合わせ 55.8%と満足と感じた割合は過半数を占めており、「やや不満」と「不満」を合わせた不満と感じる割合は 7.1%となっている。

性別にみると、満足と感じる割合は女性が 62.6%と高い。

地域別にみると、「中国・四国」以外の地域では満足と感じる割合が半数以上を占めており、特に「東北・北海道」では 7 割が満足と感じている。

図 2-4-19 総合的な魅力



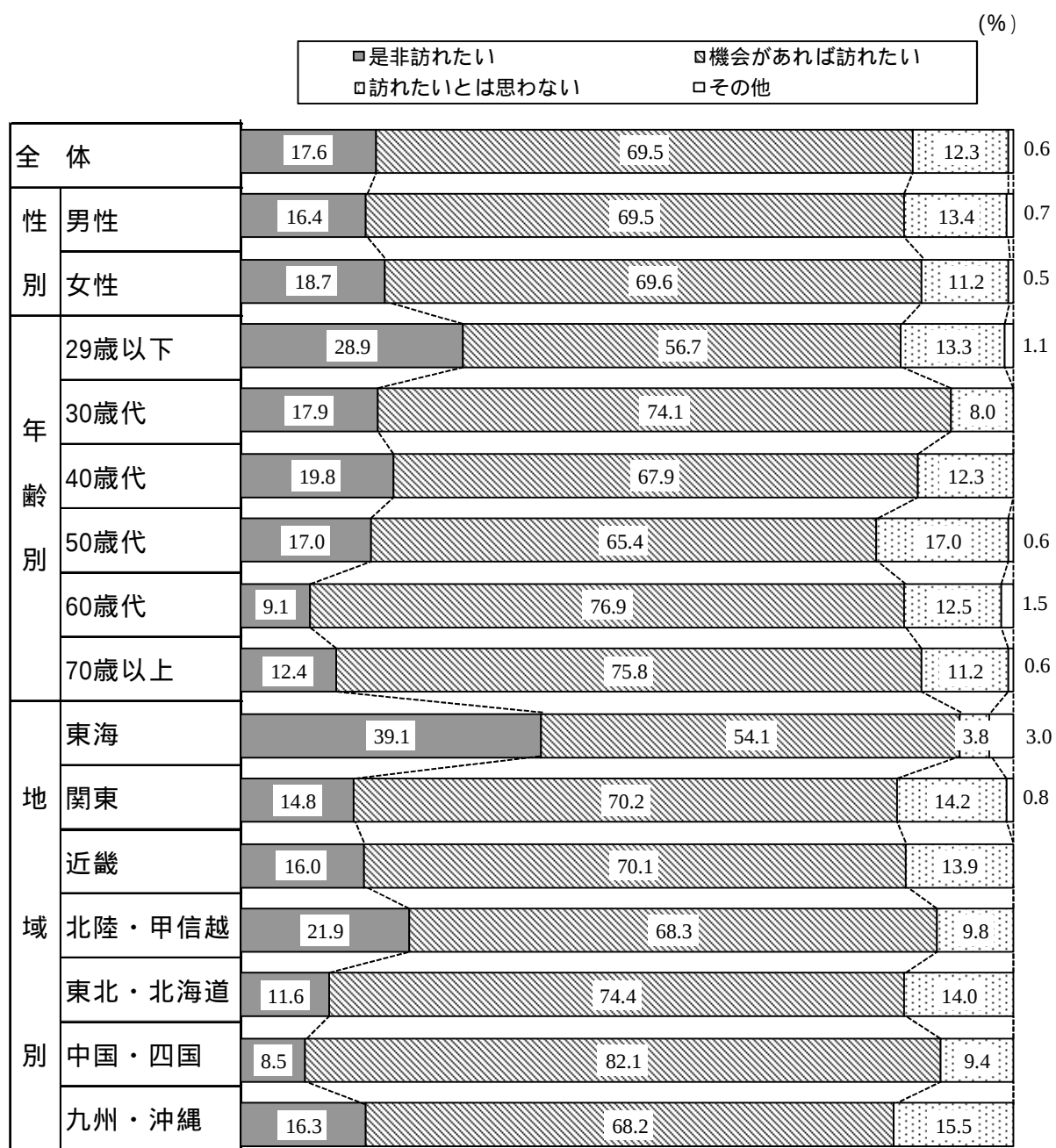
名古屋への今後の訪問について

a. 名古屋への訪問意向

今後、名古屋への訪問意向としては、「是非訪れたい」が 17.6%で、「機会があれば訪れたい」が 69.5%で、合わせて 87.1%と約 9 割が訪れたいと考えている。

全ての階層で 8 割以上が訪問意向を持っている。

図 2-4-20 名古屋への訪問意向

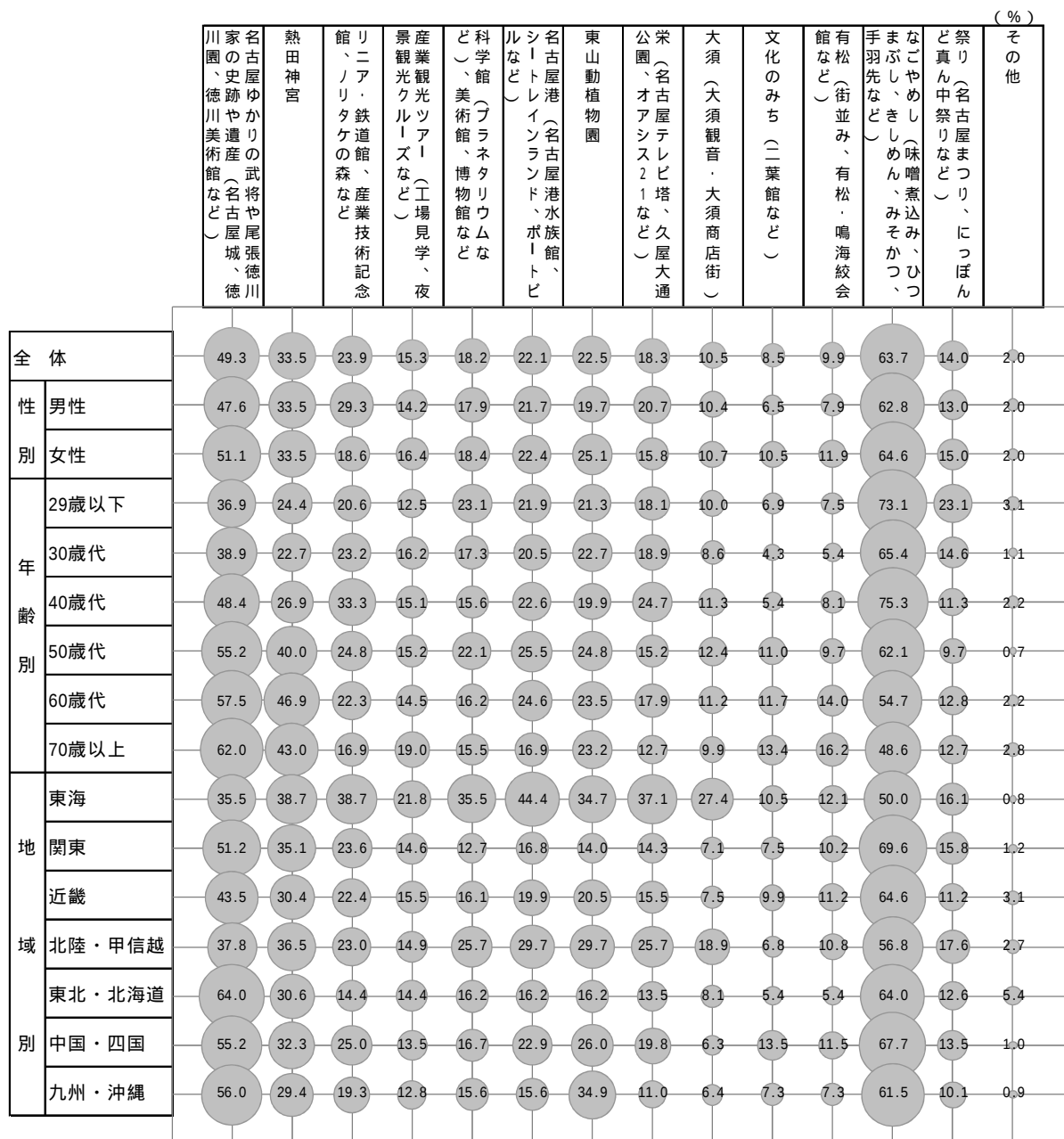


b. 訪れたい名古屋の観光資源

今後、名古屋へ訪れたいと思う方(997人)が訪問したい場所又は経験したいものとしては、「なごやめし」と「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」が多い。

ほぼ全ての階層で「なごやめし」が最も高くなっている。

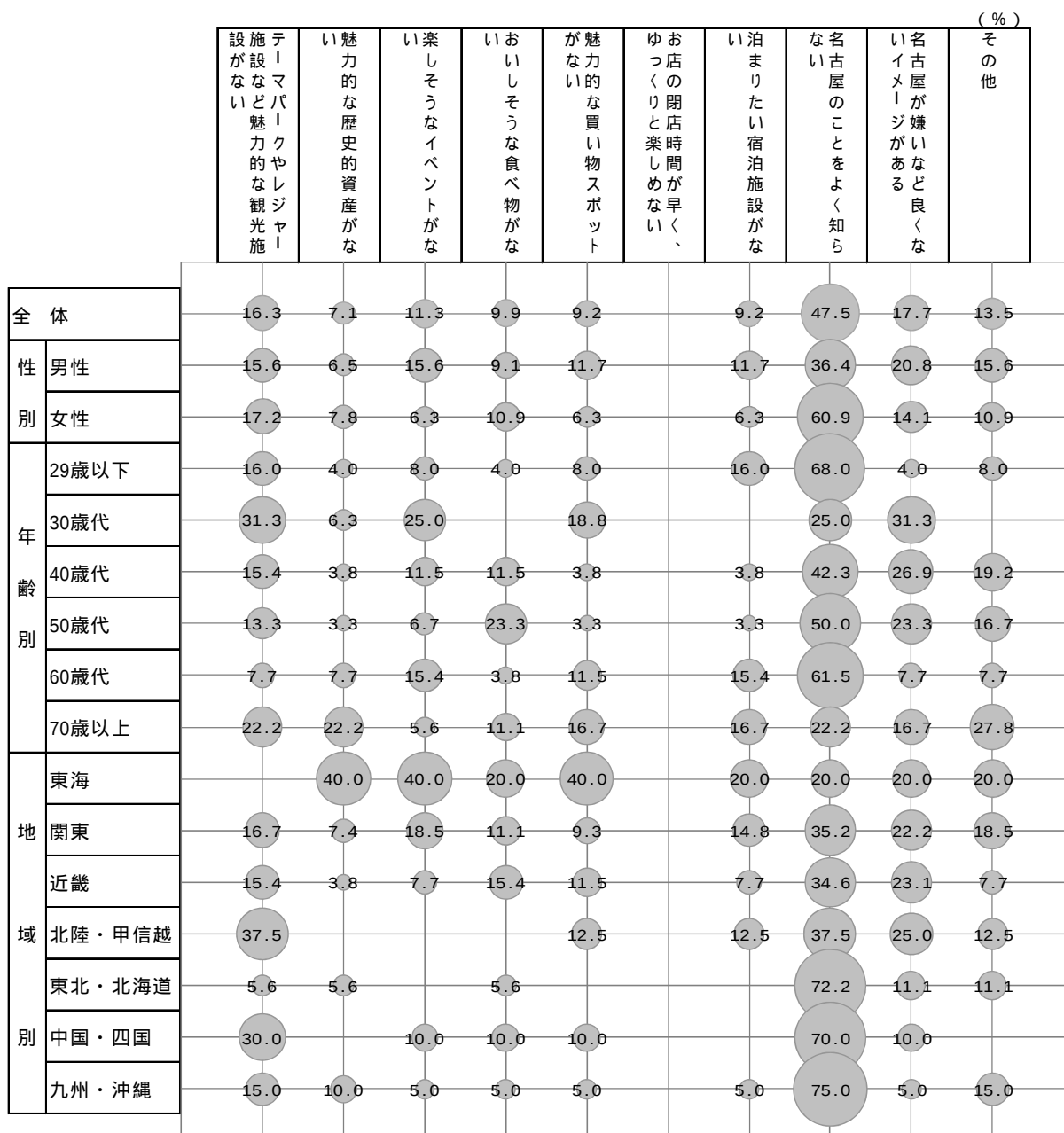
図 2-4-21 訪れたい名古屋の観光資源（複数回答）



c . 訪れたいと思わない理由

名古屋を訪れたいと思わない方（141人）の理由としては、「名古屋のことをよく知らない」を47.5%が挙げている。そのほかの理由をみると、「テーマパークやレジャー施設など魅力的な観光施設がない」や「楽しそうなイベントがない」など訪問意向を起こさせる観光資源がないことを挙げている。「名古屋が嫌いなど良くないイメージがある」は17.7%となっている。名古屋の観光資源の周知の徹底が名古屋への訪問意向を高めることにつながるといえる。

図 2-4-22 訪れたいと思わない理由（3つまで回答）

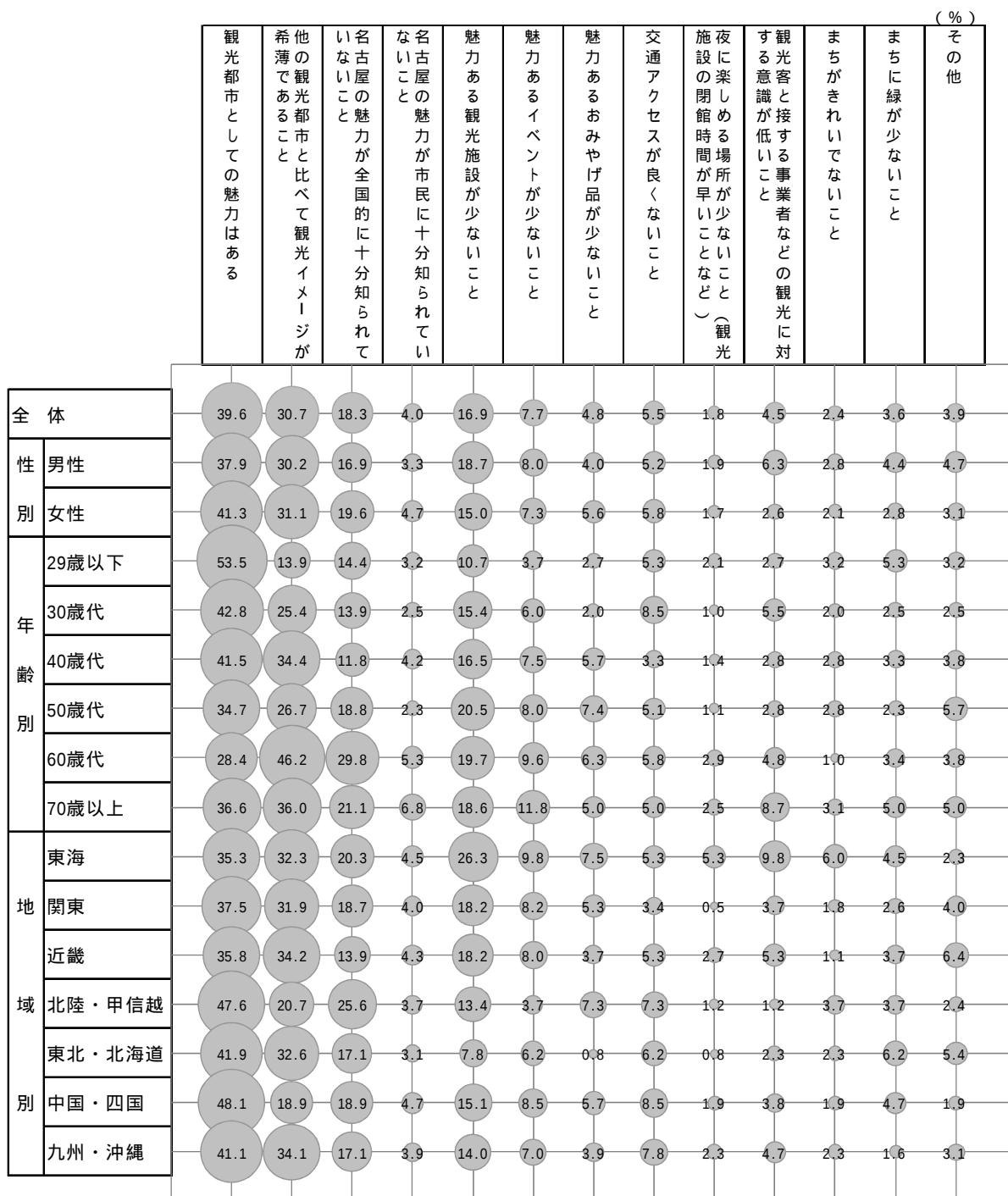


d．名古屋の観光地としての魅力について

名古屋の観光地として「観光都市としての魅力はある」の割合は 39.6%である。一方、魅力を感じない方の理由としては、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が 30.7%と最も多く、次いで「名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと」が 18.3%、「魅力ある観光施設が少ないこと」が 16.9%となっている。

「魅力はある」の割合は、年代が若いほど高く 40 歳代以下では 4 割以上を占めている。一方、「観光イメージが希薄であること」は 60 歳代以上で高くなっている。

図 2-4-23 名古屋の観光地としての魅力（3 つまで回答）



(4) 観光振興について

「名古屋おもてなし武将隊」について

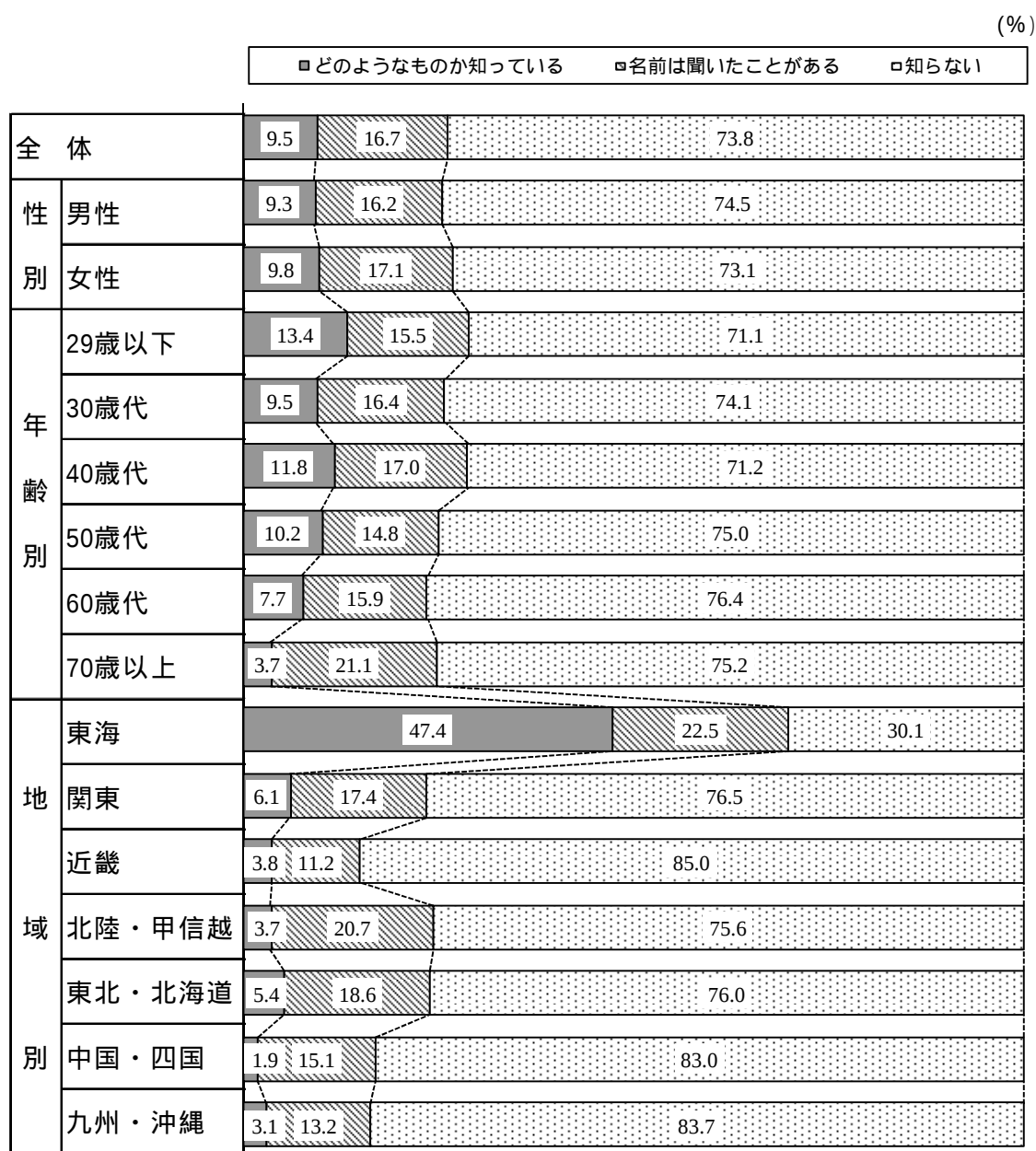
a. 「名古屋おもてなし武将隊」の認知度

平成 21 年 11 月に結成した「名古屋おもてなし武将隊」の認知状況としては、「どのようなものか知っている」は 9.5%であり、「名前は聞いたことがある」と、合わせて認知度は 26.2%となっている。

性別、年齢別にみると、29 歳以下で認知度が 28.9%、40 歳代で 28.8%と相対的にやや高いものの、特に大きな差異はみられない。

地域別にみると、認知度は「東海」では 69.9%と高いものの、そのほかの地域ではまだ低く、特に「近畿」、「九州・沖縄」、「中国・四国」では 1 割台となっている。

図 2-4-24 「名古屋おもてなし武将隊」の認知度

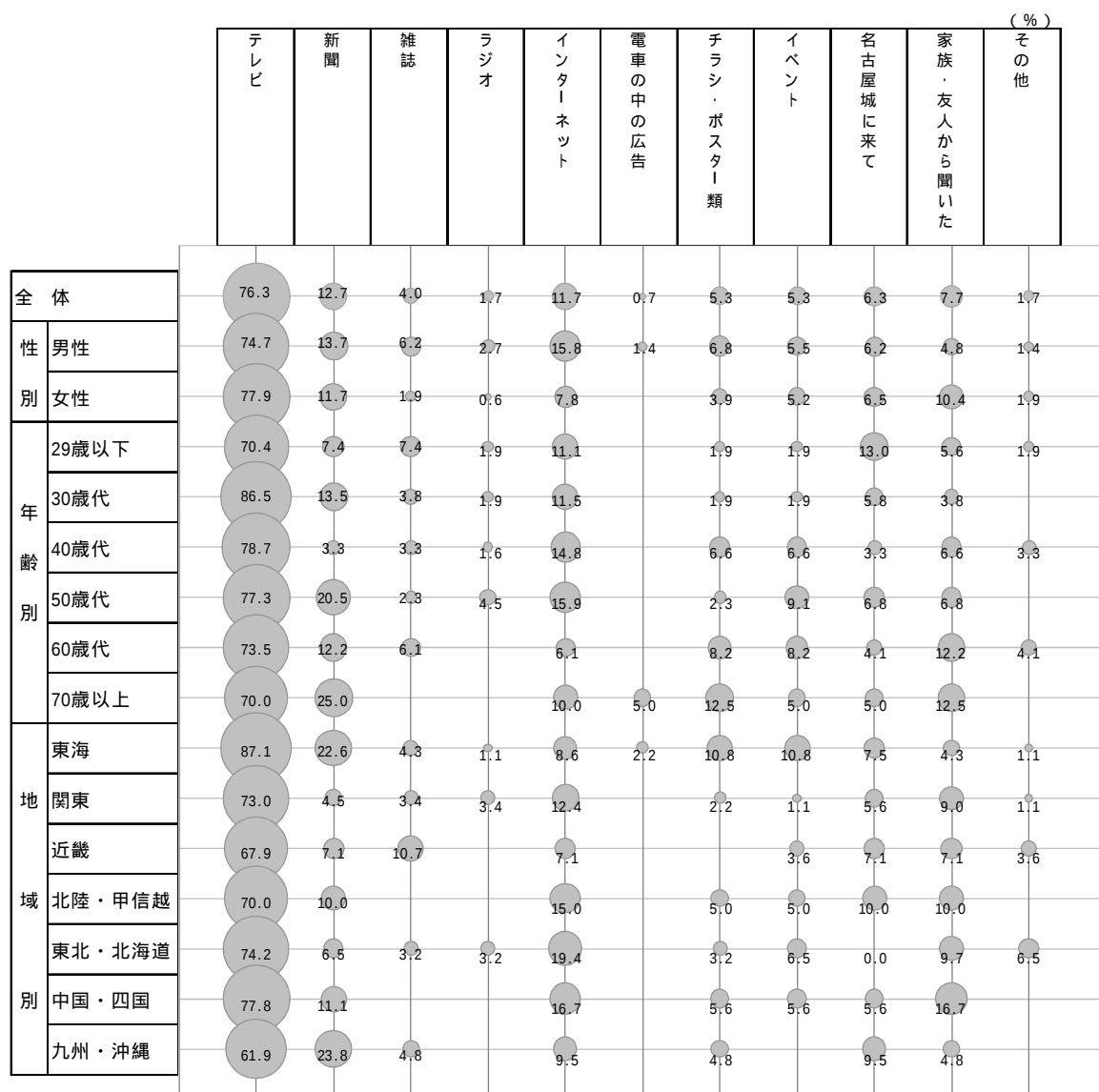


b.「名古屋おもてなし武将隊」の認知経路

「名古屋おもてなし武将隊」を知っていた方（300人）が知ったきっかけとしては、「テレビ」が76.3%と圧倒的に高い。そのほかでは「新聞」が12.7%と「インターネット」が11.7%で、それ以外は数%である。

全ての階層で「テレビ」は圧倒的に高い。

図 2-4-25 「名古屋おもてなし武将隊」の認知経路

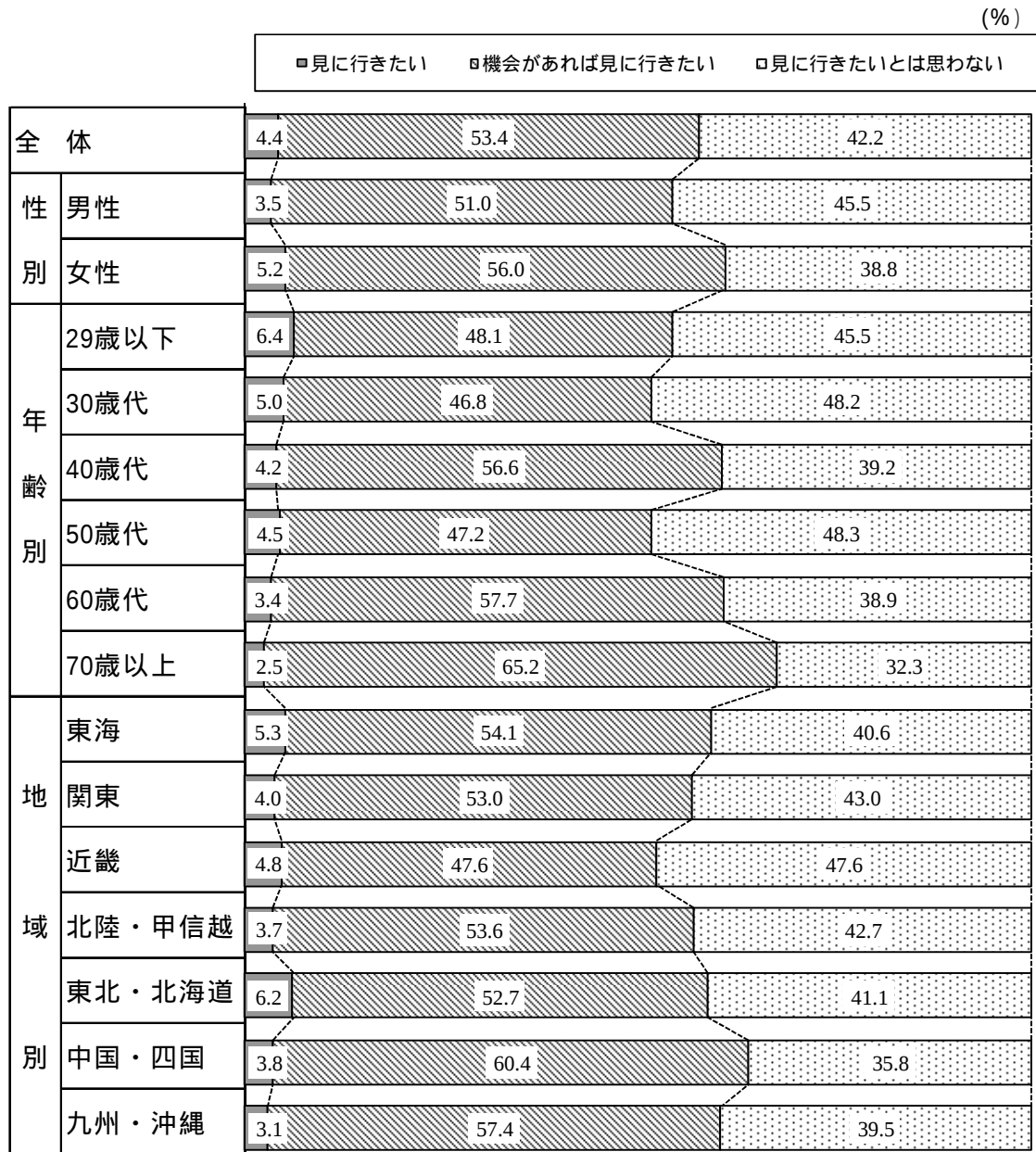


c.「名古屋おもてなし武将隊」観覧意向

「名古屋おもてなし武将隊」を名古屋に「見に行きたい」割合は 4.4%と少ないものの、「機会があれば見に行きたい」は 53.4%と過半数を占め、合わせて 57.8%と 6 割近くが観覧意向を持っている。

性別・年齢別・地域別にみても大きな差異はみられない。

図 2-4-26 「名古屋おもてなし武将隊」観覧に名古屋への訪問意向



なごや観光ルートバスの認知度・利用意向

主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を「利用したことがある」割合は1.0%と僅かである。「知っていて、利用したい」と「知ってはいたが、利用したいとは思わない」を合わせた認知度は7.5%と低い。しかし、「知っていて、利用したい」と「知らなかったが、利用したい」を合わせた利用意向は50.5%と5割程度を占めている。

認知度としては、「東海」でも24.1%と認知度は低い。

図 2-4-27 なごや観光ルートバスの認知度・利用意向



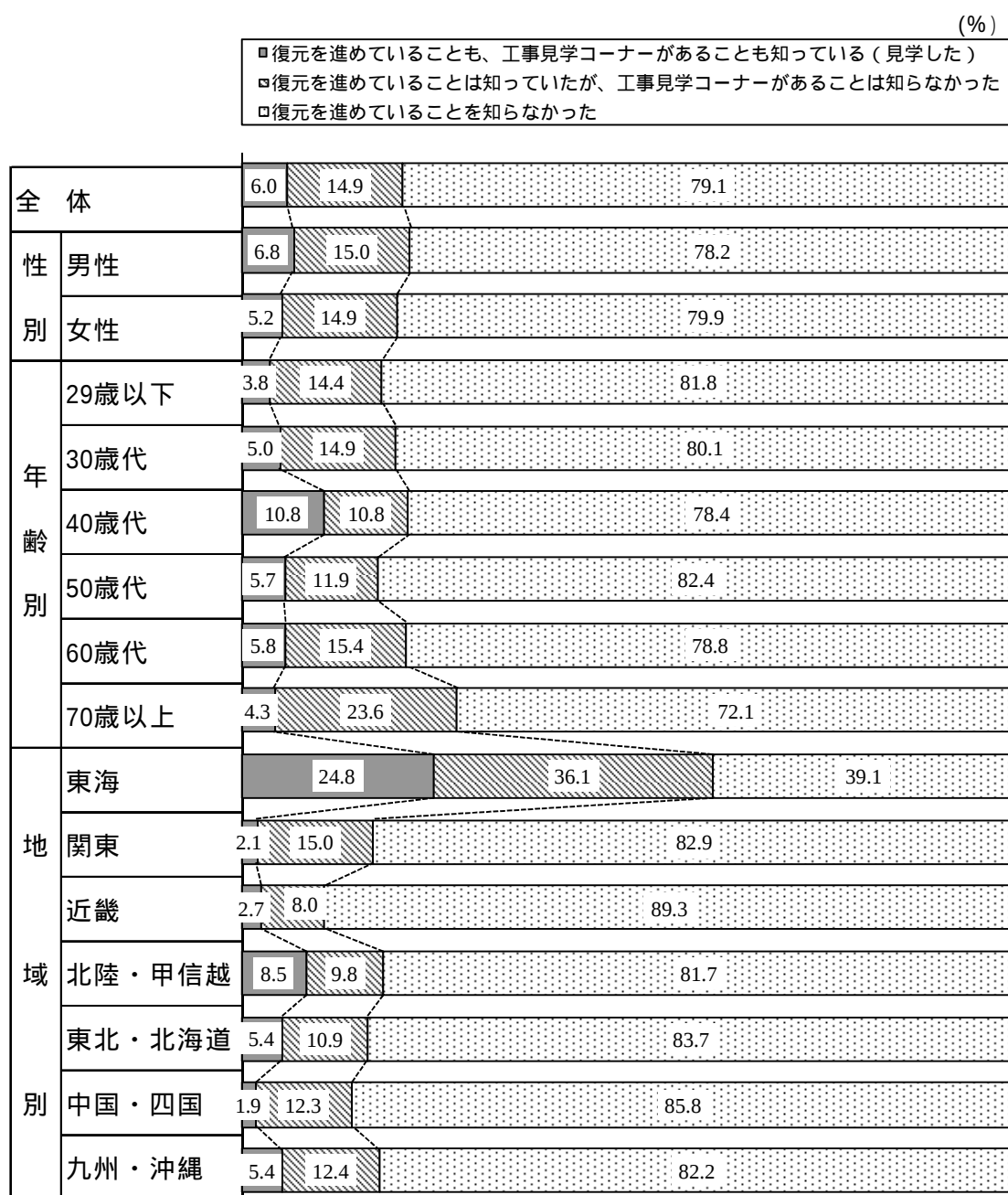
名古屋城「本丸御殿」の復元

a. 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度

名古屋城「本丸御殿」の復元の取組みについて、「復元を進めていることも、工事見学コーナーがあることも知っている」、「復元を進めていることは知っていたが、工事見学コーナーがあることは知らなかった」を合わせて 20.9% が「本丸御殿」の復元を知っている。

地域別にみると、「東海」では「復元も、工事見学コーナーも知っている」が 24.8% で、「復元は知っていたが、工事見学コーナーは知らなかった」と合わせ「本丸御殿」の復元を知っている割合は 60.9% と 6 割を超えている。

図 2-4-28 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度



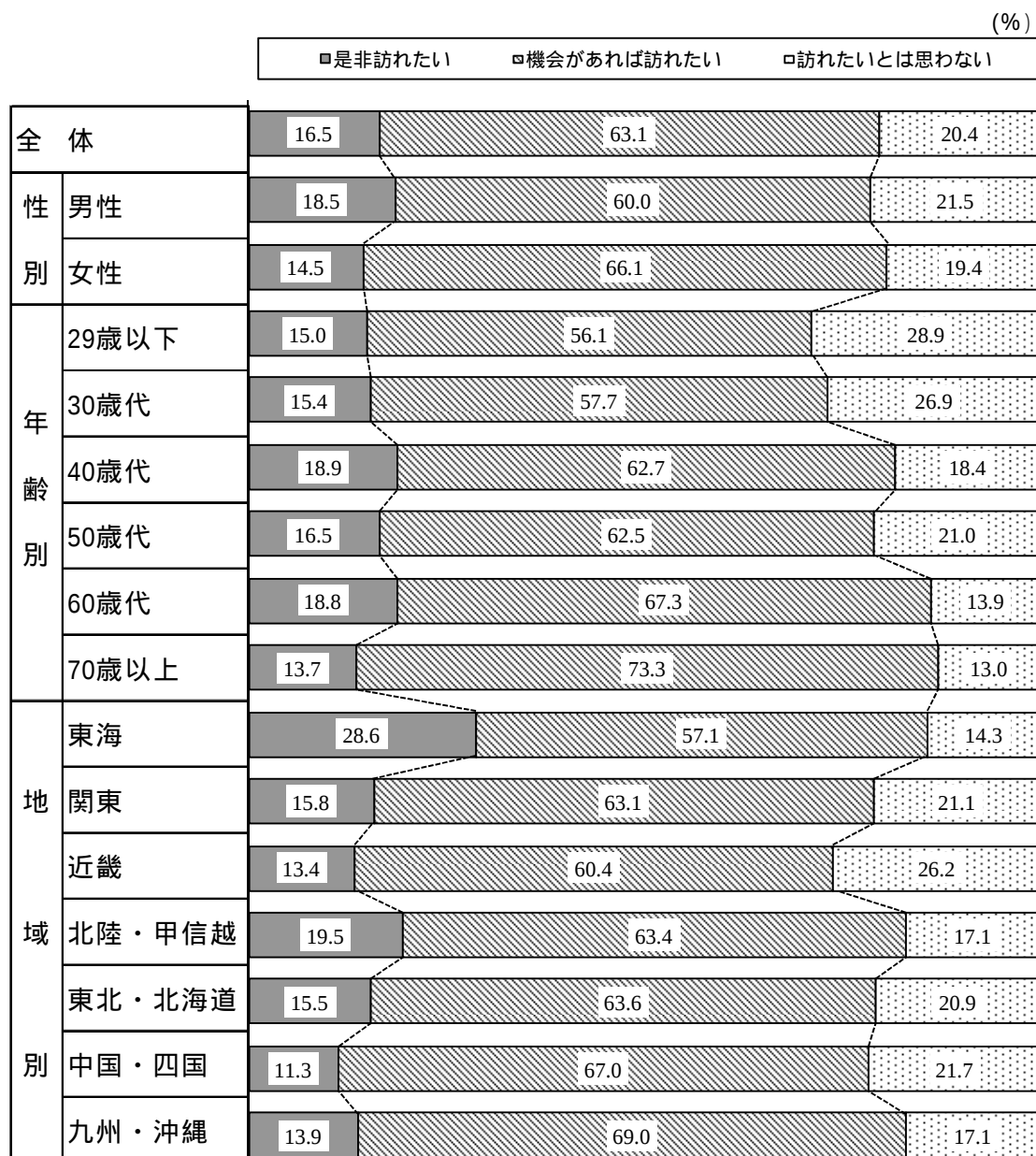
b. 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向

名古屋城「本丸御殿」が復元された場合、「是非訪れたい」、「機会があれば訪れたい」を合わせて 79.6%が訪問意向を持っている。前述の名古屋への訪問意向（P82 図 2-4-20）で訪問意向が無かった方（141 人）のうち、1 名が「是非訪れたい」、38 名が「機会があれば訪れたい」としており、この取組みが名古屋の観光振興に大きく貢献することを示唆している。

性別、年齢別にみても、大きな差異はみられない。

地域別にみると、訪問意向の割合に大きな差はみられない。

図 2-4-29 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向



3. 資料編

(1) 主要観光施設への入込動向

名古屋市内主要観光施設への観光入込客数の推移

平成 25 年度における名古屋市内主要観光施設（30 施設）への入込客数は合計で約 2,283 万人であり、平成 24 年度と比較すると、入込客数は約 42 万人（1.9%）増加している。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が約 685 万人と最も多く、次いで東山動植物園（約 223 万人）、名古屋港水族館（約 204 万人）、名古屋城（約 166 万人）、名古屋市科学館（約 144 万人）、農業文化園・戸田川緑地（約 119 万人）となっている。

施設別に昨年度の入込客数と比較すると、名古屋城本丸御殿第一期公開を開始した名古屋城、新アジアゾウ舎をオープンした東山動植物園、特別展が好評であった名古屋市科学館などの施設で入込客数の増加を示している。

一方、昨年度の特別企画展が好評であった名古屋ボストン美術館は、反動で入込客数が減少している。

名古屋市内主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数を表 3-1-2 に示す。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1 月」の入込客が圧倒的に多く、熱田まつりが開催される 6 月も入込客は多い。

花見の名所である名古屋城、東山動植物園、東谷山フルーツパーク、名古屋市農業センターなどは 3 月～4 月の入込客が多く、紅葉の名所である徳川園、白鳥庭園は 11 月に入込客が多い。

名古屋市科学館、名古屋港水族館、シートレインランド、リニア・鉄道館、でんきの科学館などは子どもが夏休みの 8 月に入込客が多い。

有松・鳴海絞会館は、絞りまつりが開催される 6 月に入込客が多い。

東山動植物園、農業文化園・戸田川緑地、ブルーボネットなど屋外の施設は全般に 5 月、10 月の行楽シーズンを中心に入込客が多く、東山動植物園は特に 4～5 月及び 10～11 月の入込客が多い。

美術館や博物館の入込客数のピークはまちまちで、時期ではなく特別展など展示内容によって入込客数は変動している。

表 3-1-1 入込客数の推移

施設 \ 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
名古屋城	1,352,344	1,517,727	1,414,769	1,472,305	1,657,370
東山動植物園	2,284,853	2,180,296	2,025,336	2,079,896	2,228,650
東山スカイタワー	305,625	299,008	273,541	277,652	268,511
テレビ塔	277,343	270,565	201,868	251,384	242,286
熱田神宮	6,652,665	6,713,174	6,716,036	6,773,935	6,852,153
名古屋港	526,306	464,479	462,104	416,175	388,015
名古屋市科学館	606,157	481,957	1,531,854	1,303,372	1,436,926
徳川美術館	218,048	210,408	204,215	193,047	182,441
名古屋市博物館	483,413	513,426	400,384	410,718	456,102
東谷山フルーツパーク	560,584	512,211	513,454	538,245	469,843
農業文化園・戸田川緑地	1,057,523	995,286	1,116,600	1,281,235	1,188,451
でんきの科学館	349,124	412,420	336,167	301,239	292,131
名古屋市美術館	380,365	463,085	309,872	315,204	386,428
名古屋港水族館	1,725,373	1,766,343	1,785,853	1,990,050	2,040,420
産業技術記念館	226,226	273,926	249,740	284,919	320,366
白鳥庭園	104,610	119,487	113,872	117,761	116,828
市政資料館	73,312	72,313	67,622	69,570	75,335
名古屋能楽堂	187,096	183,889	166,925	171,951	173,848
愛知県美術館	868,544	732,339	711,001	795,538	946,258
名古屋市農業センター	620,193	573,718	609,918	629,486	655,219
シートレインランド	638,597	623,193	604,748	619,387	629,048
有松・鳴海絞会館	177,211	177,631	159,824	170,035	168,531
ランの館	136,039	142,530	129,967	134,638	124,485
名古屋ボストン美術館	400,667	110,126	101,878	319,008	165,634
ノリタケの森	367,569	337,468	341,939	356,529	336,994
ブルーボネット	74,261	73,587	65,831	70,780	64,089
徳川園	258,143	242,024	251,721	248,542	233,203
文化のみち二葉館	40,325	38,056	32,191	34,749	33,485
スカイプロムナード	165,000	124,553	107,124	103,014	102,863
リニア・鉄道館	-	98,961	1,057,424	679,272	592,191
合 計	21,117,516	20,724,186	22,063,778	22,409,636	22,828,104

注 1：リニア・鉄道館は平成 23 年 3 月に開館した。

注 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

(単位：人)

施設	年月	平成 25 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
名古屋城		148,858	170,961	173,353	104,730	168,259	128,729	128,890	160,862
東山動植物園		281,829	363,173	180,319	66,092	79,209	168,380	257,417	282,546
東山スカイタワー		33,098	37,531	17,545	11,631	17,662	18,601	24,868	33,735
テレビ塔		19,280	24,608	16,738	17,636	29,251	20,942	17,452	19,698
熱田神宮		185,492	235,110	449,449	164,842	162,591	171,862	205,204	277,200
名古屋港		34,469	56,880	29,408	30,282	55,450	33,524	49,672	39,229
名古屋市科学館		136,970	116,561	85,924	119,500	247,479	89,565	92,476	83,829
徳川美術館		14,170	19,447	13,399	11,796	15,756	14,836	17,256	21,802
名古屋市博物館		19,720	68,097	49,516	26,963	58,330	19,498	25,360	55,757
東谷山フルーツパーク		106,846	69,847	25,913	18,469	22,768	30,031	44,073	37,951
農業文化園・戸田川緑地		116,910	249,791	99,747	80,346	93,785	91,709	111,657	81,169
でんきの科学館		23,588	25,802	18,803	25,506	49,346	20,057	19,937	21,049
名古屋市美術館		19,837	104,865	31,958	43,233	30,056	41,889	56,958	10,279
名古屋港水族館		164,268	204,691	134,923	207,010	409,837	171,357	143,515	117,228
産業技術記念館		24,879	24,192	27,035	25,482	41,714	26,003	29,525	30,859
白鳥庭園		9,443	15,282	6,352	3,099	3,861	6,784	8,128	33,696
市政資料館		5,475	6,100	5,451	4,567	5,719	6,318	6,837	10,537
名古屋能楽堂		12,205	13,092	14,003	16,740	10,776	15,727	14,971	23,507
愛知県美術館		117,909	128,759	142,761	43,275	51,738	55,886	68,048	39,038
名古屋市農業センター		43,977	54,078	27,491	22,192	23,106	25,806	30,934	70,650
シートレインランド		55,278	52,538	45,551	59,525	106,058	53,823	41,252	42,153
有松・鳴海絞会館		6,084	9,282	96,525	6,492	7,494	6,573	8,884	9,583
ランの館		5,616	8,358	9,345	8,680	10,791	5,778	9,510	13,466
名古屋ボストン美術館		6,618	6,158	7,352	8,591	10,788	11,026	4,221	12,963
ノリタケの森		27,218	37,210	24,791	25,832	34,793	24,959	32,886	38,783
ブルーボネット		11,158	18,245	6,205	3,468	2,278	3,804	9,053	4,290
徳川園		25,499	26,249	16,117	11,087	14,240	15,079	16,590	39,326
文化のみち二葉館		2,808	3,324	2,691	1,643	2,254	2,514	3,129	4,117
スカイプロムナード		6,378	8,783	7,289	8,605	11,947	9,943	8,164	9,175
リニア・鉄道館		41,806	52,282	42,318	49,075	89,566	49,166	45,364	49,232
全 体		1,707,686	2,211,296	1,808,272	1,226,389	1,866,902	1,340,169	1,532,231	1,673,709

調査対象施設の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会(現 公益社団法人日本観光振興協会)が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～(全国観光統計基準の提案)』の基準を参考に、調査対象施設を選定しており、平成 20 年度には、1 施設(ロボットミュージアム)を除き、平成 21 年度には、1 施設(イタリア村)を除き、平成 22 年度には、1 施設(リニア・鉄道館)を加え 30 施設を調査対象とした。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上である市内観光施設を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

(単位：人)

施設 \ 年月	平成 25 年 12 月	平成 26 年 1 月	2 月	3 月	合計	備 考
名古屋城	95,776	102,335	92,786	181,831	1,657,370	
東山動植物園	114,173	131,780	94,423	209,309	2,228,650	
東山スカイタワー	18,086	17,449	12,109	26,196	268,511	
テレビ塔	24,674	18,202	12,328	21,477	242,286	
熱田神宮	189,110	4,417,704	199,069	194,520	6,852,153	
名古屋港	24,641	16,619	7,409	10,432	388,015	平成 26 年 1 月 6 日～3 月 31 日の間、ポートピア展 望室休館
名古屋市科学館	88,885	122,270	121,612	131,855	1,436,926	
徳川美術館	4,744	8,738	15,786	24,711	182,441	
名古屋市博物館	27,021	30,790	29,267	45,783	456,102	
東谷山フルーツパーク	20,752	20,965	26,352	45,876	469,843	
農業文化園・戸田川緑地	44,111	62,267	51,272	105,687	1,188,451	
でんきの科学館	17,341	19,832	21,508	29,362	292,131	
名古屋市美術館	7,790	3,453	10,557	25,553	386,428	
名古屋港水族館	120,235	112,250	89,096	166,010	2,040,420	
産業技術記念館	18,844	21,630	22,627	27,576	320,366	
白鳥庭園	11,627	7,221	4,369	6,966	116,828	
市政資料館	5,064	4,715	5,037	9,515	75,335	
名古屋能楽堂	14,188	13,008	12,232	13,399	173,848	
愛知県美術館	40,298	46,039	70,758	141,749	946,258	
名古屋市農業センター	30,446	21,730	39,051	265,758	655,219	
シートレインランド	47,534	41,772	29,513	54,051	629,048	
有松・鳴海絞会館	3,712	3,992	3,654	6,256	168,531	
ランの館	16,292	6,481	5,503	24,665	124,485	
名古屋ボストン美術館	6,032	30,679	27,824	33,382	165,634	
ノリタケの森	24,787	19,384	19,068	27,283	336,994	
ブルーボネット	1,203	0	0	4,385	64,089	
徳川園	15,473	13,837	14,571	25,135	233,203	
文化のみち二葉館	1,936	2,040	3,255	3,774	33,485	
スカイプロムナード	12,299	7,310	4,504	8,466	102,863	
リニア・鉄道館	29,768	47,945	38,610	57,059	592,191	
全 体	1,076,842	5,372,437	1,084,150	1,928,021	22,828,104	

(2) 名古屋のまちの印象 (自由回答より)

観光入込客、宿泊客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見があげられた。

良い印象

【観光施設・観光スポット】

- ・ 名古屋城がこんなにも立派になっていて感動しました。(男性 60代)
- ・ 本丸御殿 大満足です。(女性 50代)
- ・ ノリタケの陶器は良い!(女性 60代)
- ・ ノリタケは特に高層ビルと緑のマッチングが良い。街は綺麗だと思う。(女性 20代)
- ・ 菊花展 毎年来て満足しています。ゆっくり菊の香りをかぎながら感激致しました。(男性 50代)

【名古屋まつりなど行・催事、イベント】

- ・ 人いっぱい活気ある街。(女性 10代)
- ・ 名古屋おもてなし武将隊がいて最高です!(女性 10代)
- ・ 武将隊はとても素敵です。(女性 30代)
- ・ 賑やかで良い。(女性 40代)
- ・ 雨なのに名古屋まつりは盛り上がった。(女性 30代)
- ・ 名古屋まつりは人が多くて楽しい。(男性 30代)

【風景、景観】

- ・ 大変大きな都会でびっくりです。イルミネーションがきれいですばらしかったです。道路も広く整えている感じです。またミッドランドからの展望台からの夜景も良かったです。便利でのんびりできてくらしやすい街ですネ!(女性 60歳)
- ・ 賑やかな街ですが、緑もあり綺麗な街でした。(男性 60代)
- ・ 予想以上にきれいな町並みであり、また、おいしい物がたくさんあってよかった。(男性 20代)
- ・ 町並みはとても綺麗で良かったです。観光客にたいしても親切で、優しい町なイメージができました。食事好きなものが多く、帰るまで食べまくり、買いまくりたいと思います。名古屋城が楽しみです。今回は伊勢が目的でしたが、名古屋でも遊べて良かったです。(女性 20代)
- ・ 舗道が広く歩きやすい、町並みが美しい(女性 60代)
- ・ 街並みはとてもきれいだと思いました。食事とてもおいしかったです。(女性 40代)
- ・ 景観性があり良い。(男性 50代)

【歴史との融合】

- ・ 歴史的な観点から行くとお寺や定石が好きなので、楽しませていただいている。(女性 40代)
- ・ 名古屋城の本丸御殿を見る事が出来大変良かった。(男性 30代)
- ・ 本丸御殿が出来たら来たい。(女性 60代)
- ・ 歴史的なものが良かった。(男性 30代)
- ・ 歴史・文化・現代を感じることができてとてもにぎわいのある町だと思います。(男性 30代)

【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・ 私の住んでいる町より高いビルが多く、都会だなという印象を持った。宿泊した栄地区はきれいに区画割されていてわかりやすい。(男性 60代)
- ・ きれいな街で気持ちが良い。皆、親切な感じがしました。また来てみたい所です。(女性 60代)
- ・ 都会な感じなのにおだやか。(男性 20代)

- ・ 街が大きく、整備されている。（女性 60代）
- ・ 平坦すぎるので白い町といわれるのが少し残念ですが、住めば都といったところです。（女性 70代）
- ・ 綺麗な町です。（女性 40代）
- ・ 町が綺麗だと思う。（男性 60代）
- ・ きれいに整っている。車で移動しているので、細かなところは今回はわからない。名物という食べ物が
多いので楽しみ。次回はもう少しゆっくり来ます。（女性 50代）
- ・ 大きな街。賑やかだと思う。（男性 50代）

【店舗、商店街】

- ・ 若者が多く、活気ある都市 又食べ物がとてもおいしく、価格もリーズナブルでした。次回は観光で訪
問したい。（男性 70代）
- ・ ホテルの方にとてもお世話になりました。地元の方も通われる温泉ホテルでしたが、地元の方にもホテ
ルの方にも親せつにしてくださいました。名古屋にくるたびに人のあたたかさを感じホッとさせられま
す。またきたいところです。ありがとうございました。（女性 50代）
- ・ 高層ビルがたくさんある。（男性 20代）
- ・ ショッピングに色々な店があり、良いと思う。（男性 10代）
- ・ 外国の方も多く、活気がある印象。名古屋飯はとてもおいしかった。（女性 20代）
- ・ 便利な所の旅館で買物には良かった。（男性 30代）

【名古屋グルメ】

- ・ 名古屋グルメうみゃー！（男性 30代）
- ・ 名古屋グルメ美味しくて好きです。（男性 20代）
- ・ 名古屋めしが美味しいです。（男性 30代）
- ・ 名古屋グルメは最高です！（女性 20代）
- ・ 名古屋めしが目的。美味しいです。（男性 30代）
- ・ 美味しい食べ物がたくさんある街。（ひつまぶし、味噌煮込み等）。（女性 50代）
- ・ 名古屋めしが最高です。（特に味噌カツ）（女性 30代）

【名古屋人、気質】

- ・ 道がわからず、若い女性の方にお聞きしたらすごく親切に対応頂いた。タクシー料金が安く驚いたが、
運転手さんも大変親切に色々短い時間で教えて頂いた。（女性 40代）
- ・ 雨で残念だったが、楽しませてくれた。（男性 20代）
- ・ 名古屋の人は活気がある。（女性 30代）
- ・ 人々が親切で優しい。（男性 50代）

【道路・道路交通】

- ・ 道路が広く公共交通の利便も良かった。（女性 50代）
- ・ 道路が広く走りやすい。（女性 40代）
- ・ よく整備されている（男性 60代）
- ・ 道路がとても広い。（女性 20代）
- ・ 道が広くて綺麗と思う。（男性 20代）
- ・ 新しい道路もでき、設備も進んでいる。（男性 50代）
- ・ 広くて走りやすい。（男性 30代）
- ・ 幹線道路が広くアクセスが良い。（女性 40代）
- ・ 道路が広くびっくりしました。ゆったりした気分になれた。（男性 60代）
- ・ 道路が広くてきれい。（男性 30代）
- ・ 交通の便が良い。（女性 60代）
- ・ 交通がすごく発達していると思いました。（男性 20代）

【公共交通】

- ・ 案内表示は分かりやすく、地下鉄等の交通の便もよく、移動は楽であった。（男性 30代）
- ・ セントレア空港はじめて利用しましたが、とてもきれいで良かったです。（女性 40代）
- ・ 地下がすごく発展している。（女性 40代）
- ・ 公共交通の利便性が良い。（女性 40代）
- ・ 道が分かり易く、移動しやすい。（女性 30代）
- ・ 公共交通機関が整備されていて良い。（男性 60代）
- ・ 公共交通の便がとても良いので、移動がしやすいと感じた。（女性 20代）
- ・ 地下鉄でどこへでも行けてとても便利でした。（女性 40代）
- ・ 敬老パスは便利。（女性 60代）

【その他】

- ・ 地下鉄の便利さが印象的でした。どこへ行くにも便利ですネ。道路がとても広く、自転車置き場にびっくり。とてもきれいです。東京はどこにでも止めてしまう人がおります。見習いたいものです。ゴミもおちてないですね。きれいな町です。（女性 60代）
- ・ 歩いて回れる距離にすべてがある感じで、分かりやすく動きやすいです。交通網も整備されていて分かり易く使用しやすい。（女性 40代）
- ・ 以前やっていた貸出自転車があればいいなぁと感じる。名古屋はキレイなのでよい！！（女性 30代）
- ・ 豊川稲荷、熱田神宮、大須観音散歩（どちらも空気がおいしく心に残る）、手羽先店にて食事をしてきました。飲めない夫婦ですが結婚 50 年の良い思い出になりました。（男性 70代）

不満な点、要望

【公共交通】

- ・ 交通公共機関の特に地下鉄の乗り換えが不便。移動距離が長いエスカレーター、エレベーターの設備が不十分。（男性 40代）
- ・ 地下鉄、JR、名鉄が乗り換えしにくく不便。終電が早い。（女性 10代）
- ・ 駅のエスカレーターの数が少ない。JR 地下鉄の乗り換えがいつも大変。（女性 30代）
- ・ 運賃を安くして欲しい。（男性 10代）
- ・ 駅にエスカレーターが少な過ぎる。（女性 50代）

- ・ 地下鉄の乗り換えが大変だった。（女性 60代）

【道路、道路交通】

- ・ 右折・左折時二車線と、複雑な印象を受けます。道が複雑で標識が見づらい。（女性 20代）
- ・ 幹線道路が広く複雑で、走行するのが難しい。（男性 40代）
- ・ 道路のつくりがわかりにくかったです。（女性 30代）
- ・ 自転車が歩道に駐輪してあるのがとても残念。（男性 30代）
- ・ 車線が多すぎる（女性 20代）
- ・ 道路の構造が分かりにくい。（女性 20代）
- ・ 一方通行が多いのが不便。（女性 30代）
- ・ 綺麗にすると走りやすいと思う。（男性 50代）
- ・ 栄など道が汚くて残念。（女性 10代）

【案内、表示】

- ・ ドニチエコきっぷを地下鉄の駅で購入した時、メーグルの情報も含めた地下鉄のガイドマップをいただきました。（女性 30代）
- ・ 地下鉄の場所が分かりにくい（女性 50代）
- ・ 高速道路の案内がよく分らない、案内表示がやや足りない様に感じました。もっと見やすく、大きな看板などがあると良い。（女性 60代）
- ・ 名古屋駅や栄は何回来ても迷います…。信号などにもっと住所表記がほしいです。（女性 30代）
- ・ 看板が多すぎて分からない（女性 20代）
- ・ 観光施設への案内表示が少ない、目立たない、判りにくい。（女性 50代）
- ・ 案内表示をもっと目立つようにしていただくと分かり易い。（男性 50代）

【宣伝、告知】

- ・ 地下鉄一日乗り放題は便利だと思う！ただ利用者が少なく感じるので、もう少し観光地やPR場所があると利用する人も増えると思う。（女性 30代）
- ・ もっと宣伝活動を目立つようにすると良いと思います。例えば、トリエンナーレは、知る人ぞ知る的な印象があるので、もったいない。又、B級グルメ大会が豊橋で行われていますが、もっと名古屋市も力を入れて、宣伝してあげると良いと思います。（男性 60代）
- ・ イベント告知が少ない。（女性 10代）
- ・ 更に特長のある目玉スポットを作り、宣伝してほしい。（男性 50代）

【観光資源】

- ・ もっと詳しくプラネタリウムの事について知りたい 専門の方がいればよかった。（女性 40代）
- ・ 観光施設にゴミ箱が少ない。大きな観光地では沢山あると良いと思う。（女性 40代）

【まちづくり、町並み】

- ・ 名古屋に来る核となる施設が減った気がします。以前はあった映画館や商店街等が減り or なくなり寂しく思います。特に名駅近くのかわり様が大きく、まったくといっていい程興味のない街となっています。ネットによる消費行動からみても”街”に行くことが必然となってきたことを考えた街づくりが必要だと思います。（男性 40代）
- ・ ゴミが多いのが印象にある。（男性 10代）

【店舗、商店】

- ・ 名古屋のデパートは人が多く疲れる。（女性 70代）
- ・ デパ地下がもう少し遅くまで営業していたらもっと楽しめると思います。（女性 40代）
- ・ 名古屋のデパートは人が多い。（女性 50代）

【人、マナー】

- ・ 都心部では、路上駐車が多い。（女性 40代）
- ・ 地下鉄のマナーがよくないし（ラッシュ時にドアの周りが空かない、駅についてもたむろって降りない等）東京在住時と比べるとあまり慣れてないかもしれないがけっこう気になっている。またメーグルがいつも非常に混んでいる（気分転換のためたまに乗る）区間によって非常に混み具合が違うかも知れないが詰め込み状態だと特に（名古屋駅～名古屋城区間）は増便なり別にするなり対策が必要だと思う。（男性 30代）
- ・ 車のクラクションがよく鳴らされているのにびっくりしました。大阪では絶対あんなに鳴らしません。（男性 70代）
- ・ 交通混雑に割り込みが多い。特に都心部。（男性 50代）
- ・ 運転が乱暴。（女性 50代）
- ・ 名古屋のショッピング施設の店員の態度が良くない。（女性 40代）

【その他】

- ・ 名古屋名物のみそ煮込みうどんや、名古屋コーチン、きしめんなど食べたくて駅の方に行ったのですが、どこにあるのかよくわからずデパートの12、3Fで食べましたが、特に名古屋の物がなくて残念でした。（女性 50代）
- ・ スロープなどのバリアフリーの努力が見られないところ。（女性 40代）
- ・ 名古屋城の駐車場が出られず並んでいて、時間がかかることで料金が増えてしまうのはおかしいと思いました。（女性 40代）

平成25年度 名古屋観光客・宿泊客動向調査

名古屋 市民経済局 観光推進室

調査場所:

(調査日:平成 年 月 日)

お楽しみのところ恐れ入りますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問1 どこからお越しになりましたか (出発地はどちらですか)。1つに○印をつけてください。

1 名古屋市内

2 名古屋市を除く愛知県

3 岐阜県

4 三重県

5 静岡県

6 その他の都道府県 (具体的に)

問2 今回、名古屋を訪れた (今回の名古屋への旅行) 主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

1 観光施設の見学

2 ショッピング (非日常の買物。ウインドジョーピングを含む)

3 観劇・コンサート

4 イベント (参加・鑑賞)

5 飲食

6 その他の娯楽行為 (具体的に)

7 商用・公用

8 帰省・冠婚葬祭

9 大会・学会・国際会議への出席・参加

10 その他 (具体的に)

問3 問2で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものすべてに○印をつけてください。

1 雑誌・新聞をみて

2 旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて

3 テレビやラジオ番組の情報から

4 インターネットホームページの情報から

5 友人・知人に薦められたから

6 前に来たことがあり良かったから

7 駅や電車内のポスター・広告

8 特になし

9 その他 ()

問4 今回の訪問 (今日のお出かけ) で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

1 名古屋城

2 産業技術記念館 (トヨタテクノミュージアム)

3 ノリタケの森

4 徳川美術館

5 徳川園

6 熱田神宮

7 白鳥庭園

8 東山動植物園

9 東山スカイタワー

10 テレビ塔

11 名古屋美術館

12 愛知県美術館

13 名古屋ポストン美術館

14 名古屋市科学館

15 だんきの科学館

16 名古屋博物館

17 ランの館

18 名古屋港水族館

19 名古屋港

20 シートレインランド

21 有松・鳴海絞会館

22 ミッドランドスクエアなどの高層建築物

23 リニア・鉄道館

24 その他 ()

問5 今回の名古屋訪問 (名古屋への旅行) はパッケージ旅行ですか。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金もお答えください。(費用が市内のみか、市外を含むかを選択)。

1 パッケージ旅行 およそ()円くらい ()市内のみ もしくは ()市外を含む

2 パッケージ旅行ではない

問6 今回の名古屋訪問 (今回の名古屋への旅行) における1人あたりのご予算をお教えください。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金以外の費用をお答えください。

①市内での交通費 (都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます)。

おおよそ()円くらい

②市内での宿泊代 (市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額)。(日帰りの方、宿泊施設に泊まらない方、名古屋市以外に宿泊の方は、該当するところにレを記入してください)。

おおよそ()円くらい

☐ 宿泊しない (日帰り) ☐ 友人、知人の家に宿泊 ☐ 名古屋市外に宿泊

③市内でのおみやげ代。

おおよそ()円くらい

④市内での飲食代 (パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額)。

おおよそ()円くらい

⑤市内での入場料 (観光施設等の入場料の合計額)。

おおよそ()円くらい

⑥市内でのその他費用。

おおよそ()円くらい

問7から問13については、名古屋市外からお越しの方のみお答えください。

問7 今回の訪問 (旅行) での、名古屋の印象・旅行の満足度についてお伺いします。該当するもの1つに○印をつけてください。

1 大変満足

2 ほぼ満足

3 普通

4 やや不満

5 不満

問 8 名古屋市内に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの 1 につに ○ 印をつけてください。

1	はじめて	2	2 回目	3	3 回目	4	4 ～ 9 回目	5	10 回目以上
---	------	---	------	---	------	---	----------	---	---------

問 9 今回の訪問（旅行）において、名古屋までの主な交通手段に○印をつけてください。

1	J R	2	名鉄電車	3	近鉄電車	4	自家用車
5	航空機	6	路線バス	7	観光バス	8	その他（ ）

問 1 0 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

1	名古屋市内のみ	2	長久手・ミコバネ方面	3	明治村・犬山方面
4	瀬戸・小原方面	5	知多・常滑・セト川方面	6	豊田・岡崎・足助方面
7	蒲郡・西浦・三谷方面	8	豊川・鳳来寺方面	9	豊橋・伊良湖方面
10	岐阜・関ヶ原方面	11	多治見・恵那・中津川方面	12	下呂・高山方面
13	長島温泉・湯の山・鈴鹿方面	14	伊勢・志摩方面		
15	その他（ ）				

問 1 1 今回の訪問（旅行）での、名古屋の観光資源についてお伺いします。 ① 今回の訪問で満足されたもの、②不満を感じたもの、③ 次回訪れてみたいものをそれぞれ教えてください。 該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）
2	産業観光・ものづくりの施設（産業記念館・ノリタケの森等）
3	レジャー施設（動植物園・水族館等）
4	都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）
5	グルメ・なごやめし
6	お祭り・イベント
7	コンサートや観劇などの鑑賞
8	スポーツ観戦（野球・サッカー等）
9	その他（具体的に ）

① 今回の訪問で、満足されたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に ）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------	----	------

② 今回の訪問で、不満を感じたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に ）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------	----	------

③ 次回訪れてみたいものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に ）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------	----	------

問 1 2 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの 1 につに ○ 印をつけてください。

1	日帰り	2	2 日間	3	3 日間	4	4 日間	5	5 日以上
---	-----	---	------	---	------	---	------	---	-------

問 1 3 問 1 2 で回答が2日間以上のご旅行の方に伺います。
名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお教えください。 該当するもの 1 につに ○ 印をつけてください。

1	1 泊	2	2 泊	3	3 泊	4	4 泊以上
5	名古屋市内には宿泊しない						

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問 1 4 あなたの性別・年齢をお教えください。（○は一つずつ）

①性別	②年齢		
1 男	1 10～19 歳	2 20～29 歳	3 30～39 歳
2 女	4 40～49 歳	5 50～59 歳	6 60～69 歳
	7 70～79 歳	8 80 歳以上	

問 1 5 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で同行されている方をお教えください。（○は一つだけ）

1	ひとり（同行者なし）	2	友人・知人
3	幼児や小学生連れの家族	4	夫婦
5	家族（「3」・「4」以外）	6	団体旅行
7	修学旅行	8	その他（ ）

【自由意見】 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございました。
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（宿泊施設）[対象年次：平成25年度]

○貴施設の名称、所在地、電話番号について変更などあるかご確認ください。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
〒名古屋市	
電話 番 号	
ご 記 入 者 (ご所属) (ご氏名)	

問1 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

1	ホテル	2	旅館	3	簡易宿所	4	下宿
---	-----	---	----	---	------	---	----

問2 貴施設の平成26年3月末時点の室数および収容可能人数をご確認ください。変更などがあれば、修正をお願いします。

和 室		洋 室		合 計	
室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
室	人	室	人	室	26 人

問3 貴施設の平成25年4月から平成26年3月までの宿泊客数（月別・合計）をご記入ください。
※月別で把握できない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入頂ける範囲でご回答ください。

	25年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
合 計							
	25年11月	12月	26年1月	2月	3月		
①実人数	人	人	人	人	人	人	
うち外国人	人	人	人	人	人	人	
②延人数	人	人	人	人	人	人	
うち外国人	人	人	人	人	人	人	

注：連泊客の数え方

- ①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。
- ②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」と数えてください。

問4 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間でどの国（地域）から何人ありますか。なお、宿泊客数は実人数でご記入下さい。（概数でも結構です）

国 名	宿泊客数	国 名	宿泊客数	国 名	宿泊客数
中国	人	シンガポール	人	オーストラリア	人
香港	人	インドネシア	人	カナダ	人
台湾	人	ベトナム	人		人
韓国	人	英国	人		人
米国	人	ドイツ	人		人
タイ	人	フランス	人		人

問5 貴施設では、これまでに修学旅行団体（小・中・高校など）を受入れたことがありますか。また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

- 1 平成25年度、受入れた。
- 2 平成25年度受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。
- 3 実績はないが受入れ可能。
- 4 受入れられない。

問6 問5で「1 平成25年度、受入れた。」と回答した施設にお聞きます。貴施設が平成25年4月1日から平成26年3月末までに受入れた修学旅行団体の所在地（都道府県名）、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校 人	校 人
都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人

問7 問5で「1」以外を回答した施設にお聞きます。貴施設が平成25年度に修学旅行団体を受入れたなかった理由についてご記入ください。

[]

ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございます。

名古屋の観光に関する全国インターネット調査

■調査項目

番号	条件	内容	区分
Q1	必須回答	過去5年以内(愛知万博後)に名古屋に何回訪れたことがありますか。	SA
1		1回	
2		2回	
3		3～5回	
4		6～10回	
5		11回以上	
6		訪れていない	
Q2	必須回答	名古屋に訪れる場合の主な交通手段をお選びください。名古屋に訪れたことがない方も、名古屋に訪れることを想定してお答えください。	MA
1		新幹線	
2		鉄道(新幹線以外)	
3		航空機	
4		長距離バス	
5		観光バス	
6		自家用車	
7		フェリー	
8		その他	FA 付
Q3	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋を訪れた目的は何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設の見学	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング	
6		仕事	
7		友人・親戚への訪問	
8		その他	FA 付
Q4	必須回答: Q3 = 1～5	観光、娯楽、ショッピングが目的で訪れた直近の名古屋訪問についてQ4～Q8をお聞きます。その訪問(旅行)は合計何泊でしたか。	SA
1		1泊	
2		2泊	
3		3泊	
4		4泊以上	
Q5	必須回答: Q4 = 2～5	その名古屋訪問(旅行)では、うち名古屋市内に何泊しましたか。	SA
1		1泊	
2		2泊	
3		3泊	
4		4泊以上	
Q6	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋市内には宿泊しない	
1		その名古屋訪問(旅行)で同行された方を教えてください。	SA
2		ひとり(同行者なし)	
3		友人・知人	
4		幼児や小学生連れの家族	
5		夫婦のみ	
6		家族(13J・14J以外)	
7		団体旅行	
8		修学旅行	
		その他	FA 付

Q7	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)であわせて名古屋以外に訪問したところ(地域)はどこですか。	
1		名古屋市内のみ	
2		明治村・犬山方面	
3		瀬戸・小原方面	
4		長久手・愛・地球博記念公園(モリコロパーク)方面	
5		知多・常滑・セントレア方面	
6		豊田・岡崎・足助方面	
7		清洲・西浦・三谷方面	
8		豊川・鳳来寺方面	
9		豊橋・伊良湖方面	
10		岐阜・関ヶ原方面	
11		多治見・恵那・中津川方面	
12		下呂・高山方面	
13		長島温泉・湯の山・鈴鹿方面	
14		伊勢・志摩方面	
15		その他	FA 付
Q8	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)のきっかけは何ですか。	MA
1		以前から訪れたいと思っていたから	
2		知人に薦められたから・知人に案内されたから	
3		ガイドブックやパンフレットを見て	
4		テレビ番組等を見て	
5		ホームページを見て	
6		団体の訪問コースに組み込まれていたから	
7		興味のある催事が開催されていたから	
8		その他	FA 付
Q9	必須回答: Q3 = 6	仕事が目的で訪れた直近の名古屋訪問についてお聞きます。その訪問(旅行)のとき、あわせて訪問した場所又は経験したものは何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング(駅でのおみやげ品の購入は除く。)	
6		その他	FA 付
7		訪問した場所又は経験したものはない	
Q10	必須回答	名古屋には、以下に示すような観光資源があります。この中で、知っているものをお答えください。	MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)	
2		熱田神宮	
3		リニア・鉄道館、産業技術記念館、ノリタケの森など	
4		科学館(プラネタリアムなど)、美術館、博物館など	
5		名古屋港(名古屋港水族館、シーレインランド、ポートビルなど)	
6		東山動植物園	
7		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
8		大須(大須観音・大須商店街)	
9		文化のみち(三英館など)	
10		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
11		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
12		祭り(名古屋まつり、につぼんど真ん中祭りなど)	
13		その他	FA 付
14		知っているものはない	

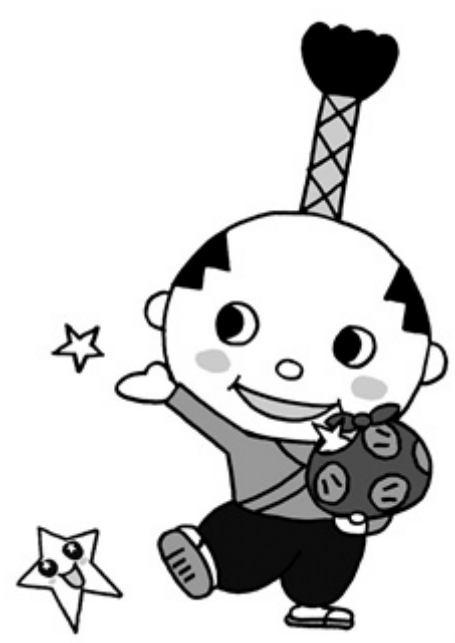
Q11	必須回答: Q1 = 1～5		MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)	
2		熱田神宮	
3		リニア・鉄道館、産業技術記念館、ノリタケの森など	
4		産業観光ツアー(工場見学、夜景観光クルーズなど)	
5		科学館(プラネタリウムなど)、美術館、博物館など	
6		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
7		東山動植物園	
8		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
9		大須(大須観音・大須商店街)	
10		文化のみち(二葉館など)	
11		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
12		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
13		祭り(名古屋まつり、につぼんど真ん中祭りなど)	
14		その他	FA 付
15		訪問した場所又は経験したものはない	
Q12	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋を訪れた感想(良かった点、悪かった点など)について自由に記入してください。	FA
Q13	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋に訪れた時に、どのように感じましたか。あてはまるものをお選びください。	SA マトリクス
Q13M001		観光施設等	
Q13M002		係員、店員の親切さ、親しみやすさ	
Q13M003		市民の親切さ、親しみやすさ	
Q13M004		おみやげ品	
Q13M005		なごやめしなどの食事	
Q13M006		案内表示等のわかりやすさ	
Q13M007		総合的な魅力	
1		満足	
2		やや満足	
3		どちらともいえない	
4		やや不満	
5		不満	
6		体験していない・分からない	
Q14	必須回答	今後、名古屋を訪れたいと思いますか。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
4		その他	FA 付
Q15	必須回答: Q14 = 1,2	名古屋の観光資源の中で、今後、訪問してみたい場所又は経験してみたいものは何ですか。	MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)	
2		熱田神宮	
3		リニア・鉄道館、産業技術記念館、ノリタケの森など	
4		産業観光ツアー(工場見学、夜景観光クルーズなど)	
5		科学館(プラネタリウムなど)、美術館、博物館など	
6		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
7		東山動植物園	
8		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
9		大須(大須観音・大須商店街)	
10		文化のみち(二葉館など)	
11		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
12		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
13		祭り(名古屋まつり、につぼんど真ん中祭りなど)	
14		その他	FA 付

Q16	必須回答: Q14 = 3		3A
1		名古屋を訪れたいと思わない理由は何ですか。主なものを3つまで選んでください。	
2		テーマパークやレジャー施設など魅力的な観光施設がない	
3		魅力的な歴史的資産がない	
4		楽しそうなイベントがない	
5		おいしいような食べ物がない	
6		魅力的な買い物スポットがない	
7		お店の閉店時間が早く、ゆっくりと楽しめない	
8		泊まりたい宿泊施設がない	
9		名古屋のことをよく知らない	
10		名古屋が嫌いなど良くないイメージがある	FA 付
Q17	必須回答	名古屋の観光地としての魅力を感じますか。また、魅力を感じない場合、その理由は何だと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。	3A
1		観光都市としての魅力はある	
2		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	
3		名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	
4		名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	
5		魅力ある観光施設が少ないこと	
6		魅力あるイベントが少ないこと	
7		魅力あるおみやげ品が少ないこと	
8		交通アクセスが良くないこと	
9		夜に楽しめる場所が少ないこと(観光施設の閉館時間が早いことなど)	
10		観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	
11		まちがきれいでないこと	
12		まちに緑が少ないこと	
13		その他	FA 付
Q18	必須回答	名古屋ゆかりの武将にちなんで、平成 21 年 11 月に結成された「名古屋おもてなし武将隊」をご存知ですか？	SA
1		どのようなものか知っている	
2		名前は聞いたことがある	
3		知らない	
Q19	必須回答: Q18 = 1,2	「名古屋おもてなし武将隊」を知ったきっかけは何ですか？	MA
1		テレビ	
2		新聞	
3		雑誌	
4		ラジオ	
5		インターネット	
6		電車の中の広告	
7		チラシ・ポスター類	
8		イベント	
9		名古屋城に来て	
10		家族・友人から聞いた	
11		その他	FA 付

Q20	必須回答	「名古屋おもてなし武将隊」は、名古屋城で観光客をお迎えし、おもてなしや演武(パフォーマンス)を行っています。「名古屋おもてなし武将隊」を尻に名古屋へ行きたいと思いませんか？あてはまるものをお選びください。	SA
1		見に行きたい	
2		機会があれば見に行きたい	
3		見に行きたいとは思わない	
Q21	必須回答	名古屋市では、平成 19 年 7 月から、主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を運行しています。このバスをご存知でしたか。また利用したいと思えますか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		利用したことがある	
2		知っていて、利用したい	
3		知らなかったが、利用したい	
4		知ってはいたが、利用したいとは思わない	
5		知らなかったし、利用したいとは思わない	
Q22	必須回答	かつて名古屋城には「本丸御殿」がありました。本丸御殿は、日本建築史・絵画史・工芸史上、近世城郭御殿の最高傑作でしたが、惜しくも焼失しました。名古屋市は、「ものづくりの技、文化、自然の大切さ」を後世に伝える象徴として、名古屋城「本丸御殿」の復元を進めており、現在は工事見学コーナーを設けるなど公開しています。この取組みについてご存知でしたか。	SA
1		復元を進めていることも、工事見学コーナーがあることも知っている(見学した)	
2		復元を進めていることは知っていたが、工事見学コーナーがあることは知らなかった	
3		復元を進めていることを知らなかった	
Q23	必須回答	名古屋城「本丸御殿」が復元されれば訪れてみたいと思いますか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
Q24	必須回答	「名古屋」のイメージを一言をお願いします。	FA
Q25	必須回答	名古屋の観光に対するご意見・ご感想や、名古屋が訪れたくなるような魅力のある都市となるため、今後取り組んだらよいと思うことがありましたらご自由にお書きください。	FA
F1	必須回答	あなたの性別をお答えください。	SA
1		男性	
2		女性	
F2	必須回答	あなたの年齢をお答えください。	SA
1		20歳未満	
2		20歳代	
3		30歳代	
4		40歳代	
5		50歳代	
6		60歳代	
7		70歳以上	

F3	必須回答	お住まいの地域（都道府県）をお答えください。	SA
1		北海道	
2		青森県	
3		岩手県	
4		宮城県	
5		秋田県	
6		山形県	
7		福島県	
8		茨城県	
9		栃木県	
10		群馬県	
11		埼玉県	
12		千葉県	
13		東京都	
14		神奈川県	
15		山梨県	
16		長野県	
17		新潟県	
18		富山県	
19		石川県	
20		福井県	
21		岐阜県	
22		静岡県	
23		愛知県	
24		三重県	
25		滋賀県	
26		京都府	
27		大阪府	
28		兵庫県	
29		奈良県	
30		和歌山県	
31		鳥取県	
32		島根県	
33		岡山県	
34		広島県	
35		山口県	
36		徳島県	
37		香川県	
38		愛媛県	
39		高知県	
40		福岡県	
41		佐賀県	
42		長崎県	
43		熊本県	
44		大分県	
45		宮崎県	
46		鹿児島県	
47		沖縄県	
F4	必須回答	お住まいの、市区町村をお答えください。	FA

※調査票の条件欄について
「Q1＝1」は、「Q1 で選択肢『1』」を選択している人が対象」を意味します。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査
(平成25年度)

平成26年11月発行

発行 名古屋市市民経済局
業務委託先 株式会社 M S S

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

